

栃木県水質年表

(平成11年度)

平成13年2月

栃木県生活環境部

目 次

第1章 環境基準等

1 公共用水域	1
〔1〕環境基準	1
〔2〕その他の基準	1
〔3〕環境基準類型指定状況	6
2 地下水	9

第2章 公共用水域の水質調査

1 調査方法	11
調査地点一覧	14
河川調査地点図	19
2 調査結果の概要	21
〔1〕健康項目等	21
〔2〕生活環境項目	22
〔3〕各水系の概要	31
〔4〕湖沼水質の概要	36
3 公共用水域の水質測定結果	43
〔1〕地点別総括表	43
〔2〕測定結果個表	121
① 那珂川水系	121
② 鬼怒川・小貝川水系	171
③ 渡良瀬川水系	243
④ その他の水系	327
⑤ 湖　　沼	333

第3章 地下水の水質調査

1 調査方法	363
2 調査結果の概要	363
第4章 プランクトンの調査	385
第5章 水生生物の調査	421
第6章 その他の調査	485

第1章 環 境 基 準 等

第1章 環境基準等

1 公共用水域

〔1〕環境基準

水質汚濁に係る環境基準は、昭和45年4月21日閣議決定され、昭和46年12月28日環境庁告示第59号で公示された。その後、項目の追加や分析技術の進歩等に伴う基準値の改正、また、JIS改正に伴う測定方法の改正・用語の整理等がなされた。昭和57年12月25日付け環境庁告示第140号の改正では、湖沼に係る窒素・りんの環境基準が設定され、また、平成5年3月8日付け環境庁告示第16号で、人の健康の保護に関する環境基準項目に有機塩素系化合物や農薬等の15項目が追加され、有機りんが削除されるとともに鉛とひ素の基準が厳しくなった。さらに、平成11年2月22日付け環境庁告示第14号で「人の健康の保護に関する環境基準」に硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふつ素、ほう素が追加された。

環境基準は、工場・事業場等からの排出水の許容限度ではなく、環境保全上の目標値であり、工場排水工場立地、土地利用等の規制や、下水道整備、しゅんせつ等の公共事業等の諸施策を総合的に推進することによって、維持、達成すべきものであり、「人の健康の保護に関する環境基準」と「生活環境の保全に関する環境基準」とに分けられている。「人の健康の保護に関する環境基準」は、河川、湖沼を問わず、すべての公共用水域に一律に表1-1のとおり適用されているが、「生活環境の保全に関する環境基準」は河川、湖沼の別に水利用目的の適応性によって類型を設け、表1-2 (1)、(2)のとおり段階的に定められている。

〔2〕その他の基準

① 要監視項目

環境基準の他に、人の健康の保護に関する物質ではあるが、公共用水域等における検出状況からみて、現時点では直ちに環境基準健康項目とせず、知見の集積に努め推移を把握していく項目について、「要監視項目」と位置づけ、指針値が定められている。(表1-3)

② 「公共用水域等における農薬の水質評価指針」

空中散布農薬等一時的に広範囲に使用される農薬で、水質環境基準健康項目や要監視項目となっていないもののうちから、その使用量や公共用水域での検出状況等を勘案して選定され、公共用水域等で検出された場合に水質の安全性に係る評価の目安として、指針値が定められている。(表1-4)

表1-1 人の健康の保護に関する環境基準
(昭和46年12月28日 環境庁告示第59号、最新改正：平成11年2月22日)

項目	基 準 値	備 考
カドミウム	0.01 mg/l 以下	
全シアン	検出されないこと。	
鉛	0.01 mg/l 以下	
六価クロム	0.05 mg/l 以下	
ひ素	0.01 mg/l 以下	
総水銀	0.0005 mg/l 以下	
アルキル水銀	検出されないこと。	
P C B	検出されないこと。	
ジクロロメタン	0.02 mg/l 以下	
四塩化炭素	0.002 mg/l 以下	
1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/l 以下	
1,1-ジクロロエチレン	0.02 mg/l 以下	
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/l 以下	
1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/l 以下	
1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/l 以下	
トリクロロエチレン	0.03 mg/l 以下	
テトラクロロエチレン	0.01 mg/l 以下	
1,3-ジクロロプロパン	0.002 mg/l 以下	
チウラム	0.006 mg/l 以下	
シマジン	0.003 mg/l 以下	
チオベンカルブ	0.02 mg/l 以下	
ベンゼン	0.01 mg/l 以下	
セレン	0.01 mg/l 以下	
	10 mg/l 以下	
ふつ素	0.8 mg/l 以下	
ほうう素	1 mg/l 以下	

表1-2 生活環境の保全に関する環境基準

(1) 河川(湖沼を除く。)

項目 類型	利 用 目 的 の 適 応 性	基 準 値					該当水域
		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的 酸素要求量 (BOD)	浮遊物質量 (S S)	溶存酸素量 (D O)	大腸菌群数	
AA	水道1級 自然環境保全及び A以下の欄に掲げる もの	6.5以上 8.5以下	1 mg/l 以下	25 mg/l 以下	7.5 mg/l 以上	50 MPN/100 ml 以下	水域類型ごとに指 定する水域
A	水道2級 水産1級 水浴及びB以下の 欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2 mg/l 以下	25 mg/l 以下	7.5 mg/l 以上	1,000 MPN/100 ml 以下	
B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄に 掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3 mg/l 以下	25 mg/l 以下	5 mg/l 以上	5,000 MPN/100 ml 以下	
C	水産3級 工業用水1級 及びD以下の欄に 掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5 mg/l 以下	50 mg/l 以下	5 mg/l 以上	—	
D	工業用水2級 農業用水及びEの 欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8 mg/l 以下	100 mg/l 以下	2 mg/l 以上	—	
E	工業用水3級 環 境 保 全	6.0以上 8.5以下	10 mg/l 以下	ごみ等の浮 遊が認めら れないと のこと	2 mg/l 以下	—	
測 定 方 法		規格12.1	規格21	付表8	規格32	最確法による定量法	

備 考

- 1 基準値は、日間平均値とする(湖沼もこれに準ずる。)。
- 2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/l以下とする(湖沼もこれに準ずる。)。
- 3 最確数による定量法とは、次のものをいう(湖沼もこれに準ずる。)。
 試料10ml、1ml、0.1ml、0.01ml…のように連続した4段階(試料が0.1ml以下のは1mlに希釈して用いる。)を5本ずつBGLB酵酵管に移植し、35~37°C、48±3時間培養する。ガス発生を認めたものを大腸菌群陽性管とし、各試料量における陽性管数を求め、これから100ml中の最確数を最確数表を用いて算出する。この際、試料はその最大量を移植したものの全部か又は大多数が大腸菌群陽性となるように、また最少量を移植したものの全部か又は大多数が大腸菌群陰性となるように適当に希釈して用いる。なお、試料採取後、直ちに試験ができないときは、冷蔵して数時間以内に試験する。

- (注) 1 表中 規格とは、JISK0102をいう。
- 2 表中 付表とは、環境庁告示(水質汚濁に係る環境基準について)をいう。
- 3 自然環境保全:自然探勝等の環境保全
- 4 水道1級:ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの
 　　" 2級:沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの
 　　" 3級:前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの
- 5 水産1級:ヤメ、イカ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
 　　" 2級:サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
 　　" 3級:コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用
- 6 工業用水1級:沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
 　　" 2級:薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
 　　" 3級:特殊の浄水操作を行うもの
- 7 環境保全:国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

(2) 湖沼(天然湖沼及び貯水量1,000万%以上の人工湖)

ア

項目 類型	利用目的の 適応性	基準値					該当水域
		水素イオン濃度 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)	浮遊物質量 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数	
AA	水道1級 水産1級 自然環境保全及び A以下の欄に掲げる るもの	6.5以上 8.5以下	1 mg/l 以下	1 mg/l 以下	7.5 mg/l 以上	50 MPN/100 ml 以下	水域類型ごとに指 定する水 域
A	水道2・3級 水産2級 水浴及びB以下の 欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3 mg/l 以下	5 mg/l 以下	7.5 mg/l 以上	1,000 MPN/100 ml 以下	
B	水産3級 工業用水1級 農業用水及びC以 下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5 mg/l 以下	15 mg/l 以下	5 mg/l 以上	—	
C	工業用水2級 環 境 保 全	6.0以上 8.5以下	8 mg/l 以下	み等の浮遊	2 mg/l 以上	—	
測定方法		規格12.1	規格17	付表8	規格32	量積法による定量法	

備考

水産1級、水産2級及び水産3級については、当分の間、浮遊物質量の項目の基準値は適用しない。

(注) 水産1級:ヒメス等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用
 " 2級:サケ科魚類及びアユ等貧栄養湖型の水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用
 " 3級:コイ、フナ等富栄養湖型の水域の水産生物用

イ

項目 類型	利用目的の適応性	基準値		該当水域
		全窒素	全燐	
I	自然環境保全及びII以下の欄 に掲げるもの	0.1 mg/l 以下	0.005 mg/l 以下	水域類型ごとに指 定する水 域
II	水道1, 2, 3級(特殊なものを除く。) 水産1種 水浴及びIII以下の欄に掲げるもの	0.2 mg/l 以下	0.01 mg/l 以下	
III	水道3級(特殊なもの)及び IV以下の欄に掲げるもの	0.4 mg/l 以下	0.03 mg/l 以下	
IV	水産2種及びVの欄に掲げる もの	0.6 mg/l 以下	0.05 mg/l 以下	
V	水産3種・工業用水 農業用水・環境保全	1 mg/l 以下	0.1 mg/l 以下	
測定方法		規格45.2、3又は4	規格46.3	

備考

- 1 基準値は、年間平均値とする。
- 2 農業用水については、全燐の項目の基準値は適用しない。

(注) 水産1種:サケ科魚類及びアユ等の水産生物用並びに水産2種及び3種の水産生物用
 " 2種:ワカサギ等の水産生物用及び水産3種の水産生物用
 " 3種:コイ、フナ等の水産生物用

表1-3 要監視項目 (平成5年3月8日 環水管第21号 水質保全局長通知)

最新改正 平成11年2月22日)

項目	指針値	項目	指針値
クロロホルム	0.06 mg/l 以下	EPN	0.006 mg/l 以下
トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/l 以下	ジクロルボス	0.008 mg/l 以下
1,2-ジクロロプロパン	0.06 mg/l 以下	フェノブカルブ	0.03 mg/l 以下
p-ジクロロベンゼン	0.3 mg/l 以下	イプロベンホス	0.008 mg/l 以下
イソキサチオノン	0.008 mg/l 以下	クロルニトロフェン	(注1)
ダイアジノン	0.005 mg/l 以下	トルエン	0.6 mg/l 以下
フェニトロチオノン	0.003 mg/l 以下	キシレン	0.4 mg/l 以下
イソプロチオラン	0.04 mg/l 以下	フル酸ジエチルヘキシル	0.06 mg/l 以下
オキシン銅	0.04 mg/l 以下	ニッケル	(注2)
クロロタロニル	0.05 mg/l 以下	モリブデン	0.07 mg/l 以下
プロピザミド	0.008 mg/l 以下	アンチモン	(注2)
		(以上22物質)	

(注1) クロルニトロフェンの指針値は設定せず、当分の間は検出されないこと (<0.0001mg/l) とする。

(注2) ニッケルとアンチモンについては、今までの指針値を削除。

表1-4 「公共用海域等における農薬の水質評価指針」

(平成6年4月15日 環水管第86号 水質保全局長通知)

農薬名	種類	評価指針値 (mg/l)	農薬名	種類	評価指針値 (mg/l)
イプロジオン	殺菌剤	0.3 以下	アタミホス	除草剤	0.004 以下
イミダクロプロトリト	殺虫剤	0.2 以下	アプロフェジン	殺虫剤	0.01 以下
エトフェンプロロックス	殺虫剤	0.08 以下	アレチラクロール	除草剤	0.04 以下
エスピロカルブ	除草剤	0.01 以下	アロベナゾール	殺菌剤	0.05 以下
エディフェンホス(EDDP)	殺菌剤	0.006 以下	アモブチド	除草剤	0.04 以下
カルパリル(NAC)	殺虫剤	0.05 以下	フルトラニル	殺菌剤	0.2 以下
クロルヒリホス	殺虫剤	0.03 以下	ペンシクロン	殺菌剤	0.04 以下
ジクロフェンチオン(ECP)	殺虫剤	0.006 以下	ペンシリド(SAP)	除草剤	0.1 以下
シメトリン	除草剤	0.06 以下	ペンテイメタリン	除草剤	0.1 以下
トルクロホスマチル	殺菌剤	0.2 以下	マラチオン(マラリン)	殺虫剤	0.01 以下
トリクロロホン	殺虫剤	0.03 以下	メフェナセット	除草剤	0.009 以下
トリシクラゾール	殺菌剤	0.1 以下	メプロニル	殺菌剤	0.1 以下
ピリダフエンチオン	殺虫剤	0.002 以下	モリネート	除草剤	0.005 以下
フサライト	殺菌剤	0.1 以下	(以上27農薬)		

[3] 環境基準類型指定状況

生活環境の保全に関する環境基準については、国が昭和45年9月閣議決定により渡良瀬川上流水域を、昭和48年3月には環境庁告示により那珂川、鬼怒川及び渡良瀬川の県際河川を類型指定し、また、知事が指定権限をもつ水域については、昭和48年2月及び9月に33河川2湖沼、昭和52年4月に10河川について類型を指定し、昭和55年12月新たに5河川の類型指定を含む類型改定等全面的な見直しを実施した。さらに昭和60年4月、窒素・りんに係る環境基準について、中禅寺湖（窒素を除く）、湯の湖を類型指定し、平成11年4月1日現在類型指定は、48河川2湖沼となっている。

表1-5 環境基準類型指定水域一覧表

水系	水域名	該当類型及び達成期間	環境基準地點	設定年月日
那珂川	那珂川1 (湯川合流点より上流。)	AAイ	恒明橋	48.3.31 環告示21号
	那珂川2 (湯川合流点から早戸川合流点まで。)	Aイ	新那珂橋口	"
	高雄股川 (流入する支川を含む。)	Aイ	高雄股橋	55.12.5 県告示1157号
	湯川 (流入する支川を含む。)	Aイ	湯川橋	"
	余笠川 [流入する支川を含む。ただし、黒川を除く。]	Aイ	川田橋	"
	黒川 (流入する支川を含む。)	Aイ	新田橋	"
	松葉川 (流入する支川を含む。)	Aイ	末流	"
	筈川 [流入する支川を含む。ただし、蛇尾川を除く。]	Aイ	筈川橋	"
	蛇尾川 (流入する支川を含む。)	Aイ	宇田川橋	"
	武茂川 (流入する支川を含む。)	Aイ	更生橋	"
	荒川 [流入する支川を含む。ただし、内川を除く。]	Aイ	向田橋	"
	内川 (流入する支川を含む。)	Aイ	旭橋	"
鬼怒川	江川 (流入する支川を含む。)	Aイ	末流	"
	逆川 [流入する支川を含む。ただし、坂井川を除く。]	Aイ	末流	"
	鬼怒川1 (大谷川合流点より上流。)	AAイ	川治第一発電所前	48.3.31 環告示21号
	鬼怒川2 [大谷川合流点から田川合流点まで。]	Aイ	鬼怒川橋 (宝積寺川島橋)	"
	男鹿川 (流入する支川を含む。)	AAイ	末流 (川治橋)	55.12.5 県告示1157号
	板穴川 (流入する支川を含む。)	Aイ	末流	"
	大谷川 [流入する支川を含む。ただし、志渡川を除く。]	Aイ	開進橋 (針貝)	"
	湯川 (流入する支川を含む。)	Aイ	末流	"
	志渡渕川 (流入する支川を含む。)	B口	筋違橋	"
	西鬼怒川 (流入する支川を含む。)	Aイ	西鬼怒川橋	"
川	江川上流 [高宮橋から上流。流入する支川を含む。]	Cイ	高宮橋	"
	江川下流 [高宮橋より下流。流入する支川を含む。]	Aイ	末流	"
	田川上流 [御用川合流点より上流。流入する支川を除く。]	Aイ	大曾橋	"

水系	水 域 名	該当類型及び達成期間	環 境 基 準 地	設 定 年 月 日
鬼 怒 川	田川中流 [御用川合流点から明治橋まで。流入する支川を含む。ただし、御用川及び釜川を除く。]	C 口	明 治 橋	55.12.5 県告示1157号
	田川下流 [明治橋より下流。流入する支川を含む。]	B 口	梁 橋	"
川	赤堀川 (流入する支川を含む。)	A 口	木和田島	"
	御用川 (流入する支川を含む。)	C 口	錦中央公園	"
小 貝 川	釜川 (流入する支川を含む。)	C イ	つくし橋 (末流)	"
	小貝川 [流入する支川を含む。ただし、百目川を除く。]	A イ	三 谷 橋	"
	五行川 [流入する支川を含む。ただし、野元川、行屋川及び江川を除く。]	A イ	桂 橋	"
	野元川 (流入する支川を含む。)	A イ	未 流	"
渡 良 瀬 川	行屋川 (流入する支川を含む。)	B ハ	常 盤 橋	"
	渡良瀬川上流 (足尾ダムから赤岩用水取水口まで。)	A イ	高 津 戸	45.9.1 閣議決定
	渡良瀬川2 (桐生川合流点から袋川合流点まで。)	B 口	葉 鹿 橋	48.3.31 県告示 21号
	渡良瀬川3 (袋川合流点から新開橋まで。)	B ハ	渡良瀬大橋 (早川田)	"
	渡良瀬川4 (新開橋から利根川合流点まで。)	B 口	三 国 橋	"
	神子内川 (流入する支川を含む。)	A イ	未 流	55.12.5 県告示1157号
	小俣川上流 [新上野田橋から上流。流入する支川を含む。]	A 口	新上野田橋	"
	小俣川下流 [新上野田橋より下流。流入する支川を含む。]	B イ	未 流	"
	松田川上流 [新松田川橋から上流。流入する支川を含む。]	A 口	新松田川橋	"
	松田川下流 [新松田川橋より下流。流入する支川を含む。]	B イ	未 流	"
川	袋川上流 (助戸から上流。流入する支川を含む。)	B 口	助 戸	"
	袋川下流 (助戸より下流。流入する支川を含む。)	E イ	袋川水門 (末流)	"
	旗川上流 [高田橋から上流。流入する支川を含む。]	A 口	高田橋	"
	旗川下流 [高田橋より下流。流入する支川を含む。ただし、出流川を除く。]	B イ	未 流	"
	出流川 (流入する支川を含む。)	B ハ	未 流	"
	矢場川 [流入する支川を含む。ただし、姥川を除く。]	C イ	矢場川水門 (末流)	"
	才川 (流入する支川を含む。)	A 口	未 流	"
	秋山川上流 [堀米橋から上流。流入する支川を含む。]	A イ	小仙屋波橋 (堀米橋)	"
	秋山川下流 [堀米橋より下流。流入する支川を含む。]	D イ	未 流	"
	三杉川 [流入する支川を含む。ただし、鷺川を除く。]	B イ	未 流	"
巴 波 川	巴波川上流 [吾妻橋から上流。流入する支川を含む。]	C イ	吾妻橋	"
	巴波川下流 [吾妻橋より下流。流入する支川を含む。ただし、永野川を除く。]	B イ	巴 波 橋	"

水系	水域名	該当類型及び達成期間	環境基準地	設定年月日
渡良瀬川	永野川上流 [赤津川合流点より上流。流入する支川を含む。]	Aイ	星野橋	55.12.5 県告示1157号
	永野川下流 [赤津川合流点から下流。流入する支川を含む。]	Bイ	落合橋(末流)	"
	思川上流 [黒川合流点より上流。流入する支川を含む。ただし、大芦川を除く。]	Aイ	保橋	"
	思川下流 [黒川合流点から下流。流入する支川を含む。ただし、黒川及び姿川を除く。]	Bイ	乙女大橋	"
	大芦川 (流入する支川を含む。)	AAイ	赤石橋	"
	黒川 [流入する支川を含む。ただし、西武川を除く。]	Aイ	御成橋	"
その他	姿川 [流入する支川を含む。ただし、新川を除く。]	Bイ	宮前橋	"
	押川 (流入する支川を含む。)	Aイ	越地橋	"
	西仁連川 (流入する支川を含む。)	B口	武井橋	"
湖沼	湯の湖 (全 域)	Ⅲ口	湖心	"
	中禅寺湖 (全 域)	AAイ	湖心	"

(注) 1 該当類型及び達成期間の欄は次のとおりとする。

1 該当類型は、表1-2生活環境の保全に関する環境基準を示す。

2 達成期間の分類は、次のとおりとする。

ア 「イ」は、直ちに達成

イ 「口」は、5年以内で可及的速やかに達成

ウ 「ハ」は、5年を超える期間で可及的速やかに達成

2 水域名及び環境基準地点は県外にあるものであっても、本県に関係あるものを含む。

那珂川(2)(野口)、鬼怒川(2)(川島橋)、渡良瀬川上流(高津戸)、渡良瀬川(4)(三国橋)

表1-6 環境基準類型指定状況

区分	河川・ 湖沼数	水域数	類型別水域数内訳								環境基準地点数
			AA	A	B	C	D	E	I	III	
河川	那珂川水系	13	14	1	13						15
	鬼怒川・小貝川水系	16	20	2	11	3	4				21
	渡良瀬川水系	17	28	1	10	13	2	1	1		29
	その他の水系	2	2	-	1	1	-	-	-		2
	小計	48	64	4	35	17	6	1	1		67
湖沼		2	2	1	1				1	1	2
合計		50	66	5	36	17	6	1	1	1	69

(注) 1 渡良瀬川上流水域について、当該水域数には計上しているが、同水域の環境基準地点(高津戸)は地点数に含まれていない。

2 類型の内、I、IIIについては窒素及びりんに係る類型を示す。

3 那珂川水系には、押川(久慈川水系)を含む。

4 渡良瀬川水系には、利根川に直接流入する西仁連川を含む。

2 地下水

地下水の環境基準は、平成9年3月13日付け環境庁告示第10号により示され、地下水の水質汚濁に係るものについて、人の健康を保護する上で維持することが望ましい基準として設定された。（最新改正：平成11年2月22日）

項目	基 準 値
カドミウム	0.01 mg/l 以下
全シアン	検出されないこと。
鉛	0.01 mg/l 以下
六価クロム	0.05 mg/l 以下
ひ素	0.01 mg/l 以下
総水銀	0.0005 mg/l 以下
アルキル水銀	検出されないこと。
P C B	検出されないこと。
ジクロロメタン	0.02 mg/l 以下
四塩化炭素	0.002 mg/l 以下
1, 2-ジクロロエタン	0.004 mg/l 以下
1, 1-ジクロロエチレン	0.02 mg/l 以下
シス-1, 2-ジクロロエチレン	0.04 mg/l 以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	1 mg/l 以下
1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006 mg/l 以下
トリクロロエチレン	0.03 mg/l 以下
テトラクロロエチレン	0.01 mg/l 以下
1, 3-ジクロロプロペン	0.002 mg/l 以下
チウラム	0.006 mg/l 以下
シマジン	0.003 mg/l 以下
チオベンカルブ	0.02 mg/l 以下
ベンゼン	0.01 mg/l 以下
セレン	0.01 mg/l 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 mg/l 以下
ふつ素	0.8 mg/l 以下
ほう素	1 mg/l 以下

第2章 公共用水域の水質調査

第2章 公用用水域の水質調査

1 調査方法

調査は「平成11年度栃木県公用用水域及び地下水の水質測定計画」に基づき実施した。

(1) 調査期間

平成11年4月から平成12年3月まで

(2) 調査地点

- ① 水系別の調査担当機関別地点数は表2-1のとおり。
- ② 調査地点は、表2-2のとおり。

表2-1 水質調査地点数

調査対象	測定地点数				合計
	栃木県	建設省	宇都宮市	合計	
河川	那珂川水系	29	3	—	32
	鬼怒川・小貝川水系	24	8	12	44
	渡良瀬川水系	30	9	9	48
	その他	4	—	—	4
	小計	87	20	21	128
湖沼		12	3	—	15
合計		99	23	21	143

(3) 測定項目 (測定方法は12ページ)

① 河川調査

生活環境項目: pH、BOD、COD、SS、DO、大腸菌群数

健康項目: カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ひ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロパン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン

特殊項目: n-ヘキサン抽出物(油分)、フェノール類、銅、亜鉛、溶解性鉄、溶解性マンガン、クロム、ふつ素

富栄養化関連項目: 全りん、全窒素、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素

その他の項目: 塩化物イオン、界面活性剤(MBAS)、硫酸イオン、全硬度、酸消費量、アルカリ消費量、EPN

② 湖沼調査

生活環境項目: pH、BOD、COD、SS、DO、大腸菌群数、全りん、全窒素

健康項目: カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ひ素、総水銀

富栄養化関連項目: りん酸イオン、アンモニア性窒素、亜硝酸性窒素、硝酸性窒素、クロロフィルa
(湖沼I調査においてはプランクトンを加える)

その他の項目: 塩化物イオン、硫酸イオン

③ 水道水源調査

トリハロメタン生成能

(4) 測定方法等について

① 測定方法

測 定 項 目	測 定 方 法	報告下限値	記 載 方 法
p H	水質汚濁に係る環境基準別表2に掲げる方法	—	—
B O D	水質汚濁に係る環境基準別表2に掲げる方法	0.5	< 0.5
C O D	水質汚濁に係る環境基準別表2に掲げる方法	0.5	< 0.5
S S	水質汚濁に係る環境基準別表2に掲げる方法	1	< 1
D O	水質汚濁に係る環境基準別表2に掲げる方法	0.5	< 0.5
大 腸 菌 群 数	水質汚濁に係る環境基準別表2に掲げる方法	—	—
カ ド ミ ウ ム	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.001	< 0.001
全 シ ア ン	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.1	N D
鉛	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.001	< 0.001
六 価 ク ロ ム	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.01	< 0.01
ひ 素	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.001	< 0.001
総 水 銀	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.0005	< 0.0005
アルキル水銀	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.0005	N D
P C B	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.0005	N D
ジクロロメタン	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.002	< 0.002
四 塩 化 炭 素	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.0002	< 0.0002
1, 2-ジクロロエタン	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.0004	< 0.0004
1, 1-ジクロロエチレン	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.002	< 0.002
シス-1, 2-ジクロロエチレン	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.004	< 0.004
1, 1, 1-トリクロロエタン	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.001	< 0.001
1, 1, 2-トリクロロエタン	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.0006	< 0.0006
トリクロロエチレン	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.002	< 0.002
テトラクロロエチレン	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.0005	< 0.0005
1, 3-ジクロロプロパン	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.0002	< 0.0002
チ ウ ラ ム	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.0006	< 0.0006
シ マ ジ ン	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.0003	< 0.0003
チオベンカルブ	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.002	< 0.002
ベ ン ゼ ン	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.001	< 0.001
セ レ ン	水質汚濁に係る環境基準別表1に掲げる方法	0.001	< 0.001
n-ヘキサン抽出物質(油分)	水質汚濁に係る環境基準別表2に掲げる方法	0.5	N D
フェノール類	日本工業規格K0102(以下「規格」という。)28.1に掲げる方法	0.01	< 0.01
銅	規格52.2に掲げる方法	0.01	< 0.01
亜 鉛	規格53.2に掲げる方法	0.01	< 0.01
溶 解 性 鉄	規格57.2に掲げる方法	0.1	< 0.1
溶解性マンガン	規格56.2に掲げる方法	0.1	< 0.1
ク ロ ム	規格65.1に掲げる方法	0.3	< 0.3

測定項目	測定方法	報告下限値	記載方法
ふつ素	規格34.1に掲げる方法又は平成5年環水規第121号通知の付表6に掲げる方法	0.02	< 0.02
全空素(T-N)	水質汚濁に係る環境基準別表2に掲げる方法	0.05	< 0.05
アンモニア性窒素(NH ₄ -N)	上水試験方法18.2に掲げる方法	0.02	< 0.02
亜硝酸性窒素(NO ₂ -N)	上水試験方法17.2に掲げる方法	0.02	< 0.02
硝酸性窒素(NO ₃ -N)	上水試験方法15.2に掲げる方法	0.02	< 0.02
全りん(T-P)	水質汚濁に係る環境基準別表2に掲げる方法	0.003	< 0.003
りん酸イオン(PO ³⁻)	規格46.1.1に掲げる方法(P換算)	0.003	< 0.003
クロロフィルa	海洋観測指針9.6に掲げる方法	2	<2
トリハロメタン生成能	平成7年環境庁告示第30号に掲げる方法	0.005	0.005
塩化物イオン	規格35.2又は35.3に掲げる方法	5	<5
硫酸イオン	規格41.1又は41.3に掲げる方法	2	<2
界面活性剤	規格30に掲げる方法	0.05	< 0.05
全硬度	日本工業規格K0101の15.1に掲げる方法	0.5	< 0.5
酸消費量	日本工業規格K0101の13.1に掲げる方法	0.5	< 0.5
アルカリ消費量	日本工業規格K0101の14.1に掲げる方法	0.5	< 0.5
E P N	平成5年環水規第121号付表2の第1又は第2に掲げる方法	0.1	N D

(注) 1 日本工業規格 K0101は、1998年版である。

2 日本工業規格 K0102は、1998年版である。

3 上水試験法は、1993年版である。

4 海洋観測指針は、1990年版である。

② 調査結果の表し方

記載方法：調査結果の表示は、平成5年3月29日付環水規第51号に定める方法により行い、その概要は次のとおりである。

平均：生活環境項目については、調査結果の単純平均を示す。

生活環境項目以外については、報告下限値以上の測定結果の平均を示す。

最小値～最大値：調査結果の最小値及び最大値を示す。

m/n：生活環境項目及び健康項目について、環境基準不適合の測定回数／総測定回数を示す。

k/n：生活環境項目、健康項目以外の測定項目について、報告下限値以上の測定回数／総測定回数を示す。

x/y：各項目について、環境基準に適合しない日数／総測定日数を示す。

表2-2 調査地点一覧

1 河 川

は環境基準地点 その1

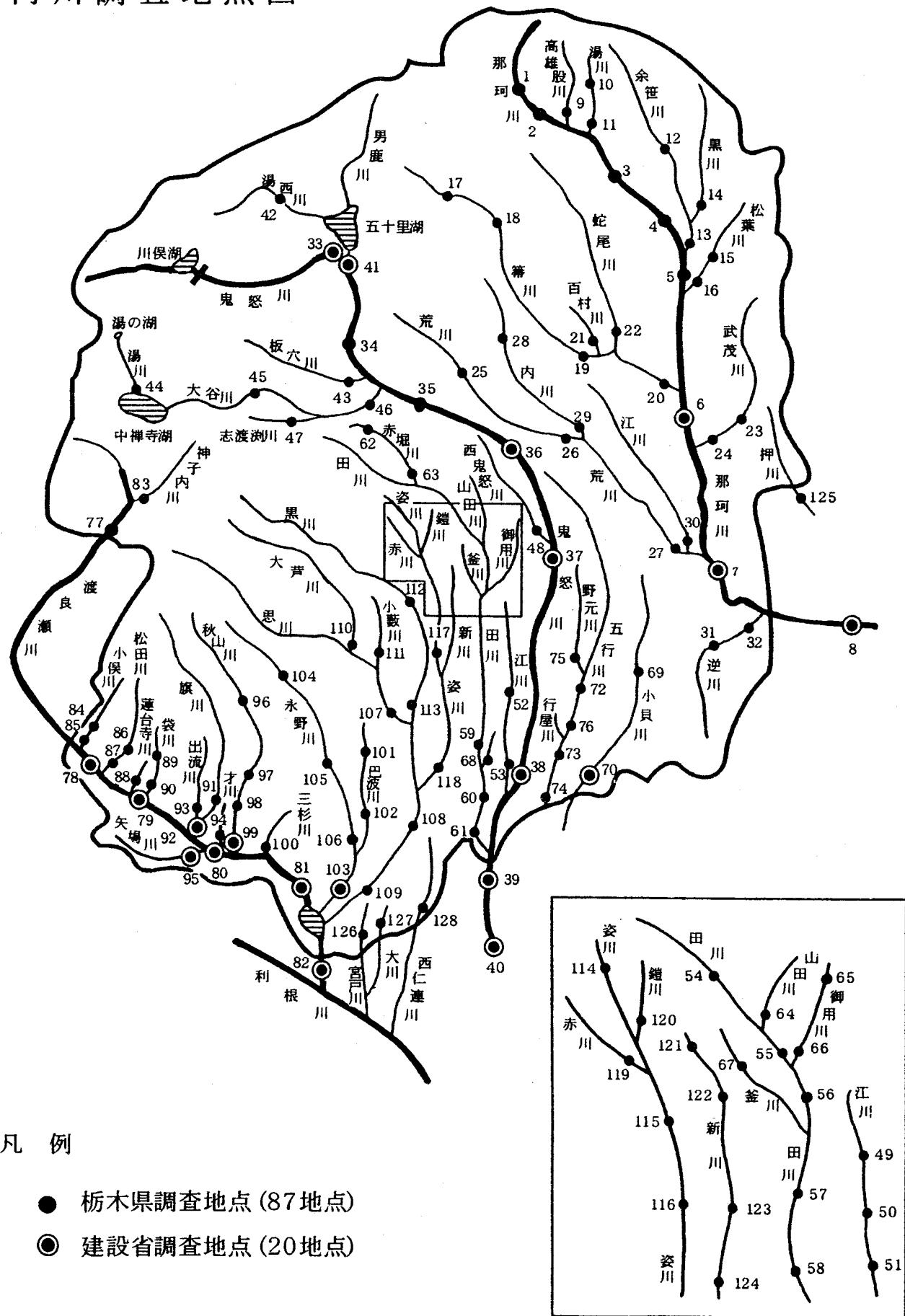
水系	水域名	環境基準	測定地点				測定機関	ページ	
			No.	名 称	統一番号	所在 地		総表	個表
那珂川	那珂川(1)	AA-イ	1	幾世橋下	1-51	黒磯市	栃木県	43	121
			2	恒明橋	1-1	"	"	43	122
	那珂川(2)	A-イ	3	上黒磯	2-54	"	"	44	124
			4	昭明橋	2-53	"	"	44	125
			5	黒羽	2-51	黒羽町	"	45	126
			6	新那珂橋	2-1	小川町	建設省	45	127
			7	川堀	2-52	烏山町	"	46	130
			8	野口	2-2	茨城県御前山村	"	46	132
	高雄股川	A-イ	9	高雄股橋	60-1	那須町	栃木県	47	135
	湯川	A-イ	10	一軒茶屋	61-51	"	"	47	137
			11	湯川橋	61-1	"	"	48	138
	余 笹 川	A-イ	12	余 笹 橋	62-51	"	"	48	140
			13	川田橋	62-1	黒羽町	"	49	141
	黒 川	A-イ	14	新田橋	63-1	那須町	"	49	143
	松葉川	A-イ	15	上高橋	64-51	黒羽町	"	50	145
			16	末流	64-1	"	"	50	146
	筍川	A-イ	17	夕の原	65-53	塙原町	"	51	148
			18	堰場橋	65-52	" 金沢	"	52	149
			19	岩井橋	65-51	大田原市佐久山	"	52	150
			20	筍川橋	65-1	湯津上村	"	52	151
	百村川	-	21	百村中橋	202-1	大田原市	"	53	153
	蛇尾川	A-イ	22	宇田川橋	66-1	"	"	53	154
	武茂川	A-イ	23	太郎橋	67-51	馬頭町	"	54	156
			24	更生橋	67-1	"	"	54	157
	荒川	A-イ	25	槐橋	68-52	塙谷町玉生	"	55	159
			26	連城橋	68-51	喜連川町	"	55	160
			27	向田橋	68-1	烏山町	"	56	161
	内川	A-イ	28	田中橋	69-51	矢板市	"	56	163
			29	旭橋	69-1	喜連川町	"	57	164
	江川	A-イ	30	未流	70-1	烏山町	"	57	166
	逆川	A-イ	31	十石橋	71-51	茂木町	"	58	168
			32	未流	71-1	"	"	58	169
鬼怒川	鬼怒川(1)	AA-イ	33	川治第一発電所前	3-1	藤原町	建設省	59	171
			34	小佐越	3-51	"	栃木県	59	173
	鬼怒川(2)	A-イ	35	佐貫	4-51	塙谷町	"	60	174
			36	上平橋	4-52	"	建設省	60	175
			37	鬼怒川橋(宝積寺)	4-1	河内町	"	61	177
			38	大道泉橋	4-53	二宮町	"	61	180
			39	川島橋	4-2	茨城県下館市	"	62	182
	鬼怒川(3)	A-口	40	平方	54-51	" 関城町	"	62	185
	男鹿川	AA-イ	41	未流	72-1	藤原町川治	"	63	187
	湯西川	AA-イ	42	前沢橋	72-51	栗山村	栃木県	63	189

水系	水域名	環境基準	測定地点				測定機関	ページ	
			No.	名称	統一番号	所在地		総括表	個別表
鬼怒川	板穴川	A-イ	43	末流	73-1	今市市	栃木県	64	190
	湯川	A-イ	44	末流	74-1	日光市	"	64	192
	大谷川	A-イ	45	神橋	75-51	"	"	65	194
			46	開進橋(針貝)	75-1	今市市	"	65	195
	志渡渕川	B-口	47	筋違橋	76-1	日光市	"	66	197
	西鬼怒川	A-イ	48	西鬼怒川橋	77-1	河内町	"	66	199
	江川上流	C-イ	49	腰抱地蔵前	78-53	宇都宮市	宇都宮市	67	201
			50	新国道四号下	78-52	"	"	67	202
			51	平塚橋	78-51	宇都宮市	"	68	203
			52	高宮橋	78-1	上三川町	栃木県	68	204
川	江川下流	A-イ	53	末流	79-1	南河内町	"	69	206
	田川上流	A-イ	54	上の島橋	80-51	宇都宮市	宇都宮市	69	208
			55	大曾橋	80-1	"	"	70	209
	田川中流	C-口	56	宮の橋	81-54	"	"	70	211
			57	鉄道橋	81-52	"	"	71	213
			58	孫八橋	81-51	"	"	71	214
			59	明治橋	81-1	上三川町	栃木県	72	215
	田川下流	B-口	60	坪山橋	82-51	南河内町	"	72	216
			61	梁橋	82-1	小山市	"	73	218
小貝川	赤堀川	A-口	62	今市市役所前	83-51	今市市	"	73	219
			63	木和田島	83-1	"	"	74	221
	山田川	A-イ	64	末流	80-52	宇都宮市	宇都宮市	74	222
	御用川	C-口	65	昭和橋	84-51	"	"	75	224
			66	錦中央公園	84-1	"	"	75	225
	釜川	C-イ	67	つくし橋(末流)	85-1	"	"	76	226
	無名瀬川	B-口	68	末流	82-52	南河内町	栃木県	76	228
	小貝川	A-イ	69	紅取橋	86-51	益子町	"	77	230
			70	三谷橋	86-1	二宮町	建設省	77	231
渡良瀬川	五行川	A-イ	71	花岡	87-53	高根沢町	栃木県	78	232
			72	若橋	87-51	芳賀町	"	78	235
			73	高畦橋	87-52	二宮町	"	79	236
			74	桂橋	87-1	"	"	79	237
	野元川	A-イ	75	末流	88-1	芳賀町	"	80	238
	行屋川	B-ハ	76	常盤橋	89-1	真岡市	"	80	240
	渡良瀬川上流	A-イ	77	渡良瀬川取水堰	53-54	足尾町	"	81	243
	渡良瀬川(2)	B-口	78	葉鹿橋	5-1	足利市	建設省	81	244
			79	中橋	5-51	"	"	82	247
	渡良瀬川(3)	B-ハ	80	渡良瀬大橋	6-1	群馬県館林市	"	82	249
			81	新開橋	6-51	藤岡町	"	83	252
	渡良瀬川(4)	B-口	82	三国橋	7-1	茨城県古河市	"	83	254
	神子内川	A-イ	83	末流	90-1	足尾町	栃木県	84	256
	小俣川上流	A-口	84	新上野田橋	91-1	足利市	"	84	258
	小俣川下流	B-イ	85	末流	92-1	"	"	85	262

水系	水域名	環境基準	測定地点				測定機関	ページ	
			No	名称	統一番号	所在地		総表	個表
渡良瀬川	松田川上流	A-口	86	新松田川橋	93-1	足利市	栃木県	85	262
	松田川下流	B-イ	87	末流	94-1	"	"	86	264
	蓮台寺川	-	88	末流	206-1	"	"	86	266
	袋川上流	B-口	89	助戸	95-1	"	"	87	268
	袋川下流	E-イ	90	袋川水門(末流)	96-1	"	"	87	269
	旗川上流	A-口	91	高田橋	97-1	佐野市	"	88	271
	旗川下流	B-イ	92	末流	98-1	足利市	建設省	88	273
	出流川	B-ハ	93	末流	99-1	"	栃木県	89	275
	才川	A-口	94	末流	100-1	佐野市	"	89	278
	矢場川	C-イ	95	矢場川水門(末流)	101-1	足利市	建設省	90	280
	秋山川上流	A-イ	96	小屋橋(仙波)	102-1	葛生町	栃木県	90	282
			97	堀米橋	102-2	佐野市	"	91	284
	秋山川下流	D-イ	98	中橋	103-51	"	"	91	287
			99	末流	103-1	"	建設省	92	289
	三杉川	B-イ	100	末流	104-1	藤岡町	栃木県	92	290
	巴波川上流	C-イ	101	原の橋	105-51	栃木市	"	93	293
			102	吾妻橋	105-1	大平町	"	93	295
	巴波川下流	B-イ	103	巴波橋	106-1	藤岡町	建設省	94	296
	永野川上流	A-イ	104	星野橋	107-1	栃木市	栃木県	94	298
			105	大岩橋	107-2	"	"	95	300
	永野川下流	B-イ	106	落合橋(末流)	108-1	小山市	"	95	302
	思川上流	A-イ	107	保橋	109-1	栃木市	"	96	304
	思川下流	B-イ	108	小山大橋	110-51	小山市	"	96	306
			109	乙女大橋	110-1	"	"	97	308
	大芦川	AA-イ	110	赤石橋	111-1	鹿沼市	"	97	309
	小藪川	A-イ	111	小藪橋	109-51	"	"	98	311
	黒川	A-イ	112	貝島橋	112-51	"	"	98	313
			113	御成橋	112-1	壬生町	"	99	314
	姿川	B-イ	114	こしじ橋	113-55	宇都宮市	宇都宮市	99	315
			115	鹿沼街道	113-54	"	"	100	317
			116	姿川橋	113-52	"	"	100	318
			117	淀橋	113-51	"	栃木県	101	319
			118	宮前橋	113-1	国分寺町	"	101	320
	赤川	-	119	高速道下	214-1	宇都宮市	宇都宮市	102	321
	鎧川	B-イ	120	能満寺西	113-57	"	"	102	322
その他	新川	-	121	中央女子高西	213-6	"	"	103	324
			122	六道分歧点	213-5	"	"	103	325
			123	航空隊西	213-3	"	"	104	326
			124	南町西	213-1	"	"	104	327
	押川	A-イ	125	越地橋	114-1	茨城県大子町	栃木県	105	327
	宮戸川	-	126	川田橋	210-1	野木町	"	105	328
	大川	-	127	県道明野間々田線	211-1	小山市	"	106	329
	西仁連川	B-口	128	武井橋	115-1	"	"	106	330

水 域 名	環 境 基 準	測 定 地 点					測定機関	ペー ジ	
		No	名 称	統 一 番 号	所 在 地	総括表		個表	
川 俣 湖	-	1	湖 心	401- 1	栗山村	建設省	107	333	
五 十 里 湖	-	2	湖 心	402- 1	藤原町	"	107	334	
川治ダム貯水池	-	3	湖 心	403- 1	"	"	108	335	
塩原ダム貯水池	-	4	湖 心	404- 1	塩原町	栃木県	108	336	
湯 の 湖	A-イ III-口	5	S t . 1	511-51	日光市	"	109	337	
		6	S t . 2	511-52	"	"	109	338	
		7	S t . 3	511-53	"	"	110	339	
		8	S t . 4	511-54	"	"	110	340	
		9	S t . 5 (湖心)	511- 1	"	"	111	341	
		10	S t . 6	511-55	"	"	113	342	
		11	S t . 8	511-56	"	"	114	343	
		12	S t . 1	512-51	"	"	114	344	
		13	S t . 4	512-54	"	"	115	345	
		14	S t . 6 (湖心)	512- 1	"	"	115	348	
		15	S t . 7	512-56	"	"	119	349	
中 禅 寺 湖	AA-イ I-イ								

河川調査地点図

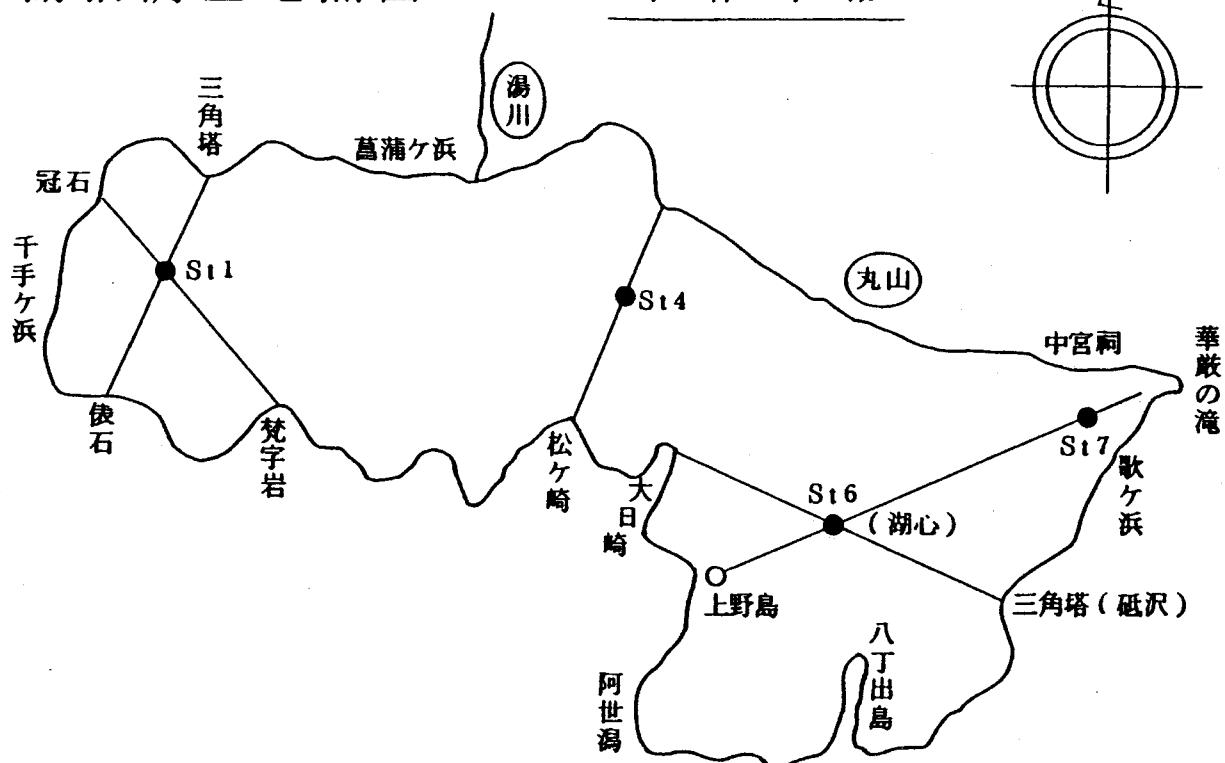


凡 例

- 栃木県調査地点 (87地点)
- ◎ 建設省調査地点 (20地点)

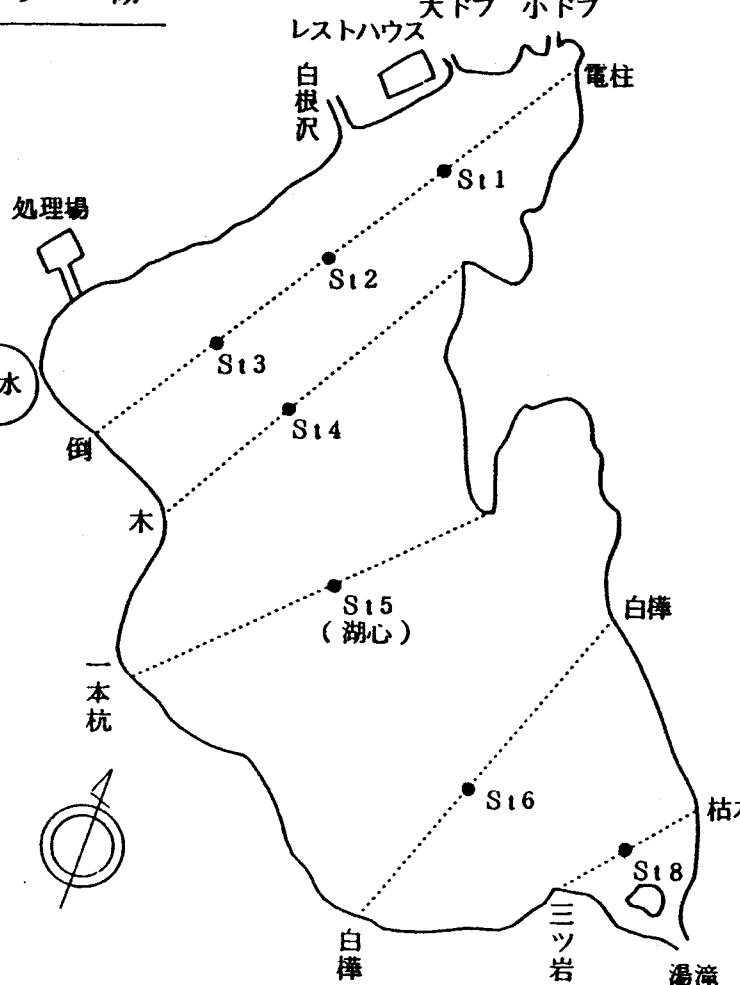
湖沼調査地点図

中禅寺湖



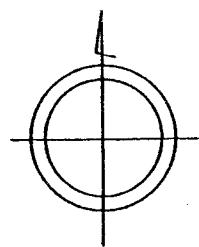
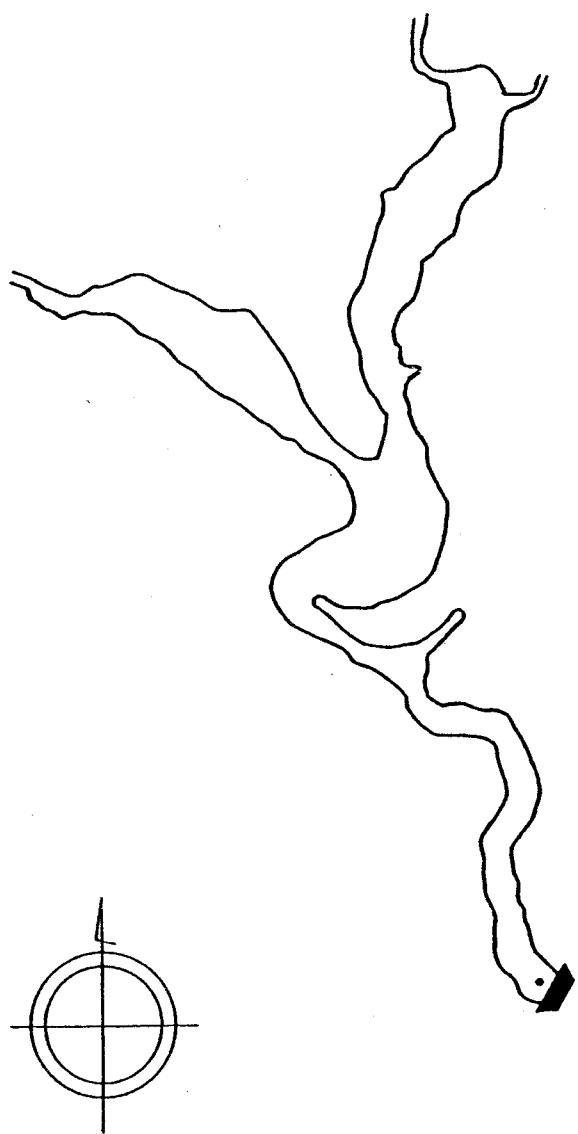
湯の湖

大ドブ 小ドブ

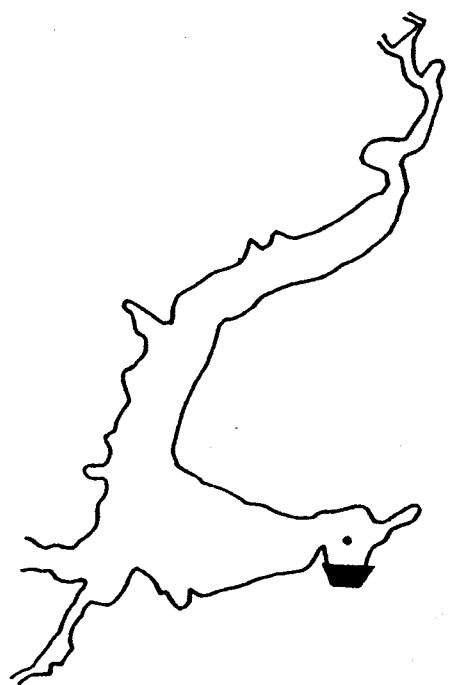


五 十 里 湖

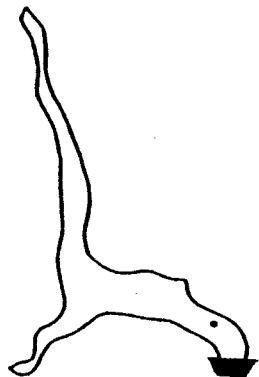
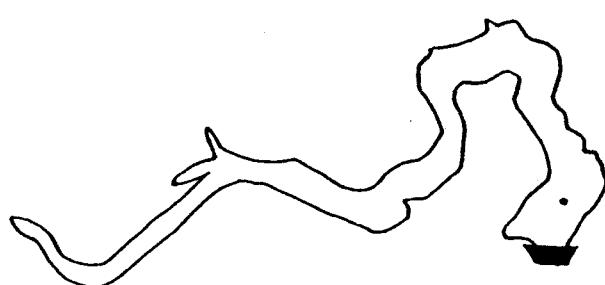
川 俣 湖



川治ダム貯水池



塩原ダム貯水池



■: ダムサイト

2 調査結果の概要

2 調査結果の概要

[1] 健康項目

11年度の河川における人の健康の保護に関する項目については、那珂川水系湯川橋で一時的に鉛とひ素が環境基準を超過したが、他はすべての地点で環境基準を達成している。

健康項目の環境基準不適合状況の経年変化は、表2-3のとおりである。

表2-3 健康項目の環境基準不適合状況（経年変化）

項目	年 度 4 年 度 (m / n)	5 年 度 (m / n)	6 年 度 (m / n)	7 年 度 (m / n)	8 年 度 (m / n)	9 年 度 (m / n)	10 年 度 (m / n)	11 年 度 (m / n)
カドミウム	0 / 365	0 / 363	0 / 363	0 / 363	0 / 363	0 / 358	0 / 352	0 / 352
全シアン	0 / 353	0 / 351	0 / 351	0 / 351	0 / 351	0 / 346	0 / 340	0 / 340
鉛	0 / 365	0 / 363	1 / 363	0 / 362	0 / 363	1 / 358	0 / 352	1 / 352
六価クロム	0 / 353	0 / 351	0 / 351	0 / 351	0 / 351	0 / 346	0 / 340	0 / 340
ひ素	0 / 365	0 / 363	2 / 363	1 / 363	0 / 363	2 / 358	0 / 352	1 / 352
総水銀	0 / 350	0 / 351	1 / 351	0 / 351	0 / 351	0 / 346	0 / 340	0 / 340
アルキル水銀	0 / 53	0 / 53	0 / 54	0 / 54	0 / 53	0 / 53	0 / 72	0 / 72
PCB	0 / 77	0 / 77	0 / 66	0 / 78	0 / 78	0 / 75	0 / 77	0 / 77
トリクロロエチレン	—	0 / 272	0 / 272	0 / 271	0 / 272	0 / 273	0 / 267	0 / 267
テトラクロロエチレン	—	0 / 272	0 / 272	0 / 271	0 / 272	0 / 273	0 / 267	0 / 267
四塩化炭素	—	0 / 133	0 / 105	0 / 124	0 / 132	0 / 134	0 / 134	0 / 134
ジクロロメタン	—	0 / 130	0 / 106	0 / 124	0 / 133	0 / 134	0 / 134	0 / 134
1,2-ジクロロエタン	—	0 / 133	0 / 106	0 / 124	0 / 133	0 / 132	0 / 110	0 / 110
1,1,1-トリクロロエタン	—	0 / 133	0 / 106	0 / 124	0 / 133	0 / 132	0 / 110	0 / 110
1,1,2-トリクロロエタン	—	0 / 133	0 / 106	0 / 124	0 / 133	0 / 132	0 / 110	0 / 110
1,1-ジクロロエチレン	—	0 / 133	0 / 106	0 / 124	0 / 133	0 / 132	0 / 110	0 / 110
シス-1,2-ジクロロエチレン	—	0 / 133	0 / 106	0 / 124	0 / 133	0 / 132	0 / 110	0 / 110
1,3-ジクロロプロパン	—	0 / 133	0 / 106	0 / 120	0 / 129	0 / 130	0 / 106	0 / 106
チウラム	—	0 / 133	0 / 106	0 / 120	0 / 130	0 / 130	0 / 129	0 / 129
シマジン	—	0 / 133	0 / 106	0 / 120	0 / 129	0 / 130	0 / 130	0 / 130
チオベンカルブ	—	0 / 133	0 / 106	0 / 120	0 / 129	0 / 130	0 / 130	0 / 130
ベンゼン	—	0 / 133	0 / 106	0 / 124	0 / 133	0 / 134	0 / 134	0 / 134
セレン	—	0 / 133	0 / 106	0 / 124	0 / 133	0 / 134	0 / 134	0 / 134
合 m/n	0 / 2,281	0 / 4,542	4 / 4,183	1 / 4,411	0 / 4,530	3 / 4,502	0 / 4,340	2 / 4,305
計 %	0	0	0.10	0.02	0	0.07	0	0.07

注) m/n : (環境基準不適合率) = (環境基準不適合検体数) / (調査実施検体数)

[2] 生活環境項目

生活環境の保全に関する項目（生活環境項目）について、河川の有機性汚濁の指標であるBODで達成状況をみると、県全体の達成率は72%であり、前年度（77%）より低下している。

水系別のBODの環境基準達成率は、那珂川水系80%、鬼怒川・小貝川水系80%、渡良瀬川水系62%となっており、前年度に比べて那珂川水系で達成率が低下している。（表2-4、図2-1）

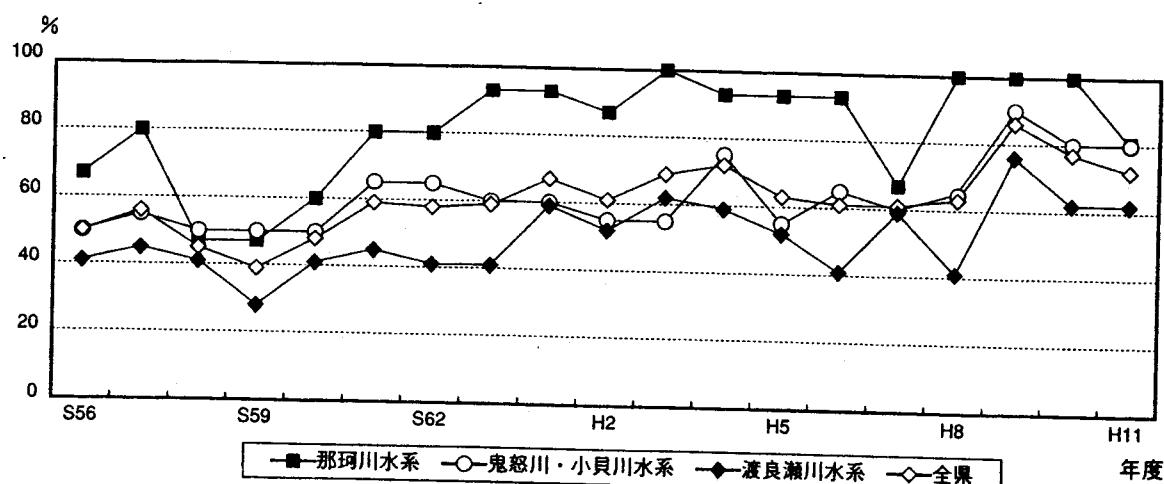
表2-4 環境基準の達成状況（BOD経年変化）

水系	4年度		5年度		6年度		7年度		8年度		9年度		10年度		11年度	
	A ／ B	達成率	A ／ B	達成率	A ／ B	達成率	A ／ B	達成率								
那珂川	14 ／ 15	(%) 93	14 ／ 15	(%) 93	14 ／ 15	(%) 93	10 ／ 15	(%) 67	15 ／ 15	(%) 100	15 ／ 15	(%) 100	15 ／ 15	(%) 100	12 ／ 15	(%) 80
鬼怒川・小貝川	15 ／ 20	75	11 ／ 20	55	13 ／ 20	65	12 ／ 20	60	13 ／ 20	65	18 ／ 20	90	16 ／ 20	80	16 ／ 20	80
渡良瀬川	17 ／ 29	59	15 ／ 29	52	12 ／ 29	41	17 ／ 29	59	12 ／ 29	41	22 ／ 29	76	18 ／ 29	62	18 ／ 29	62
計	46 ／ 64	72	40 ／ 64	63	39 ／ 64	61	39 ／ 64	61	40 ／ 64	63	55 ／ 64	86	49 ／ 64	77	46 ／ 64	72

(注) 1 A／B=環境基準達成水域数／類型指定水域数

2 各環境基準地点（渡良瀬川上流水域は補助地点）において、BODの環境基準適合率75%以上を環境基準達成水域とした。

図2-1 環境基準の達成状況（BOD経年変化）



生活環境項目別の環境基準適合状況は、SS、大腸菌群数が前年度よりも高くなっているが、BODは前年度よりもやや低下している。PH、DOは前年度と同程度であった。

なお、那珂川水系はBODの適合率が80%と高いが、大腸菌群数の適合率は17.2%と低い。（表2-5）

表2-5 項目別環境基準適合状況（11年度）

水系名	地 点 数	p H		D O		B O D		S S		大腸菌群数		計	
		m/n	%	m/n	%	m/n	%	m/n	%	m/n	%	m/n	%
那珂川	32	402 416	96.6	416 416	100	514 584	88.0	534 584	91.4	95 551	17.2	1,961 2,551	76.8
鬼怒川 小貝川	44	615 617	99.7	610 617	98.9	657 809	81.2	783 809	96.8	149 563	26.5	2,814 3,415	82.4
渡良瀬川	43	606 613	98.9	605 613	98.7	688 889	77.4	800 859	93.1	185 686	27.0	2,884 3,660	78.8
計	119	1,623 1,646	98.6	1,631 1,646	99.1	1,859 2,282	81.5	2,117 2,252	94.0	429 1,800	23.8	7,659 9,526	80.4
前 年 度	119	2,281 2,304	99.0	2,284 2,304	99.1	1,976 2,304	85.8	2,108 2,280	92.5	318 1,787	17.8	8,967 10,979	81.7

(注) 1 環境基準類型指定の全調査地点を対象とした。
2 m/n = 環境基準適合検体数 / 調査実施検体数

過去5か年における、主要河川の県内末流地点における水質を、BODの年平均値で表した。（図2-2）
平成11年度は前年と比較して、渡良瀬川（三国橋）で改善されている。

各河川におけるBOD75%値及び年平均値の経年変化は、表2-8及び表2-9のとおりである。

図2-2 主要河川県内末流地点の水質経年変化

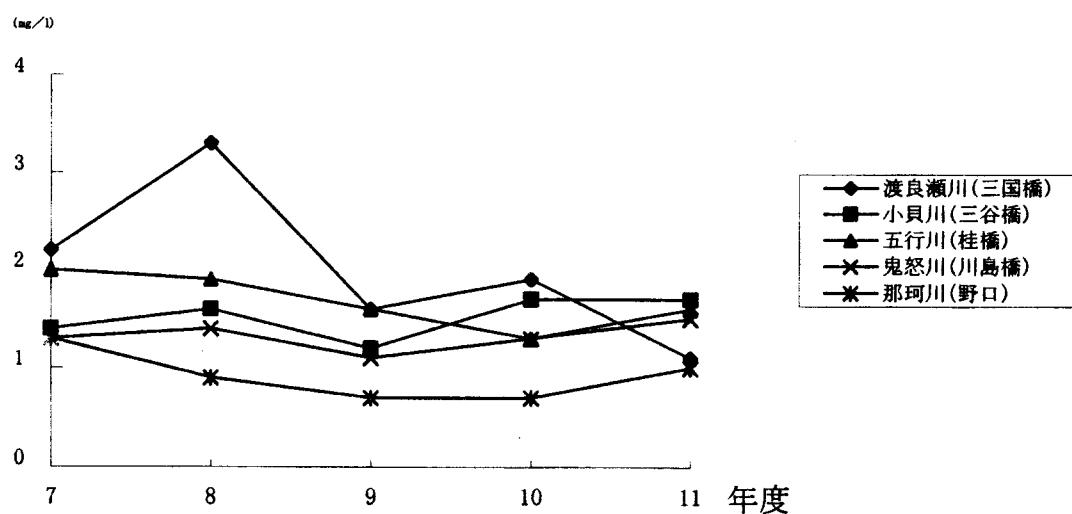


表2-6 環境基準地点における栃木県内ベスト河川一覧 (BOD年平均値)

(単位: mg/l)

No.	河川名	地 点 名	所在 地	類型	11年度	10年度	9年度	8年度	7年度
1	鬼怒川	川治第1発電所前	藤原町	AA	0.6	0.8	0.6	0.7	1.0
2	男鹿川	末 流	藤原町	AA	0.7	0.7	0.5	0.8	1.4
3	秋山川	小 屋 橋	葛生町	A	0.8	0.8	0.8	0.8	0.9
4	那珂川	新 那 珂 橋	小川町	A	0.9	1.0	1.0	1.5	1.8
5	黒 川	新 田 橋	那須町	A	1.0	0.9	0.7	0.7	0.9
	大 谷 川	開 進 橋	今市市	A	1.0	0.8	0.6	0.6	0.8
	大 芦 川	赤 石 橋	鹿沼市	AA	1.0	0.7	0.7	0.6	0.7
	永 野 川	星 野 橋	栃木市	A	1.0	0.9	0.8	0.9	1.3
	思 川	保 橋	栃木市	A	1.0	0.7	0.7	1.1	1.0

表2-7 環境基準地点における栃木県内ワースト河川一覧 (BOD年平均値)

(単位: mg/l)

No.	河川名	地 点 名	所在 地	類型	11年度	10年度	9年度	8年度	7年度
1	松田川	末 流	足利市	B	14	11	12	14	13
2	袋 川	袋 川 水 門	足利市	E	5.9	4.6	4.1	5.7	5.4
3	巴 波 川	吾 妻 橋	大平町	C	5.5	4.8	5.1	7.5	5.7
4	矢 場 川	矢 場 川 水 門	足利市	C	4.6	5.7	4.9	4.9	4.1
5	小 俣 川	新 上 野 田 橋	足利市	A	4.3	6.1	3.9	4.3	2.5
	御 用 川	錦 中 央 公 園	宇都宮市	C	4.3	7.5	13	13	9.5

(単位: 噸/年) その3

水系	類型	水域名	環境基準地点	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
渡良瀬川	A	黒川	御成橋	2.1	2.2	1.6	1.4	1.9	1.8	1.3	1.4	1.2	1.6
				1.8	2.5	1.4	1.2	1.7	1.6	1.7	1.1	1.0	1.5
	B	渡良瀬川(2)	葉鹿橋	1.8	1.8	2.8	2.7	2.2	1.6	2.4	1.8	1.6	2.9
				1.4	1.6	2.1	1.8	1.5	1.5	1.6	1.3	1.4	2.2
	" (3)	渡良瀬大橋 (早川田)		3.1	2.5	3.9	4.1	3.1	2.5	3.2	2.5	2.9	2.5
				2.3	2.4	2.9	2.6	2.1	2.1	2.7	2.0	2.3	1.8
	" (4)	三国橋		2.4	2.1	3.2	4.1	3.7	3.6	4.1	2.2	2.3	2.2
				2.1	1.7	2.6	2.8	2.7	2.2	3.3	1.6	1.9	1.9
	小俣川下流	末流		4.9	4.8	3.8	3.6	4.4	4.6	4.8	4.1	3.4	4.1
				3.9	3.3	3.3	3.1	3.7	3.5	4.2	3.0	2.8	3.2
	松田川下流	末流		5.8	8.0	11	14	22	17	19	17	13	20
				5.3	7.0	12	10	15	13	14	12	11	14
	袋川上流	助戸		3.9	4.4	3.1	4.0	5.8	5.7	5.3	3.1	3.8	4.2
				3.2	3.2	2.8	3.3	5.2	4.2	3.9	2.7	3.0	3.0
	旗川下流	末流		3.6	2.0	3.9	4.9	5.0	3.3	5.0	2.7	5.5	3.8
				2.4	2.1	3.0	3.2	3.1	2.8	4.2	2.2	3.2	3.0
	出流川	末流		2.8	2.9	2.9	2.8	4.8	6.8	3.6	3.5	7.0	3.6
				2.4	2.4	2.6	2.3	3.6	4.7	3.4	2.7	7.6	2.8
	三杉川	末流		4.0	4.6	4.0	4.1	5.9	4.5	4.3	2.8	5.9	4.6
				3.1	3.5	3.1	3.1	4.1	3.5	3.0	2.4	4.9	4.1
	巴波川下流	巴波橋		2.0	2.0	2.8	4.0	5.9	2.8	3.3	2.3	2.4	2.1
				2.0	1.6	3.2	3.2	3.8	2.9	2.8	1.7	1.9	1.9
	永野川下流	落合橋 (末流)		3.1	2.9	2.6	3.2	3.8	3.1	5.5	2.2	2.2	2.5
				2.5	2.7	2.4	2.3	3.2	2.9	3.7	1.7	1.5	2.2
	思川下流	乙女大橋		2.2	2.6	2.1	2.6	2.7	2.3	4.2	2.0	2.2	2.6
				1.8	2.7	1.9	1.9	2.3	2.0	3.0	1.6	1.8	1.9
	姿川	宮前橋		2.4	3.1	2.4	2.9	3.8	3.0	2.8	1.8	2.3	2.4
				2.0	2.7	2.4	2.0	2.8	2.5	5.7	1.6	2.0	1.9
	西仁連川	武井橋		3.5	3.9	3.9	3.8	4.6	4.9	4.5	3.0	3.4	3.4
				3.1	4.4	3.0	3.0	3.8	3.8	3.4	2.6	2.5	3.0
	C	矢場川	矢場川水門 (末流)	8.3	6.2	7.8	8.5	8.8	4.6	5.2	6.1	8.1	6.5
				6.3	4.5	5.9	9.2	5.9	4.1	4.9	4.9	5.7	4.6
	D	秋山川下流	吾妻橋	7.9	9.3	7.9	10	7.4	6.9	10	6.5	5.1	8.4
				8.7	7.7	7.4	7.5	6.1	5.7	7.5	5.1	4.8	5.5
	E	袋川下流	袋川水門 (末流)	3.8	4.0	4.9	3.0	3.1	2.8	2.7	2.6	4.0	4.8
				2.5	2.9	4.3	2.1	2.8	2.3	2.8	1.9	4.1	3.8

(注) 上段は75%値で

は環境基準不適合、下段は年平均値

(単位: 品目)

水系	類型	水域名	補助地点	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
渡良瀬川	渡良瀬川(3)		新開橋	3. 5	3. 0	3. 4	4. 9	4. 4	3. 5	4. 0	2. 8	2. 9	2. 6
				2. 7	2. 3	2. 7	3. 4	3. 0	2. 6	3. 3	2. 0	2. 1	2. 3
	思川下流		小山大橋	2. 1	1. 6	1. 3	1. 4	2. 3	1. 4	1. 6	1. 4	1. 4	2. 0
				1. 7	1. 3	1. 2	1. 2	2. 0	1. 4	1. 6	1. 2	1. 0	1. 4
	姿川	こしじ橋		1. 6	1. 8	1. 4	2. 1	1. 3	2. 0	1. 9	1. 7	3. 4	3. 0
				2. 0	1. 5	1. 3	1. 7	1. 1	1. 7	1. 6	1. 4	2. 0	1. 9
		鹿沼街道		4. 5	3. 2	3. 5	3. 0	2. 8	4. 6	3. 6	1. 8	2. 8	2. 6
				3. 0	2. 4	2. 5	2. 5	2. 0	3. 9	2. 8	1. 6	2. 2	2. 0
	姿川橋			1. 8	2. 1	3. 7	3. 9	2. 1	3. 3	1. 6	1. 8	4. 0	2. 5
				2. 1	1. 4	1. 8	5. 0	1. 5	2. 6	1. 3	1. 7	2. 3	1. 8
	淀橋			2. 1	1. 9	1. 8	2. 0	2. 5	2. 1	1. 8	1. 5	1. 7	2. 3
				1. 5	2. 0	1. 6	1. 4	1. 9	1. 7	2. 2	1. 2	1. 5	1. 6
	鎧川	能満寺西		5. 8	1. 3	2. 4	2. 8	1. 8	3. 5	2. 2	1. 3	2. 0	2. 1
				3. 1	1. 2	1. 4	2. 6	1. 4	2. 0	2. 4	1. 1	1. 6	1. 4
	C 巴波川上流		原の橋	8. 4	10	8. 2	7. 5	6. 7	9. 7	9. 4	5. 0	3. 9	5. 4
				6. 5	7. 9	6. 4	5. 2	7. 0	6. 5	6. 5	4. 0	3. 2	4. 2
	D 秋山川下流		中橋 (佐野市)	4. 7	3. 2	4. 1	3. 5	3. 7	3. 3	3. 9	3. 6	2. 5	2. 0
				3. 3	2. 6	2. 9	3. 8	3. 2	2. 7	3. 9	2. 4	2. 1	1. 8
瀬川		新川	中央女子高西	25	18	19	16	17	12	12	15	7. 7	4. 7
				17	14	15	13	14	11	8. 1	11	6. 5	4. 0
			六道分岐点	12	7. 4	6. 4	10	5. 4	7. 3	6. 9	4. 5	4. 6	3. 7
				9. 8	7. 6	4. 9	7. 6	4. 9	5. 7	5. 1	3. 7	3. 8	3. 0
			航空隊西	15	36	8. 9	6. 3	5. 2	5. 6	3. 1	4. 3	5. 5	3. 1
				13	37	12	5. 5	5. 3	3. 5	2. 7	4. 8	3. 5	2. 5
			南町西	26	13	10	4. 2	7. 3	8. 3	5. 1	20	8. 0	4. 4
				14	9. 5	7. 5	5. 2	5. 2	8. 3	4. 7	10	5. 9	3. 6
			赤川	1. 8	1. 1	2. 6	2. 4	1. 3	2. 2	1. 3	1. 1	2. 3	1. 7
				1. 8	0. 9	1. 4	1. 8	1. 1	1. 7	1. 2	1. 0	1. 8	1. 5
			宮戸川	6. 7	5. 6	8. 4	5. 1	5. 4	9. 4	13	9. 1	5. 8	5. 4
				6. 1	5. 1	6. 3	4. 6	5. 0	6. 3	9. 4	7. 2	5. 3	5. 1
			大川	4. 0	3. 9	3. 7	3. 6	4. 3	4. 2	4. 1	2. 8	4. 2	5. 1
				3. 3	6. 7	3. 9	3. 0	3. 4	3. 6	3. 3	2. 8	2. 8	4. 3
			蓮台寺川	12	11	11	19	8. 9	7. 1	18	10	13	9. 9
				11	8. 9	9. 6	15	7. 4	6. 6	13	8. 2	12	7. 8

(注) 上段は75%値、下段は年平均値

[3] 各水系の概要

本県の大半の河川は、那珂川、鬼怒川・小貝川及び渡良瀬川の三大水系に分けられ、その流域は、県土のほぼ3分の1ずつに等分される。

これらの河川の水質は、流域の産業活動の形態により異なり、各水系の水質を特徴づけている。

(1) 那珂川水系の水質

那珂川水系に属する河川の15水域における環境基準類型指定状況はAA又はA類型で、他水系に比較し水質的に良好な河川が多い。

環境基準達成状況をBODでみると、環境基準達成水域がAA類型で1水域、A類型で2水域減って、達成率は80%に低下している。(表2-10)

表2-10 那珂川水系の環境基準達成状況

I 環境基準を達成した水域

類型	水域名	環境基準地点	適合率 (%)	75%値 (mg/l)	平均値 (mg/l)	5年間 平均値 (mg/l)	類型	水域名	環境基準地点	適合率 (%)	75%値 (mg/l)	平均値 (mg/l)	5年間 平均値 (mg/l)
AA							AA	那珂川(1)	恒明橋	54	1.3	1.1	0.8
A	那珂川(2) 野口	新那珂橋 野口	100 89	1.0 1.0	0.9 1.0	1.4 1.1	A	江川 逆川	末流 末流	63 63	2.6 2.3	2.3 1.9	2.5 1.9
	高雄股川 湯川	高雄股橋 湯川橋	100	1.4	1.1	0.8							
	余管川 黒川	余管川 黒川橋	92	1.4	1.1	1.1							
	松葉川 末流	松葉川 末流橋	96	1.2	1.0	1.0							
	蕃尾川 宇田川	蕃尾川 宇田川橋	92	1.4	1.2	1.0							
	武茂川 更生川	武茂川 更生橋	96	1.4	1.1	1.1							
	荒川 内川	荒川 内川橋	79	1.9	1.5	1.5							
	押川 越地	押川 越地橋	96	1.3	1.1	0.9							
計			12	(15)			計			3	(0)		
構成比			80%	(100%)			計			20%	(0%)		

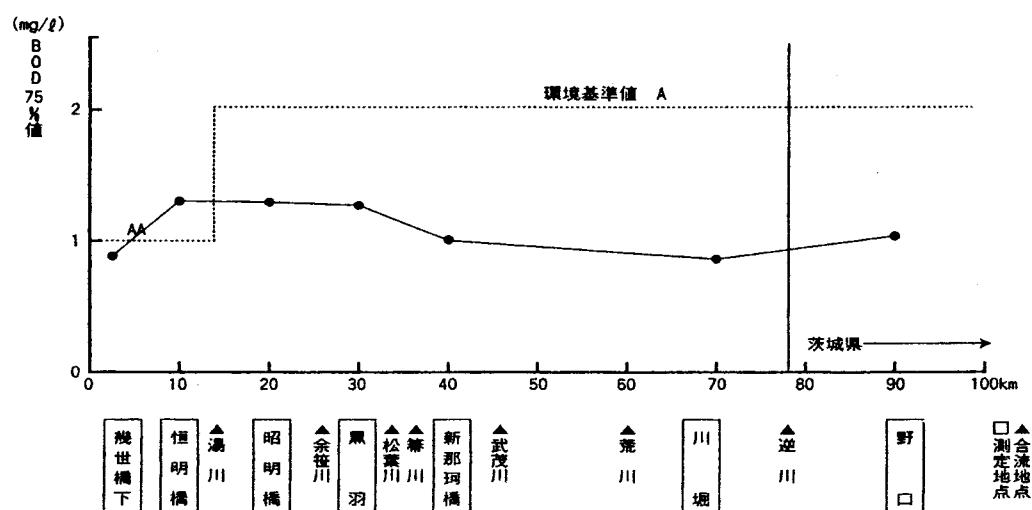
(注) 1. 環境基準地点において、BODの環境基準適合率75%以上の水域を環境基準達成とした。

2. 5年間平均値とは、7年度～11年度の75%値の平均値である。

3. 計算の()は前年度を示す。

那珂川本川の水質流程変化をBODを指標としてみると、全域ともほぼ良好な水質を維持している。(図2-2)

図2-2 那珂川の水質流程変化(BOD75%値)



(2) 鬼怒川・小貝川水系の水質

鬼怒川・小貝川水系に属する河川の20水域における環境基準類型指定状況は、上流域のAA類型から下流域のC類型までの4類型である。

環境基準達成状況をBODでみると、環境基準達成水域がC類型で1水域増加したが、A類型で1水域減って、達成率は前年度と同じ80%となっている。(表2-11)

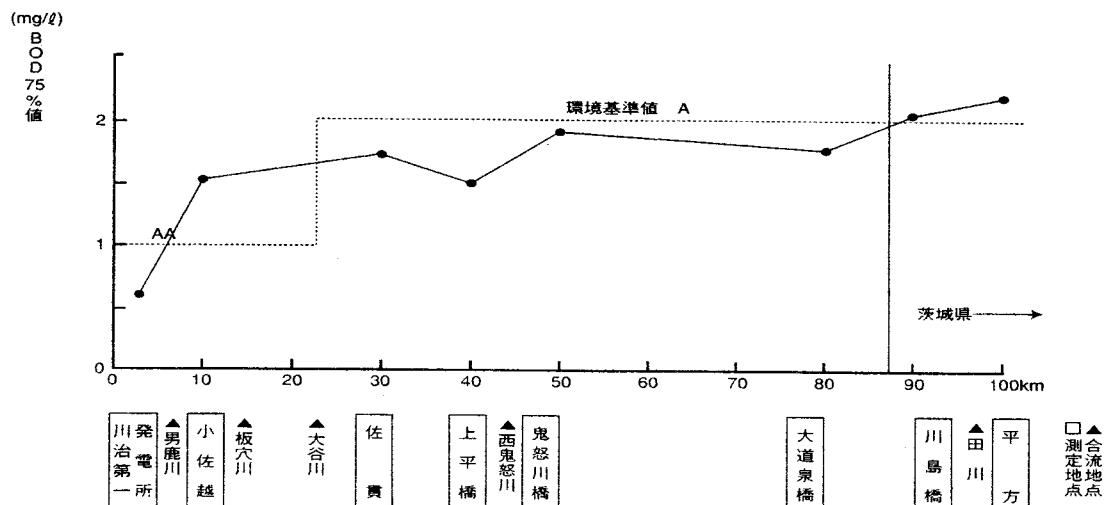
表2-11 鬼怒川・小貝川水系の環境基準達成状況

I 環境基準を達成した水域 II 環境基準を達成しない水域

類型	水域名	環境基準地点	適合率 (%)	75%値 (mg/l)	平均値 (mg/l)	5年間平均値 (mg/l)	類型	水域名	環境基準地点	適合率 (%)	75%値 (mg/l)	平均値 (mg/l)	5年間平均値 (mg/l)
AA	鬼怒川(1) 男鹿川	川治第一発電所前 末流	96 96	0.6 0.7	0.6 0.7	0.8 0.9							
A	板穴川 湯川 大谷川 西鬼怒川 江川下流 赤堀川 五行川 野元川	末流 末流 開進橋 西鬼怒川橋 末流 木和田島 桂橋 末流	92 100 100 92 83 100 75 79	1.3 1.5 1.2 1.5 1.9 1.4 1.9 1.7	1.1 1.2 1.0 1.4 1.6 1.2 1.6 1.4	0.9 1.2 0.9 1.0 2.3 1.4 2.0 1.4	A	鬼怒川(2) 川島橋 小貝川 三谷橋 田川上流 大曾橋	鬼怒川橋 川島橋 小貝川 三谷橋 田川上流 大曾橋	75 71 68 63	1.9 2.1 2.1 2.6	1.6 1.5 1.7 1.7	1.3 1.5 2.0 1.9
B	志賀瀬川 田川下流 行屋川	筋道橋 染橋 常盤橋	79 92 96	2.7 2.6 2.0	2.3 2.2 1.6	2.7 3.0 1.8	B						
C	江川上流 田川中流 釜川	高宮橋 明治橋 つくし橋	92 75 96	3.1 4.4 3.7	2.3 3.5 2.6	2.8 5.6 4.3	C	御用川	錦中央公園	67	5.1	4.3	11
計	水域数	16 (16)	構成比	80% (80%)			計	水域数	4 (4)	構成比	20% (20%)		

鬼怒川本川の水質流程変化をBODを指標としてみると、大道泉橋地点（二宮町）までは約1.8mg/lで推移しているが、川島橋地点（茨城県下館市）以降は上昇している。(図2-3)

図2-3 鬼怒川の水質流程変化 (BOD75%値)



(3) 渡良瀬川水系の水質

渡良瀬川水系に属する河川の29水域における環境基準類型指定状況は、上流域のAA類型から下流域のE類型までの6類型にわたっている。

環境基準達成状況をBODでみると、全域とも前年度と同じであり、達成率も前年度と同じ62%となっている。(表2-12)

表2-12 渡良瀬川水系の環境基準達成状況

I 環境基準を達成した水域

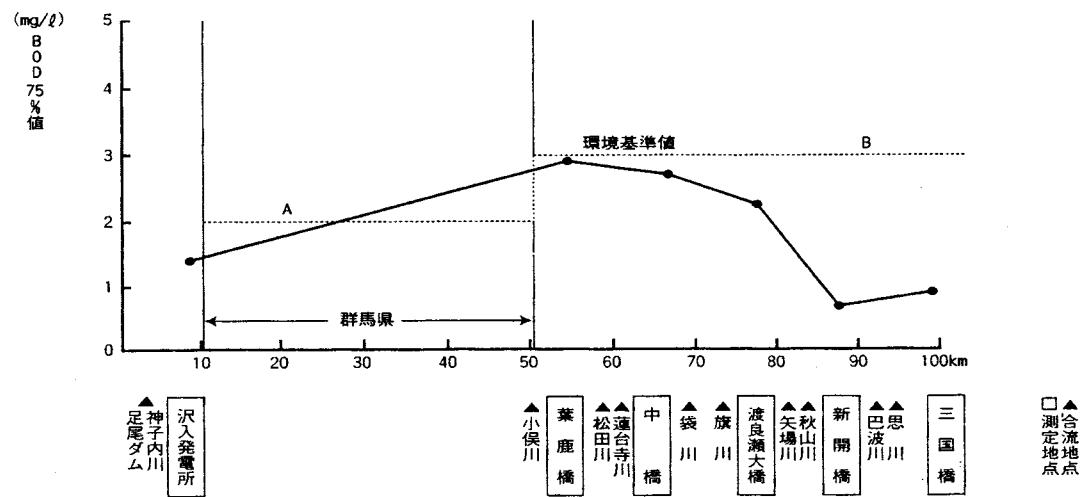
II 環境基準を達成しない水域

類型	水域名	環境基準地点	適合率 (%)	75%値 (mg/l)	平均値 (mg/l)	5年間 平均値 (mg/l)	類型	水域名	環境基準地点	適合率 (%)	75%値 (mg/l)	平均値 (mg/l)	5年間 平均値 (mg/l)
AA	大芦川	赤石橋	75	1.0	1.0	0.8	AA	大芦川	赤石橋	75	1.0	1.0	0.8
A	渡良瀬川上流	沢入発電所渡良瀬川取水場	92	1.4	1.0	1.1		小俣川上流	新上野田橋	46	4.5	4.3	5.4
	神子内川	末流	92	1.7	1.2	1.3		秋山川上流	小屋橋	100	1.1	0.8	0.9
	松田川上流	新松田川橋	92	1.6	1.4	1.5		堀米橋	71	2.6	1.9	2.0	
	旗川上流	高田橋	75	2.0	1.6	2.5							
	才川	末流	92	1.9	1.4	2.0							
	永野川上流	星野橋	96	1.2	1.0	1.1							
	思川上流	大岩橋	83	1.5	1.3	1.3							
	黒川	御成橋	96	1.4	1.0	1.0							
B	渡良瀬川(2)	葉鹿橋	82	2.9	2.2	2.1		小俣川下流	末流	54	4.1	3.2	4.2
	渡良瀬川(3)	渡良瀬大橋	89	2.5	1.8	2.7		松田川下流	末流	13	20.0	14.0	17.0
	渡良瀬川(4)	三国橋	96	1.1	1.1	2.7		袋川上流	助戸	58	4.2	3.0	4.4
	巴波川下流	巴波橋	100	0.9	1.0	2.3		旗川下流	末流	39	3.8	3.0	4.1
	永野川下流	落合橋	88	2.5	2.2	3.1		出流川	末流	63	3.6	2.8	4.9
	思川下流	乙女大橋	88	2.6	1.9	2.7		三杉川	末流	50	4.6	4.1	4.4
	姿川	宮前橋	92	2.4	1.9	2.5		西仁連川	武井橋	63	3.4	3.0	3.8
C							C	矢場川	矢場川水門	57	6.5	4.6	6.1
D	秋山川下流	末流	93	4.8	3.8	3.4	D						
E	袋川下流	袋川水門	92	7.2	5.9	6.1	E						
計	水域数 構成比						計	水域数 構成比					
	18 (18) 62% (62%)							11 (11) 38% (38%)					

(注) 1 環境基準地点(渡良瀬川上流は補助地点)において、BODの環境基準適合率75%以上の水域を環境基準達成とした。
2 5年間平均値とは、7年度~11年度の75%値の平均値である。
3 計数の()は前年度を示す。

渡良瀬川本川の水質流程変化をBODでみると、上流域では比較的良好な水質を示しているが、葉鹿橋（足利市）、中橋（足利市）付近では、やや高い値となっている。（図2-4）

図2-4 渡良瀬川の水質流程変化（BOD75%値）



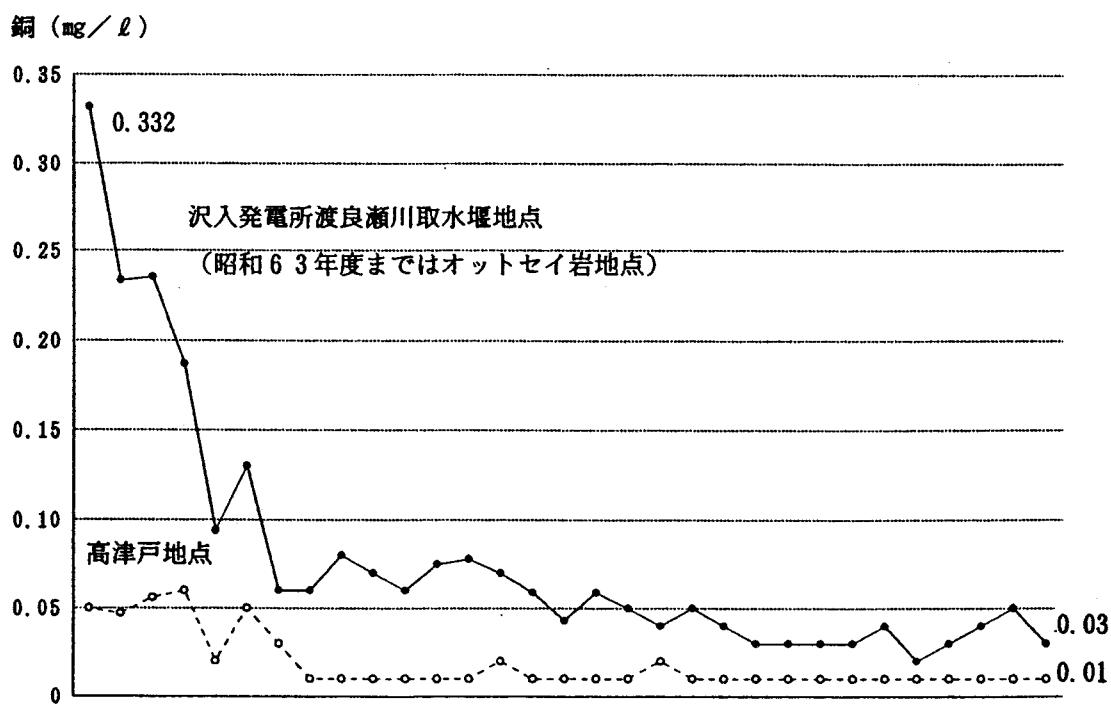
足尾銅山からの排出水については、「公共用水域の水質の保全に関する法律」により、かんがい期（5月11日から9月30日までの143日間）においては銅 $1.5\text{mg}/\ell$ の基準が適用されていた。これは、渡良瀬川の取水地点である群馬県高津戸において、銅のかんがい期平均濃度を $0.06\text{mg}/\ell$ にすることを目標としたものであった。

昭和48年6月からは、「水質汚濁防止法」に基づく「上乗せ排水基準」により、銅 $1.3\text{mg}/\ell$ 、公害防止協定締結（昭和51年7月、栃木県、群馬県、古河鉱業㈱）後は、協定値 $0.91\text{mg}/\ell$ が適用になっている。

本県では、足尾銅山下流域の沢入発電所取水堰地点（昭和63年度まではオットセイ岩地点）、群馬県では高津戸において、かんがい期を含む河川水質の常時監視を実施している。

かんがい期における銅の経年変化をみると、平水時は目標値以下の低い濃度で推移している。（図2-5）

図2-5 渡良瀬川のかんがい期平均値経年変化（銅）



(注) 昭和61年度から昭和63年度までのオットセイ岩地点の値は、計算値。

[4] 湖沼水質の概要

1 概 况

近年、活発な社会経済活動により、窒素、りん等の栄養塩類の流入が増加し、植物プランクトン等が大量に繁殖することにより、水質が悪化し、魚類のへい死や上水道における異臭味の発生等の障害が生じる富栄養化現象が、全国的に進行している。

本県においては、湯の湖の富栄養化が顕著であるため、底泥のしゅんせつ、下水道の整備、湯元下水処理場の改善等の対策を行っている。

11度の調査内訳は、表2-13のとおりであり、調査結果は表2-14に示すとおりである。

表2-13 湖沼水質調査内訳

湖沼名 内訳	測 定 地 点	測 定 回 数	測 定 機 関
中禅寺湖	4 地点	年 8 回	栃木県
湯の湖	7 地点	年 8 回	栃木県
塩原ダム貯水池	1 地点	年 4 回	栃木県
川俣湖	1 地点	年 12回	建設省
五十里湖	1 地点	年 12回	建設省
川治ダム貯水池	1 地点	年 12回	建設省

表2-14 湖沼水質の経年変化（湖心、表層（湯の湖のみCOD、SS、DOは全層））

地 点	調査項目	年 度					
		6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
中 禅 寺 湖	COD [75%値] (mg/l)	1.5	1.2	1.9	1.9	2.2	1.6
	S S (")	1	1	1	1	1	1
	D O (")	9.4	9.4	9.7	9.8	9.3	9.5
	大腸菌群数 (MPN/100ml)	5	0.6	3	4	100	4.3
	全 硝 素 (mg/l)	0.23	0.19	0.21	0.23	0.21	0.34
	全 り ん (")	0.005	0.004	0.005	0.007	0.008	0.007
	透 明 度 (m)	8.3	9.0	8.0	8.0	7.4	8.8
湯 の 湖	COD [75%値] (mg/l)	2.1	2.3	2.2	2.3	2.6	2.2
	S S (")	3	4	3	2	3	4
	D O (")	8.9	8.9	9.5	9.1	9.7	9.2
	大腸菌群数 (MPN/100ml)	67	280	140	380	170	200
	全 硝 素 (mg/l)	0.45	0.49	0.40	0.39	0.38	0.44
	全 り ん (")	0.020	0.024	0.018	0.018	0.022	0.022
	透 明 度 (m)	2.7	1.9	2.9	3.1	2.9	2.4
塩 原 ダ ム 貯 水 池	COD [75%値] (mg/l)	1.8	1.6	2.6	2.7	2.3	1.8
	S S (")	3	2	2	2	<1	2
	D O (")	9.1	11	8.9	8.5	8.8	9.4
	大腸菌群数 (MPN/100ml)	54	130	43	1700	2000	980
	全 硝 素 (mg/l)	0.59	0.46	0.50	0.49	0.44	0.42
	全 り ん (")	0.018	0.018	0.012	0.015	0.011	0.016
	透 明 度 (m)	2.2	3.0	2.8	2.8	4.5	3.5

地 点	調査項目	年 度					
		6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
川 俣 湖	COD [75%値] (mg/l)	2.0	1.6	2.1	2.1	2.0	1.8
	S S (")	2	1	2	1	2	1
	D O (")	8.5	9.0	8.8	9.3	9.3	9.4
	大腸菌群数 (MPN/100ml)	200	55	200	1500	100	300
	全 硝 素 (mg/l)	0.29	0.21	0.30	0.26	0.19	0.15
	全 り ん (")	0.013	0.027	0.008	0.005	0.007	0.006
	透 明 度 (m)	3.6	7.3	4.9	6.7	5.6	4.2
五 十 里 湖	COD [75%値] (mg/l)	2.1	1.9	2.3	2.0	2.6	2.0
	S S (")	4	2	1	1	3	8
	D O (")	9.6	10.0	9.7	9.7	9.9	9.7
	大腸菌群数 (MPN/100ml)	80	17	470	1200	1200	520
	全 硝 素 (mg/l)	0.40	0.45	0.43	0.45	0.26	0.41
	全 り ん (")	0.014	0.013	0.008	0.008	0.011	0.019
	透 明 度 (m)	3.3	2.8	3.5	3.9	3.6	2.0
川 治 ダ ム 貯 水 池	COD [75%値] (mg/l)	1.9	2.0	1.9	1.8	2.0	1.7
	S S (")	8	2	1	1	8	3
	D O (")	9.5	9.5	10	9.8	9.4	9.8
	大腸菌群数 (MPN/100ml)	33	150	50	48	64	83
	全 硝 素 (mg/l)	0.38	0.43	0.38	0.44	0.32	0.32
	全 り ん (")	0.013	0.010	0.007	0.005	0.021	0.021
	透 明 度 (m)	1.7	2.5	3.6	3.8	1.6	1.2

(1) 中禅寺湖の水質

中禅寺湖は、環境基準AA類型及びI類型（全りんのみ）に指定されている。

COD（表層75%値）は、 1.6mg/l （基準値 1mg/l ）であり、環境基準を達成していない。（表2-15）

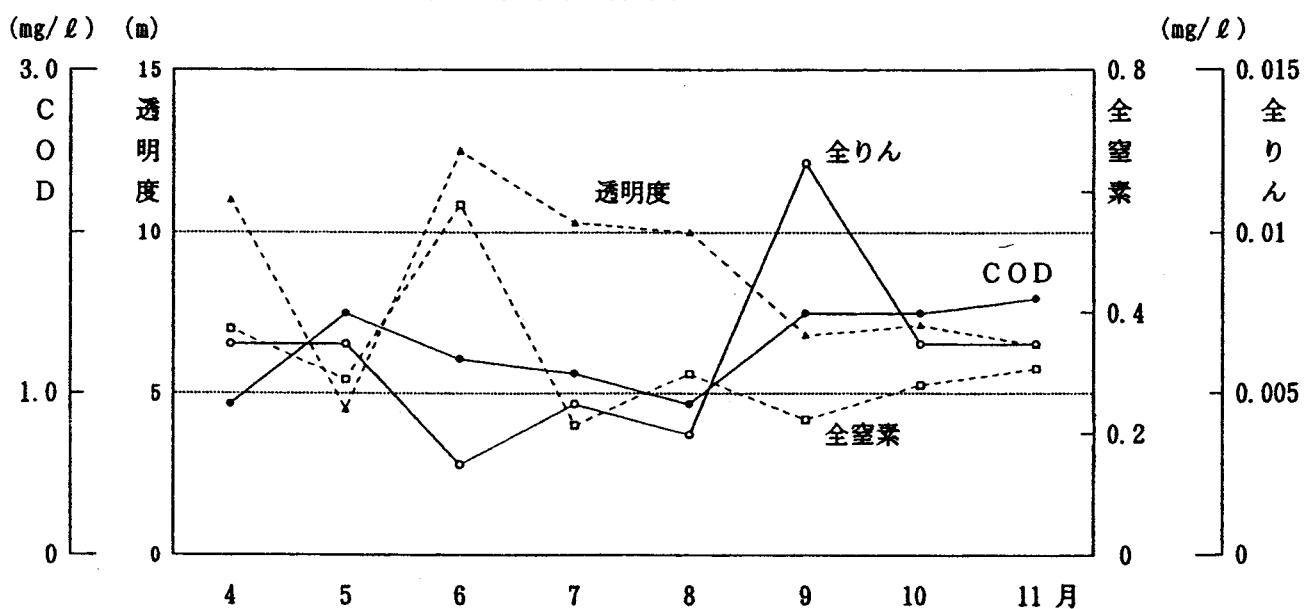
全りんは（表層値）は、 0.007mg/l （基準値 0.005mg/l ）であり、環境基準を達成していない。

中禅寺湖は、植物プランクトンの増殖などによる水道水の異臭味障害が発生する等、富栄養化の進行が懸念されている。

表2-15 中禅寺湖の水質（11年度）（湖心）

項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	平均
pH		7.7	8.2	8.1	7.9	8.2	8.6	8.6	8.3	8.2
水温（°C）		3.5	6.2	14.2	17.5	22.0	20.8	17.3	11.8	14.2
COD (mg/l) 表層値		1.0	1.6	1.3	1.2	1.0	1.6	1.6	1.7	1.4
適合状況		2 / 8	適合率	25 %		COD 75%値				1.6
COD (mg/l) 全層平均値		0.6	1.5	1.0	1.3	1.0	1.4	1.3	1.7	1.2
適合状況		3 / 8	適合率	38 %		COD 75%値				1.8
SS (mg/l)		< 1	1	< 1	< 1	< 1	1	< 1	< 1	1
DO (mg/l)		11	12	9.4	8.5	8.1	8.9	8.9	9.5	9.5
大腸菌群数 (MPN/100ml)		2.0	0	2.0	11	13	0	2.0	4.5	4.3
全窒素 (mg/l) 表層値		0.40	0.31	0.62	0.23	0.32	0.24	0.30	0.33	0.34
全層平均値		0.31	0.28	0.44	0.31	0.35	0.27	0.52	0.27	0.35
全りん (mg/l) 表層値		0.007	0.007	< 0.003	0.005	0.004	0.013	0.007	0.007	0.007
全層平均値		0.007	0.007	0.005	0.008	0.006	0.010	0.010	0.006	0.007
濁度 (μg/l) ^a		2.8	5.9	< 2.0	< 2.0	< 2.0	3.9	2.8	2.9	3.0
透明度 (m)		11.0	4.5	12.5	10.3	10.0	6.8	7.1	6.5	8.8

図2-6 中禅寺湖の水質（経月変化）



(2) 湯の湖の水質

湯の湖は、環境基準A類型及びⅢ類型に指定されている。

COD(全層75%値)は、 2.2 mg/l (基準値 3 mg/l)であり、環境基準を達成している。(表2-16)
全窒素(表層値)は、 0.44 mg/l (基準値 0.4 mg/l)であり、環境基準を達成していない。

全りん(表層値)については、 0.022 mg/l (基準値 0.03 mg/l)であり、環境基準を達成している。

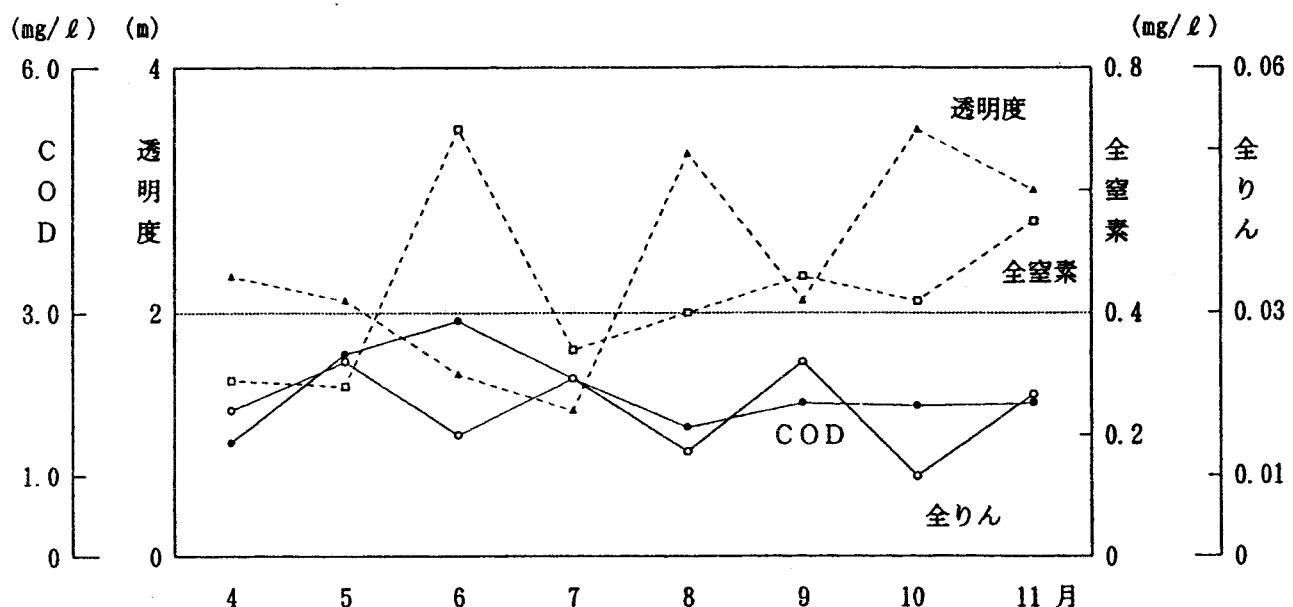
湯の湖の湖底に堆積している汚泥が、富栄養化に大きく関与しているため、4年度から底泥のしゅんせつ工事を実施し、8年度に終了した。

表2-16 湯の湖の水質(11年度)(湖心)

項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	平均
pH		8.2	7.6	7.8	7.0	7.2	7.1	7.1	7.4	7.4
水温(°C)		5.0	11.2	16.4	15.7	18.5	14.7	13.7	8.7	13.0
COD(mg/l) 表層値		1.5	2.5	4.1	2.3	1.2	2.3	1.7	1.8	2.1
適合状況		7 / 8	適合率%	88%			COD 75%値			2.3
COD(mg/l) 全層平均値		1.4	2.5	2.9	2.2	1.6	1.9	1.8	1.9	2.0
適合状況		8 / 8	適合率%	100%			COD 75%値			2.2
SS(mg/l)		3	3	5	8	3	3	2	3	4
DO(mg/l)		11	10	10	7.5	8.6	7.7	8.1	9.7	9.2
大腸菌群数 (MPN/100ml)		4.5	130	7.8	790	23	330	79	220	200
全窒素(mg/l) 表層値		0.29	0.28	0.70	0.34	0.40	0.46	0.42	0.55	0.44
全層平均値		0.30	0.31	0.68	0.38	0.48	0.51	0.61	0.48	0.47
全りん(mg/l) 表層値		0.018	0.024	0.015	0.022	0.013	0.024	0.010	0.020	0.022
全層平均値		0.020	0.021	0.011	0.017	0.016	0.030	0.023	0.020	0.020
透明度(μg/l) a		21	16	28	14	4.4	37	8.3	12	14
透明度(m)		2.3	2.1	1.5	1.2	3.3	2.1	3.5	3.0	2.4

(注) 各月のpH、SS、DO、は全層平均値、他は表層値である。

図2-7 湯の湖の水質(経月変化)



(3) 人工湖の水質

人工湖については、湖沼に係る環境基準の類型指定がされていないが、水質の状況を把握するため、「公共用水域の水質測定計画」に基づき、4貯水池について調査を実施している。

水質については、いずれのダム貯水池も透明度は低下したが、CODは低くなった。

川俣湖は、透明度は低下したが、COD、全窒素、全リンが前年度と比較し高くなつた。

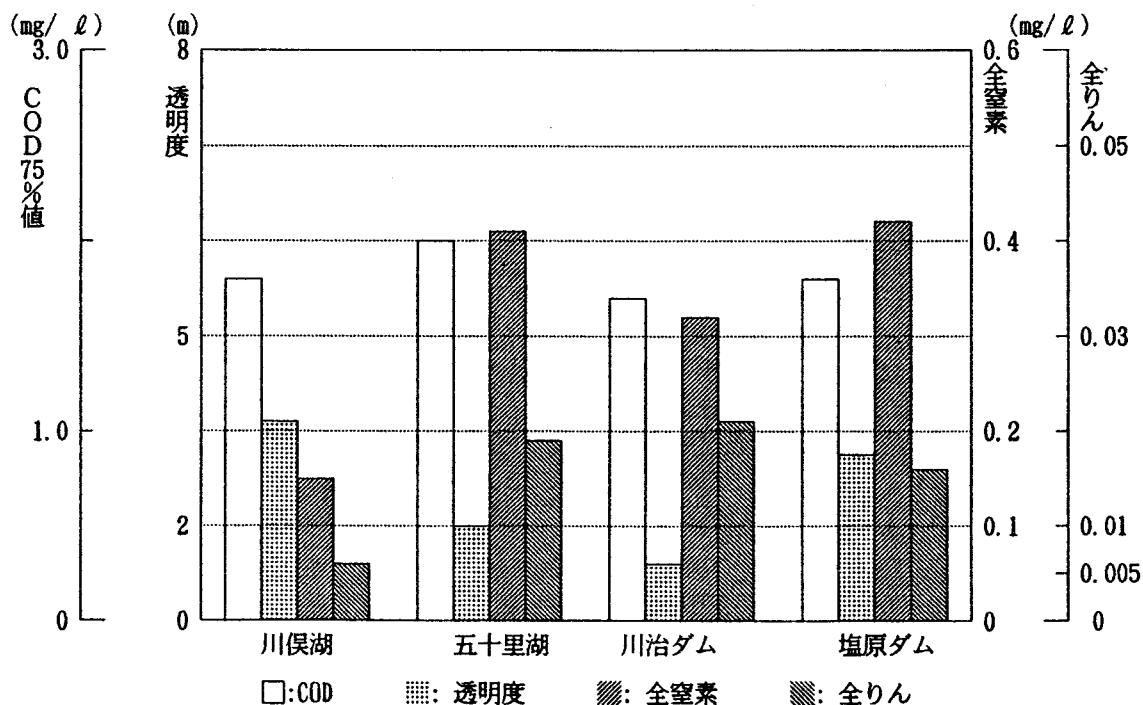
五十里湖は、透明度が低下し、全窒素、全リン、SSが高くなつたが、CODは低くなつた。

川治ダムと塩原ダムは、ほぼ横ばいであった。

2-17 人工湖の水質（湖心・表層）

湖 沼 名	川 俣 湖	五 十 里 湖	川 治 ダ ム 貯 水 池	塩 原 ダ ム 貯 水 池
調 査 日 数	12	12	12	4
C O D (mg/l)	75% 値	1.8	2.0	1.7
	平 均 値	1.6	1.7	1.6
B O D (mg/l)	75% 値	0.7	0.8	0.8
	平 均 値	0.6	0.7	0.8
p H	7.1	7.0	7.2	7.6
S S (mg/l)	1	8	3	2
D O (mg/l)	9.4	9.7	9.8	9.4
大腸菌群数 (MPN/100ml)	300	520	83	980
全 窒 素 (mg/l)	0.15	0.41	0.32	0.42
全 り ん (mg/l)	0.006	0.019	0.021	0.016
透 明 度 (m)	4.2	2.0	1.2	3.5

図 2-8 人工湖の水質



第3章 地下水の水質調査

第3章 地下水の水質調査

1 調査方法

調査は「平成11年度栃木県公共用水域及び地下水の水質測定計画」に基づき実施した。

1 調査期間及び回数

ア 概況調査

平成11年6月から7月の期間に1回。

イ 定期モニタリング調査

平成11年6月から7月の期間及び平成12年1月から2月までの期間に計2回。

2 調査地点及び調査担当機関

ア 概況調査

- ・調査地点は表3-2及び図3-1のとおり。
- ・調査担当機関は建設省、栃木県及び宇都宮市である。

測定機関	栃木県	建設省	宇都宮市	計
地点数	119	2	13	134

イ 定期モニタリング調査

- ・汚染範囲拡大監視のための調査を48地区108地点において実施した。（平成12年3月末現在）
- ・調査地区は表3-4、図3-2のとおりである。ただし、定期モニタリングの終了した地区も含む。
- ・調査担当機関は栃木県及び宇都宮市である。

測定機関	栃木県	宇都宮市	計
地区数	40	8	48
地点数	92	16	108

3 測定項目及び測定方法

測定項目、測定方法及び報告下限値は表3-1のとおりである。

2 調査結果の概要

1 概況調査

調査を実施した県内134地点のうち、1地点でカドミウムが環境基準を超過した。それ以外の調査地点では、環境基準を超過したところはなかった。

また、環境基準値以下であったが、21地点で健康項目が検出された。（表3-3）

2 定期モニタリング調査

23地区において環境基準以下となり（うち、13地区は2年以上継続して環境基準以下となった）、1地区において汚染範囲の拡大がみられた。（表3-5、3-6）

11年度は新たにトリクロロエチレン等の有機塩素系化合物による汚染を確認した。（表3-4）

表 3-1 測定項目、測定方法及び報告下限値

測 定 項 目	測 定 方 法	報 告 下 限 値
カ ド ミ ウ ム	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.001 (mg/ℓ)
全 シ ア ン	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.1 (mg/ℓ)
鉛	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.001 (mg/ℓ)
六 価 ク ロ ム	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.01 (mg/ℓ)
ひ 素	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.005 (mg/ℓ)
総 水 銀	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.0005 (mg/ℓ)
アルキル水銀	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.0005 (mg/ℓ)
P C B	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.0005 (mg/ℓ)
ジクロロメタン	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.002 (mg/ℓ)
四 塩 化 炭 素	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.0002 (mg/ℓ)
1, 2-ジクロロエタン	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.0004 (mg/ℓ)
1, 1-ジクロロエチレン	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.002 (mg/ℓ)
シス-1, 2-ジクロロエチレン	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.004 (mg/ℓ)
1, 1, 1-トリクロロエタン	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.0005 (mg/ℓ)
1, 1, 2-トリクロロエタン	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.0006 (mg/ℓ)
トリクロロエチレン	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.002 (mg/ℓ)
テトラクロロエチレン	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.0005 (mg/ℓ)
1, 3-ジクロロプロペン	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.0002 (mg/ℓ)
チ ウ ラ ム	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.0006 (mg/ℓ)
シ マ ジ ン	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.0003 (mg/ℓ)
チオベンカルブ	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.002 (mg/ℓ)
ベ ン ゼ ン	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.001 (mg/ℓ)
セ レ ン	地下水の水質汚濁に係る環境基準別表に掲げる方法	0.001 (mg/ℓ)

表3-2 概況調査地点一覧

その1

No.	市町村名	所 在 地	メッシュNo.	No.	市町村名	所 在 地	メッシュNo.
1	宇都宮市	下小池町地内	18- 46	2 6	鹿沼市	板荷地内	23- 60
2		古賀志町地内	24- 63	2 7		加園地内	29- 79
3		新里町丙地内	24- 64	2 8		西沢町地内	29- 80
4		宝木本町地内	24- 65	2 9		上殿町地内	30- 81
5		長岡町地内	25- 67	3 0		南上野町地内	30- 82
6		砥上町地内	30- 83	3 1		東小来川地内	17- 40
7		鷺の谷町地内	30- 84	3 2	今市市	小百地内	10- 24
8		梁瀬町地内	31- 85	3 3		今市地内	17- 41
9		屋板町地内	31- 86	3 4		長畠地内	17- 42
10		下平出町地内	31- 87	3 5		矢野口地内	18- 43
11		上桑島町地内	31- 88	3 6		猪倉地内	18- 44
12		茂原町地内	37-105	3 7		木和田島地内	18- 45
13		東木代町地内	37-107	3 8	小山市	卒島地内	43-133
14	足利市	小俣町地内	40-116	3 9		喜沢地内	43-134
15		大前町地内	40-127	4 0		高椅地内	44-135
16		家富町地内	40-128	4 1		石ノ上地内	48-143
17		福居町地内	45-138	4 2		駅南町地内	48-144
18		野田町地内	46-139	4 3		梁地内	48-145
19		羽刈町地内	45-146	4 4		乙女地内	48-151
20	栃木市	梅沢町地内	35- 98	4 5		武井地内	50-155
21		泉川町地内	42-121	4 6	真岡市	上大沼地内	37-108
22		大宮町地内	43-122	4 7		飯貝地内	38-109
23	佐野市	赤見町地内	41-129	4 8		荒町地内	38-110
24		植下町地内	46-140	4 9	大田原市	下石上地内	5- 15
25	鹿沼市	上久我地内	23- 59	5 0		加治屋地内	6- 17

■は健康項目A、B項目を調査するメッシュ

□は健康項目Aを調査するメッシュ

(注) 測定機関 { No. 1~13 宇都宮市
 No. 14~132 栃木県
 No. 133~134 建設省

No.	市町村名	所 在 地	メッシュNo.	No.	市町村名	所 在 地	メッシュNo.
5 1	大田原市	小滝地内	6- 18	7 6	益子町	塙地内	38-111
5 2		鹿畠地内	6- 19	7 7		本沼地内	38-112
5 3		佐久山地内	13- 31	7 8		下大羽地内	39-113
5 4	矢板市	上伊佐野地内	5- 12	7 9	茂木町	鮎田地内	33- 94
5 5		平野地内	5- 13	8 0		小貫地内	39-115
5 6		幸岡地内	12- 27	8 1	市貝町	続谷地内	27- 75
5 7		末広地内	12- 29	8 2		赤羽地内	32- 92
5 8		片岡地内	12- 30	8 3	芳賀町	上稻毛田地内	26- 73
5 9	黒磯市	小結地内	1- 1	8 4		東水沼地内	32- 89
6 0		上厚崎地内	3- 6	8 5		西高橋地内	32- 90
6 1		大原間地内	3- 7	8 6		祖母井地内	32- 91
6 2		越堀地内	3- 8	8 7	壬生町	七ツ石地内	36-101
6 3		野間地内	3- 9	8 8		北小林地内	36-103
6 4	上三川町	多功地内	37-106	8 9		藤井地内	36-104
6 5	南河内町	仁良川地内	44-124	9 0	国分寺町	川中子地内	43-123
6 6	上河内町	宮山田地内	19- 47	9 1	野木町	野渡地内	49-153
6 7		今里地内	19- 48	9 2		佐川野地内	50-154
6 8	河内町	上田原地内	25- 66	9 3	大平町	富田地内	42-132
6 9		白沢地内	25- 68	9 4	藤岡町	大田和地内	47-141
7 0		下岡本地内	25- 69	9 5		藤岡地内	47-149
7 1	西方町	真名子地内	35- 99	9 6		帶刀地内	47-150
7 2	二宮町	上谷貝地内	44-125	9 7	岩舟町	三谷地内	42-131
7 3		高田地内	38-126	9 8		静和地内	47-142
7 4		古山地内	44-136	9 9	都賀町	木地内	35-100
7 5	益子町	芦沼地内	33- 93	1 0 0		家中地内	36-102

■は健康項目A、B項目を調査するメッシュ

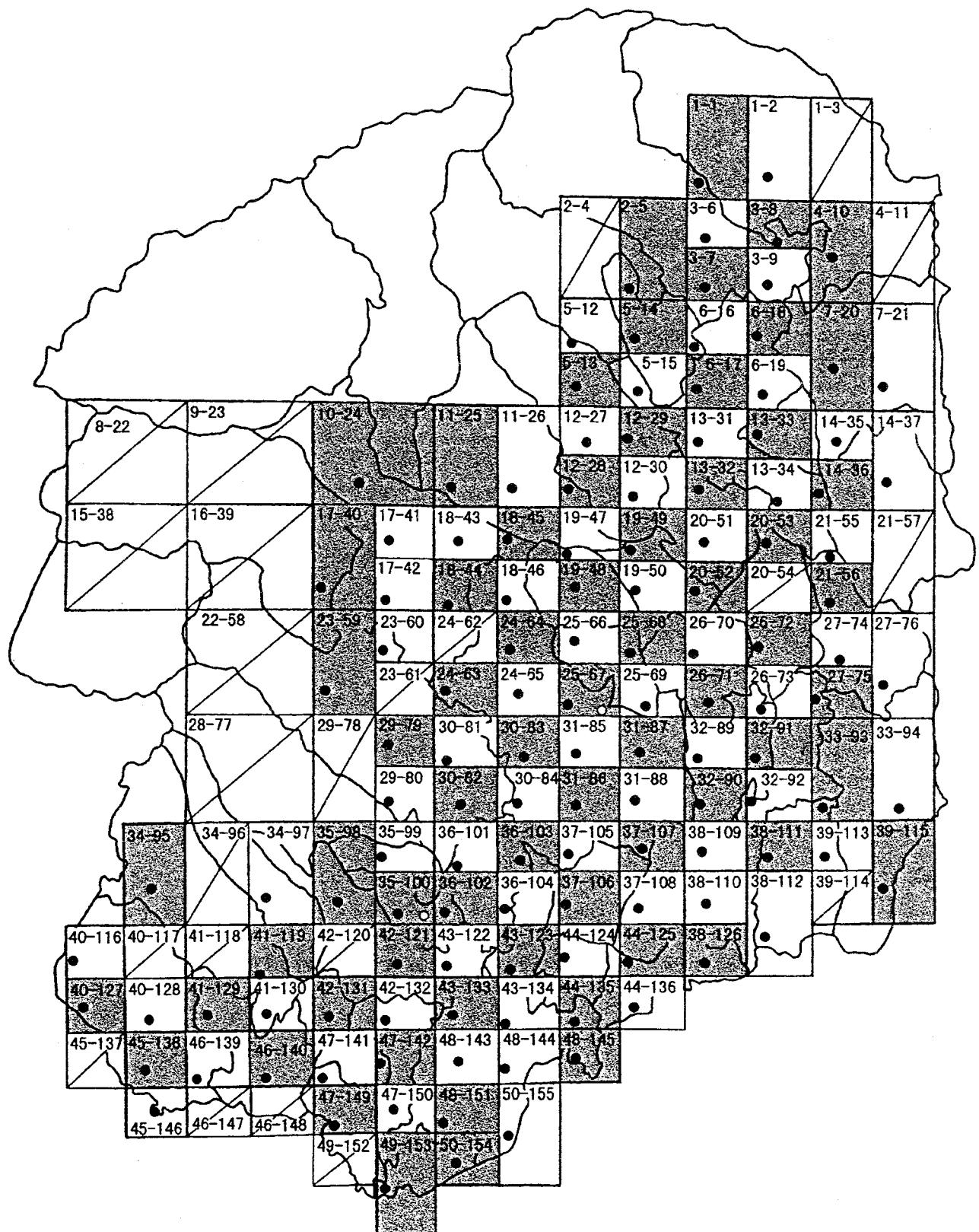
□は健康項目Aを調査するメッシュ

No.	市町村名	所 在 地	メッシュNo.	No.	市町村名	所 在 地	メッシュNo.
101	塩谷町	船生地内	11-25	126	西那須野町	千本松地内	2-5
102		飯岡地内	11-26	127		三区町地内	5-14
103		田所地内	12-28	128		石林地内	6-16
104	氏家町	浦須坂地内	19-49	129	田沼町	飛駒地内	34-95
105		大中地内	19-50	130		田沼地内	41-119
106		狭間田地内	20-52	131		新吉水地内	41-130
107	高根沢町	石末地内	26-70	132	葛生町	牧地内	34-97
108		上高根沢地内	26-71	133	宇都宮市	御幸ヶ原町地内	25-67
109	喜連川町	下河戸地内	13-32	134	都賀町	原宿地内	35-100
110		喜連川地内	20-51				
111	南那須町	志鳥地内	20-53				
112		福岡地内	26-72				
113	烏山町	大桶地内	21-55				
114		滝田地内	21-56				
115		野上地内	27-74				
116		小木須地内	27-76				
117	馬頭町	大山田下郷地内	14-37				
118	小川町	三輪地内	13-34				
119		小川地内	14-36				
120	湯津上村	片府田地内	13-33				
121	黒羽町	北野上地内	7-20				
122		須佐木地内	7-21				
123		亀久地内	14-35				
124	那須町	漆塚地内	1-2				
125		伊王野地内	4-10				

■は健康項目A、B項目を調査するメッシュ

□は健康項目Aを調査するメッシュ

図3-1 概況調査地点図



(注) 1 数字はメッシュNo.（大メッシュNo.一小メッシュNo.）を表す
 2 ●は栃木県及び宇都宮市の測定地点を示す
 3 ○は建設省の測定地点を示す（No. 25-67、No. 35-100）
 4 網掛けはA+B項目を調査するメッシュを示す
 5 白地はA項目を調査するメッシュを示す

表3-3 概況調査水質測定結果（検出地点一覧）

(単位: mg/l)

No.	市町村名	大字名	地点No.	メッシュNo.	カドミウム	鉛	砒素	M C	P C E
1	宇都宮市	下小池町	1	18- 46		0.003			
2	宇都宮市	古賀志町	2	24- 63		0.001			
3	宇都宮市	新里町丙	3	24- 64		0.001			
4	宇都宮市	宝木本町	4	24- 65		0.002			
5	宇都宮市	長岡町	5	25- 67		0.001			
6	宇都宮市	砥上町	6	30- 83		0.001			
7	宇都宮市	下平出町	10	31- 87			0.001		
8	宇都宮市	上桑島町	11	31- 88		0.001			
9	宇都宮市	東木代町	13	37-107		0.001	0.001		0.0005
10	足利市	家富町	16	40-128				0.0005	0.0005
11	足利市	野田町	18	46-139			0.001		
12	栃木市	大宮町	22	43-122	0.030	0.004			
13	今市市	今市	33	17- 41				0.0018	0.0007
14	小山市	卒島	38	43-133				0.0005	
15	小山市	駅南町	42	48-144		0.001			
16	大田原市	佐久山	53	13- 31			0.002		
17	黒磯市	野間	63	3- 9				0.0014	
18	茂木町	小貫	80	39-115		0.001			
19	塩谷町	田所	103	12- 28			0.001		
20	喜連川町	下河戸	109	13- 32		0.001			
21	烏山町	小木須	116	27- 76					0.0005
計					1	12	5	4	4
最大値					0.030	0.004	0.002	0.0018	0.007
基準値					0.01	0.01	0.01	1	0.01
報告下限値					0.001	0.001	0.001	0.0005	0.0005

(注) 1 M C : 1, 1, 1-トリクロエタン、P C E : テトラクロエチレン

2 空欄は、測定値が報告下限値以下である。

3 全シアン、六価クロム、総水銀、P C B、ジクロロメタン、四塩化炭素、1, 2-ジクロエタン、1, 1-ジクロエタン、ジ-1, 2ジクロエタン、1, 1, 2-トリクロエタン、トリクロエチレン、1, 3-ジクロロプロパン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレンは、全地点で報告下限値未満であり掲載を省略する。

4 調査地点は134地点である。

図3-2 定期モニタリング調査地点図

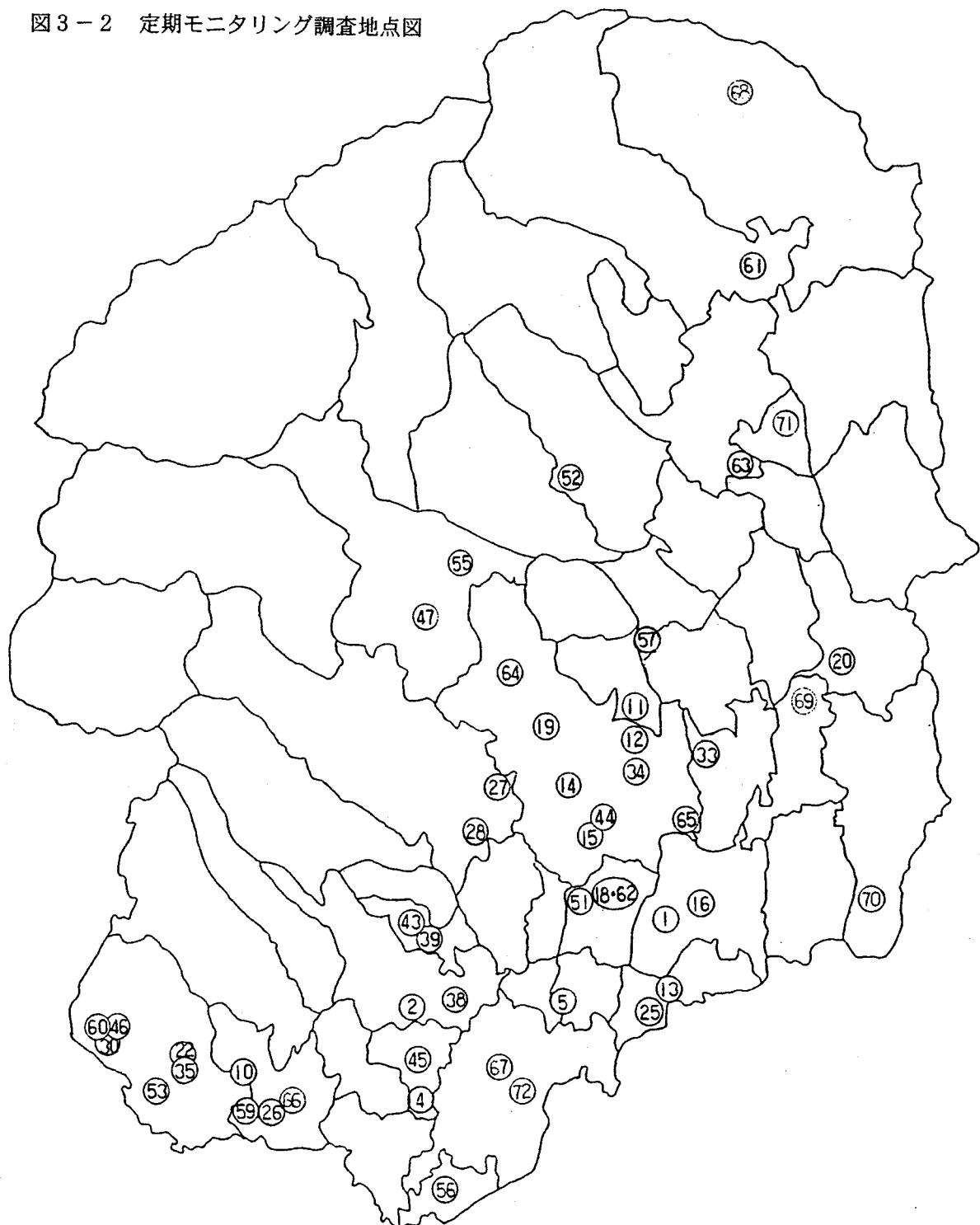


表3—4 調査地域及び地下水汚染の状況

その1

番号	汚染判 明年月	地 区 名	汚染物質と最高濃度 (mg/l)				
			TCE	PCE	MC	クロム	鉛
1	61. 2	真岡市 松山町	0.73	0.34			
2	61. 6	栃木市 平井町	0.73				
3	"	鹿沼市 さつき町	0.33				(平成7年度終了)
4	61. 7	大平町 伯仲 他	0.67				
5	"	国分寺町 柴		0.033			
6	"	西那須野町 西三島	0.091				(平成5年度終了)
7	61. 9	鹿沼市 府所本町		0.018			(平成5年度終了)
8	61.11	真岡市 鬼怒が丘	0.11				(平成7年度終了)
9	62. 3	矢板市 扇町	0.038				(平成5年度終了)
10	62. 5	足利市 稲岡		10			
11	62. 9	河内町 岡本		0.099			
12	"	宇都宮市 平出工業団地	1.6	0.05			
13	63. 1	二宮町 石島	0.30	0.26			
14	"	宇都宮市 江曽島町	0.035				
15	"	" 雀宮町	0.038				
16	"	真岡市 市街地	0.062	0.032			
17	"	石橋町 上古山	0.039				(平成5年度終了)
18	"	上三川町 上蒲生		0.13			
19	1. 1	宇都宮市 上戸祭		0.13			
20	1. 2	烏山町 上境		0.91	0.32		
21	1. 3	今市市 土沢	0.055	0.016			(平成7年度終了)
22	"	足利市 久松町	0.29	0.093			
23	"	" 今福町	0.076				(平成10年度終了)
24	1. 5	田沼町 下彦間		0.045			(平成5年度終了)
25	1.10	二宮町 久下田	0.94				
26	2. 2	佐野市 君田町		0.015			
27	2. 7	鹿沼市 白桑田	1.79	7.85			
28	2.12	" 南上野町		0.186			
29	3. 2	" 上石川		0.040			(平成8年度終了)
30	3. 3	足利市 鹿島町		0.148			
31	3. 7	野木町 丸林		0.011			(平成6年度終了)
32	3. 9	鹿沼市 下田町		0.024			(平成8年度終了)
33	3. 9	芳賀町 下高根沢		0.16			
34	"	宇都宮市 平出工業団地南部		1.6			

番号	汚染判 明年月	地 区 名	汚染物質と最高濃度 (mg/l)					
			TCE	PCE	MC	クロム	鉛	四塩化炭素
35	3.10	足利市 助戸				4.2	(平成9年度終了)	
36	"	宇都宮市 飯田町		0.050			(平成8年度終了)	
37	"	小山市 城東	0.032				(平成7年度終了)	
38	3.11	栃木市 城内		0.10				
39	4. 4	都賀町 木	2.2					
40	"	足利市 山下町			0.67		(平成7年度終了)	
41	"	足利市 寺岡町		0.179			(平成8年度終了)	
42	4. 5	佐野市 赤見			1.79		(平成8年度終了)	
43	4. 6	都賀町 大柿	1.79					
44	4. 7	宇都宮市 東横田	0.076					
45	"	大平町 西野田	2.79	0.054				
46	4.10	足利市 山下町	0.125					
47	5. 2	今市市 木和田島		0.14				
48	5. 6	足利市 月谷町		(平成8年度終了)			0.036	
49	"	足利市 梁田町		(平成8年度終了)			0.024	
50	"	佐野市 植下町		(平成8年度終了)			0.036	
51	6. 6	上三川町 鞘堂	0.044					
52	6.10	矢板市 倉掛		0.011				
53	"	足利市 八幡町		0.012			(平成9年度終了)	
54	"	南河内町 仁良川		(平成10年度終了)				0.0049
55	6.12	今市市 矢野口	0.331	0.071	0.690			
56	7. 1	野木町 丸林		0.525				
57	"	氏家町 上阿久津・勝山	0.035	0.079				
58	7. 2	高根沢町 宝積寺		0.011			(平成10年度終了)	
59	7. 7	佐野市 村上町		0.108				
60	7.10	足利市 山下町		0.0176			(平成11年度終了)	
61	8. 2	黒磯市 鍋掛		0.036				
62	"	上三川町 上蒲生	0.035					
63	"	大田原市 福原	0.072					
64	8. 5	宇都宮市 新里町	0.034	0.11	上記以外の3汚染物質 (備考4) (平成11年度終了)			
65	8. 6	宇都宮市 氷室町	0.54					
66	9. 3	佐野市 植野町		0.355				
67	9. 7	小山市 立木					0.039	

番号	汚染判 明年月	地 区 名	汚染物質と最高濃度 (mg/l)					
			TCE	PCE	MC	ジクロメタ ン	シス-1, 2-ジ クロロエ チレン	鉛
68	9. 7	那須町 高久丙					0.032	0.032
69	9. 7	市貝町 塩田						0.017
70	9. 7	茂木町 深沢				0.053		
71	9. 8	湯津上村 湯津上				0.059		
72	10. 9	小山市 城東・土塔・ 駅南・犬塚	0.33	0.18			0.17	
73	11. 2	小山市 福良	0.083					
74	11. 3	足利市 掘込						0.015

備考1 TCE : トリクロロエチレン、PCE : テトラクロロエチレン、MC : 1,1,1-トリクロロエタン

備考2 最高濃度は汚染判明時の調査による。

備考3 については、定期モニタリング調査を終了した地域である。

備考4 No.64 (宇都宮市新里町) の3物質は、ジクロメタン 26mg/l、1,2-ジクロロエタン 0.02mg/l、シス-1,2-ジクロロエチレン 0.044 mg/l である。

表3-5 定期モニタリング調査結果

その1 (単位: mg/l)

市町村	地区	井戸No	調査時期	測定結果				
				TCE	PCE	MIC	鉛	六価クロム
宇都宮市	平出工業団地	12-1	H11.6-7月	0.30	0.010			
			H12.1-2月	0.13	0.0098			
		12-2	H11.6-7月	<0.002	<0.0005			
			H12.1-2月	<0.002	0.0020			
	江曽島町	14-1	H11.6-7月	<0.002				
			H12.1-2月	<0.002				
		14-2	H11.6-7月	0.002				
			H12.1-2月	0.002				
雀宮町	雀宮町	15-1	H11.6-7月	0.016				
		15-2	H11.6-7月	<0.002				
		15-3	H12.1-2月	0.032				
		15-4	H12.1-2月	0.009				
		15-5	H12.1-2月	0.027				
		15-6	H12.1-2月	0.012				
上戸祭町	上戸祭町	19-1	H11.6-7月		0.18			
			H12.1-2月		0.19			
		19-2	H11.6-7月		0.0050			
			H12.1-2月		0.0048			
平出工業団地南部	平出工業団地南部	34-1	H11.6-7月		0.55			
			H12.1-2月		0.33			
		34-2	H11.6-7月		0.0025			
			H12.1-2月		0.0028			

(注) 1 は環境基準を超えたものである。

2 井戸No. ○-1は原則として汚染発覚時における周辺地区調査において当該物質が最高濃度を示した地点である。

ただし、真岡市市街地のNo. 16-1及びNo. 16-2、二宮町のNo. 13-1及びNo. 13-2は最高濃度を示した地点である。

3 井戸No. ○-2~6は原則として上記地点の下流側と考えられ、環境基準を超えた地点に近接する環境基準以下の地点である。

その2 (単位: mg/l)

市町村	地区	井戸 No	調査時期	測定結果				
				TCE	PCE	M C	鉛	六価クロム
宇都宮市	東横田町	44-1	H11.6-7月	0.084				
			H12.1-2月	0.084				
		44-2	H11.6-7月	0.007				
			H12.1-2月	0.016				
	地区	井戸 No	調査時期	TCE	PCE	ジクロロ メタン	1,2-ジクロロ エタン	ジス-1,2-ジ クロロエチレン
	新里町	64-1	H11.6-7月	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0004	<0.004
		64-2	H11.6-7月	<0.002	<0.0005	<0.002	<0.0004	<0.004
	地区	井戸 No	調査時期	TCE	PCE	M C	鉛	六価クロム
足利市	水室町	65-1	H11.6-7月	0.49				
			H12.1-2月	0.42				
		65-2	H11.6-7月	0.004				
			H12.1-2月	0.002				
		65-3	H12.1-2月	0.009				
		65-4	H12.1-2月	0.034				
		65-5	H12.1-2月	0.017				
		65-6	H12.1-2月	0.007				
	稲岡町	10-1	H11.6-7月		0.62			
			H12.1-2月		0.61			
		10-2	H11.6-7月		<0.0005			
			H12.1-2月		<0.0005			
久松町	22-1	H11.6-7月	<0.002	0.0037				
		H12.1-2月	<0.002	0.0048				
	22-2	H11.6-7月	<0.002	<0.0005				
		H12.1-2月	<0.002	0.0005				

その3 (単位: mg/l)

市町村	地区	井戸 No	調査時期	測定結果				
				TCE	PCE	M-C	鉛	六価クロム
足利市	鹿島町	30-1	H11.6-7月		0.0075	<0.0005		
			H12.1-2月		0.0023	<0.0005		
		30-2	H11.6-7月		0.0013	0.0016		
			H12.1-2月		0.0005	0.0029		
	山下町	46-1	H11.6-7月	0.010				
			H12.1-2月	0.010				
		46-2	H11.6-7月	<0.002				
			H12.1-2月	<0.002				
	山下町	60-1	H11.6-7月		0.0020			
			H12.1-2月		0.0007			
		60-2	H11.6-7月		0.0006			
			H12.1-2月		<0.0005			
栃木市	平井町	2-1	H11.6-7月	0.012				
			H12.1-2月	0.005				
		2-2	H11.6-7月	<0.002				
			H12.1-2月	<0.002				
	城内	38-1	H11.6-7月		0.0036			
			H12.1-2月		0.0094			
		38-2	H11.6-7月		0.0032			
			H12.1-2月		0.0032			
佐野市	君田町	26-1	H11.6-7月		0.0072			
			H12.1-2月		0.0053			
		26-2	H11.6-7月		<0.0005			
			H12.1-2月		<0.0005			

その4 (単位: mg/l)

市町村	地区	井戸 No	調査時期	測定結果				
				TCE	PCE	M-C	鉛	六価クロム
佐野市	村上町	59-1	H11.6-7月		0.048			
			H12.1-2月		0.039			
		59-2	H11.6-7月		<0.0005			
			H12.1-2月		<0.0005			
		59-3	H11.6-7月		<0.0005			
			H12.1-2月		<0.0005			
	植野町	66-1	H11.6-7月		0.030			
			H12.1-2月		0.026			
		66-2	H11.6-7月		0.0058			
			H12.1-2月		0.0043			
		66-3	H11.6-7月		0.0031			
			H12.1-2月		0.0029			
鹿沼市	白桑田	27-1	H11.6-7月	0.19	0.11			
			H12.1-2月	0.20	0.14			
		27-2	H11.6-7月	0.004	0.0017			
			H12.1-2月	0.002	0.0007			
	南上野町	28-1	H11.6-7月		0.028			
			H12.1-2月		0.044			
		28-2	H11.6-7月		0.0039			
			H12.1-2月		0.0009			
今市市	木和田島	47-1	H11.6-7月		0.064			
			H12.1-2月		0.017			
		47-2	H11.6-7月		0.001			
			H12.1-2月		<0.0005			

その5 (単位: mg/l)

市町村	地区	井戸 No	調査時期	測定結果				
				TCE	PCE	M C	鉛	六価クロム
今市市	矢野口	55-1	H11.6-7月	0.024	0.027	0.0096		
			H12.1-2月	0.032	0.039	0.074		
		55-2	H11.6-7月	<0.002	<0.0005	0.0017		
			H12.1-2月	0.004	0.0010	0.0054		
小山市	立木	67-1	H11.6-7月				<0.001	
			H12.1-2月				<0.001	
		67-2	H11.6-7月				<0.001	
			H12.1-2月				<0.001	
	地区	井戸 No	調査時期	TCE	PCE	M C	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン
	城東・ 土塔・ 駅南・ 犬塚	72-1	H11.6-7月	0.008	0.072			<0.004
			H12.1-2月	0.004	0.10			<0.004
		72-2	H11.6-7月	0.012	<0.0005			0.043
			H12.1-2月	<0.002	<0.0005			<0.004
		72-3	H11.6-7月	0.010	<0.0005			0.10
			H12.1-2月	0.18	<0.0005			0.075
		72-4	H11.6-7月	<0.002	<0.0005			<0.004
			H12.1-2月	<0.002	<0.0005			<0.004
		72-5	H11.6-7月	0.006	<0.0005			0.073
			H12.1-2月	0.004	<0.0005			0.049
		72-6	H11.6-7月	<0.002	<0.0005			<0.004
			H12.1-2月	<0.002	<0.0005			<0.004
		72-7	H11.6-7月	4.3	<0.0005			0.15
			H12.1-2月	4.1	0.0019			2.6
		72-8	H11.6-7月	0.013	<0.0005			<0.004
			H12.1-2月	0.006	<0.0005			<0.004
		72-9	H11.6-7月	<0.002	<0.0005			<0.004
			H12.1-2月	<0.002	<0.0005			<0.004

その6 (単位: mg/l)

市町村	地区	井戸 No.	調査時期	測定結果				
				TCE	PCE	M-C	鉛	六価 クム
小山市	福良	73-1	H10.6-7月	0.020				
			H11.1-2月	0.017				
		73-2	H10.6-7月	<0.002				
			H11.1-2月	<0.002				
真岡市	松山町	1-1	H11.6-7月	0.013	0.013			
			H12.1-2月	0.009	0.0084			
		1-2	H11.6-7月	0.003	<0.0005			
			H12.1-2月	<0.002	<0.0005			
	市街地	16-1	H11.6-7月	<0.002	0.0020			
			H12.1-2月	<0.002	0.0046			
		16-2	H11.6-7月	0.051	<0.0005			
			H12.1-2月	0.019	<0.0005			
		16-3	H11.6-7月	<0.002	<0.0005			
			H12.1-2月	<0.002	<0.0005			
		16-4	H11.6-7月	<0.002	<0.0005			
			H12.1-2月	<0.002	<0.0005			
大田原市	福原	63-1	H11.6-7月	0.22				
			H12.1-2月	0.12				
		63-2	H11.6-7月	0.015				
			H12.1-2月	0.012				
矢板市	倉掛	52-1	H11.6-7月		0.0071			
			H12.1-2月		0.0011			
		52-2	H11.6-7月		<0.0005			
			H12.1-2月		<0.0005			

その7 (単位: mg/l)

市町村	地区	井戸 No	調査時期	測定結果				
				TCE	PCE	M.C	鉛	六価クロム
黒磯市	鍋掛	61-1	H11.6-7月		0.0032			
			H12.1-2月		0.0038			
		61-2	H11.6-7月		<0.0005			
			H12.1-2月		<0.0005			
上三川町	上蒲生	18-1	H11.6-7月		0.014			
			H12.1-2月		0.0054			
		18-2	H11.6-7月		0.0005			
			H12.1-2月		<0.0005			
	鞘堂	51-1	H11.6-7月	0.022				
			H12.1-2月	0.011				
		51-2	H11.6-7月	0.004				
			H12.1-2月	0.002				
	上蒲生	62-1	H11.6-7月	0.017				
			H12.1-2月	0.012				
		62-2	H11.6-7月	0.008				
			H12.1-2月	0.005				
河内町	岡本	11-1	H11.6-7月		0.0073			
			H12.1-2月		0.0070			
		11-2	H11.6-7月		0.0005			
			H12.1-2月		0.0005			
		11-3	H11.6-7月		0.0062			
			H12.1-2月		0.0045			

その8 (単位: mg/l)

市町村	地区	井戸 No	調査時期	測定結果				
				TCE	PCE	M C	鉛	ジクロロベン
二宮町	石島	13-1	H11.6-7月	0.15	<0.0005			
			H12.1-2月	0.69	<0.0005			
		13-2	H11.6-7月	<0.002	0.0070			
			H12.1-2月	<0.002	0.0040			
		13-3	H11.6-7月	<0.002	<0.0005			
			H12.1-2月	<0.002	<0.0005			
		25-1	H11.6-7月	0.19				
			H12.1-2月	0.13				
		25-2	H11.6-7月	<0.003				
			H12.1-2月	<0.002				
茂木町	深沢	70-1	H11.6-7月					<0.002
			H12.1-2月					<0.002
		70-2	H11.6-7月					<0.002
			H12.1-2月					<0.002
市貝町	塩田	69-1	H11.6-7月				<0.001	
			H12.1-2月				<0.001	
		69-2	H11.6-7月				<0.001	
			H12.1-2月				<0.001	
		69-2	H11.6-7月				<0.001	
			H12.1-2月				<0.001	
芳賀町	下高根沢	33-1	H11.6-7月		0.16			
			H12.1-2月		0.10			
		33-2	H11.6-7月		0.0016			
			H12.1-2月		0.0012			

その9 (単位: mg/l)

市町村	地区	井戸 No	調査時期	測定結果				
				TCE	PCE	M C	鉛	ジクロロメタン
国分寺町	柴	5-1	H11.6-7月		0.0061			
			H12.1-2月		0.0052			
		5-2	H11.6-7月		<0.0005			
			H12.1-2月		0.0011			
		5-3	H11.6-7月		0.0012			
			H12.1-2月		0.0013			
野木町	丸林	56-1	H11.6-7月		0.64			
			H12.1-2月		1.0			
		56-2	H11.6-7月		0.0007			
			H12.1-2月		0.0007			
		56-3	H11.6-7月		0.0008			
			H12.1-2月		0.0005			
大平町	伯仲	4-1	H11.6-7月	0.21				
			H12.1-2月	0.13				
		4-2	H11.6-7月	0.015				
			H12.1-2月	0.020				
	西野田	45-1	H11.6-7月	1.4	0.028			
			H12.1-2月	2.1	0.046			
		45-2	H11.6-7月	<0.002	<0.0005			
			H12.1-2月	<0.002	<0.0005			
都賀町	木	39-1	H11.6-7月	0.033				
			H12.1-2月	0.61				
		39-2	H11.6-7月	0.013				
			H12.1-2月	0.011				

その10(単位:mg/l)

市町村	地区	井戸 No	調査時期	測定結果				
				TCE	PCE	M-C	鉛	ジクロロメタン
都賀町	大柿	43-1	H11.6-7月	0.027				
			H12.1-2月	0.025				
		43-2	H11.6-7月	0.002				
			H12.1-2月	<0.002				
氏家町	上阿久津・勝山	57-1	H11.6-7月	0.016	0.0039			
			H12.1-2月	0.006	0.0022			
		57-2	H11.6-7月	0.002	0.0009			
			H12.1-2月	<0.002	<0.0005			
鳥山町	上境	20-1	H11.6-7月		0.025	<0.0005		
			H12.1-2月		0.028	0.0007		
		20-2	H11.6-7月		0.0011	<0.0005		
			H12.1-2月		<0.0005	<0.0005		
湯津上村	湯津上	71-1	H11.6-7月					<0.002
			H12.1-2月					<0.002
		71-2	H11.6-7月					<0.002
			H12.1-2月					<0.002
那須町	高久丙	68-1	H11.6-7月				0.002	
			H12.1-2月				<0.005	
		68-2	H11.6-7月				<0.005	
			H12.1-2月				<0.005	

表3-6 定期モニタリング調査結果

1 環境基準以下となった地域

No	市町村名	地区名	地点No
1	○ 宇都宮市	江曽島町	14
2	○ "	新里町※	15
3	足利市	久松町	22
4	○ "	鹿島町	30
5	"	山下町(TCE)	46
6	○ "	山下町(PCE)※	60
7	○ 栃木市	平井町	2
8	"	城内	38
9	佐野市	君田町	26
10	○ 小山市	立木	67
11	"	福良	73
12	矢板市	倉掛	52
13	○ 黒磯市	鍋掛	61
14	上三川町	鞘堂	51
15	○ "	上蒲生	62
16	河内町	岡本	11
17	○ 茂木町	深沢	70
18	○ 市貝町	塩田	69
19	国分寺町	柴	5
20	都賀町	大柿	43
21	○ 氏家町	上阿久津・勝山	57
22	○ 湯津上村	湯津上	71
23	○ 那須町	高久丙	68

(注) 1 ○: 昨年度から継続して環境基準以下となった地域

2 ※: 周辺地区再調査を実施した結果、汚染がなかったため、定期モニタリング調査を終了する地域

2 汚染範囲の拡大がみられた地域

No	市町村名	地域名	地点No
1	真岡市	市街地	16

第4章 プランクトンの調査

中禅寺湖・湯の湖プランクトン調査

1 調査方法	386
(1) 調査月日	386
(2) 調査地点及び採取方法	386
(3) 計数方法	386
2 調査結果	389
(1) 植物プランクトン	389
(2) 動物プランクトン	401

1. 調査方法

(1) 調査月日

調査月日を表4-1に示す。

表4-1 調査月日

中禅寺湖	湯の湖
平成11年 4月15日	平成11年 4月15日
5月11日	5月11日
6月15日	6月15日
7月12日	7月12日
8月10日	8月10日
9月 7日	9月 7日
10月13日	10月13日
11月 9日	11月 9日

(2) 調査地点及び採取方法

中禅寺湖における調査地点を図4-1、湯の湖における調査地点を図4-2に示す。

ア 植物プランクトン

中禅寺湖では水深5mの湖水を、湯の湖では表層水を1㎖採取した。

イ 動物プランクトン

開口部面積0.04m²、網目NX13の北原式定量閉鎖プランクトンネットを用いて、表4-2のとおり中禅寺湖では両地点とも水深30mから表層まで、湯の湖ではY-3が水深8mから表層まで、湖心のY-5が水深10mから表層までの垂直曳きをして採取した。

(3) 計数方法

ア 植物プランクトン

試料は、酢酸ルゴール液5㎖を加えて固定し、自然沈殿法により試料を10㎖に濃縮し、次に、これらの試料から一定量を分取して検鏡し、同定及び計数した。検鏡結果は、湖水1㎖当たりの細胞数（細胞/㎖）として表わした。

イ 動物プランクトン

試料は、ホルマリン液で固定し、自然沈殿法により試料を最終的に10~100㎖に濃縮した。次にこれらの試料から一定量を分取し、顕微鏡（4×10倍及び10×10倍）を用いて、動物プランクトンの同定及び計数をした。

検鏡結果は湖水1㎖当たりの個体数（個体/㎖）として表わした。

図 4-1 中禅寺湖調査地点図

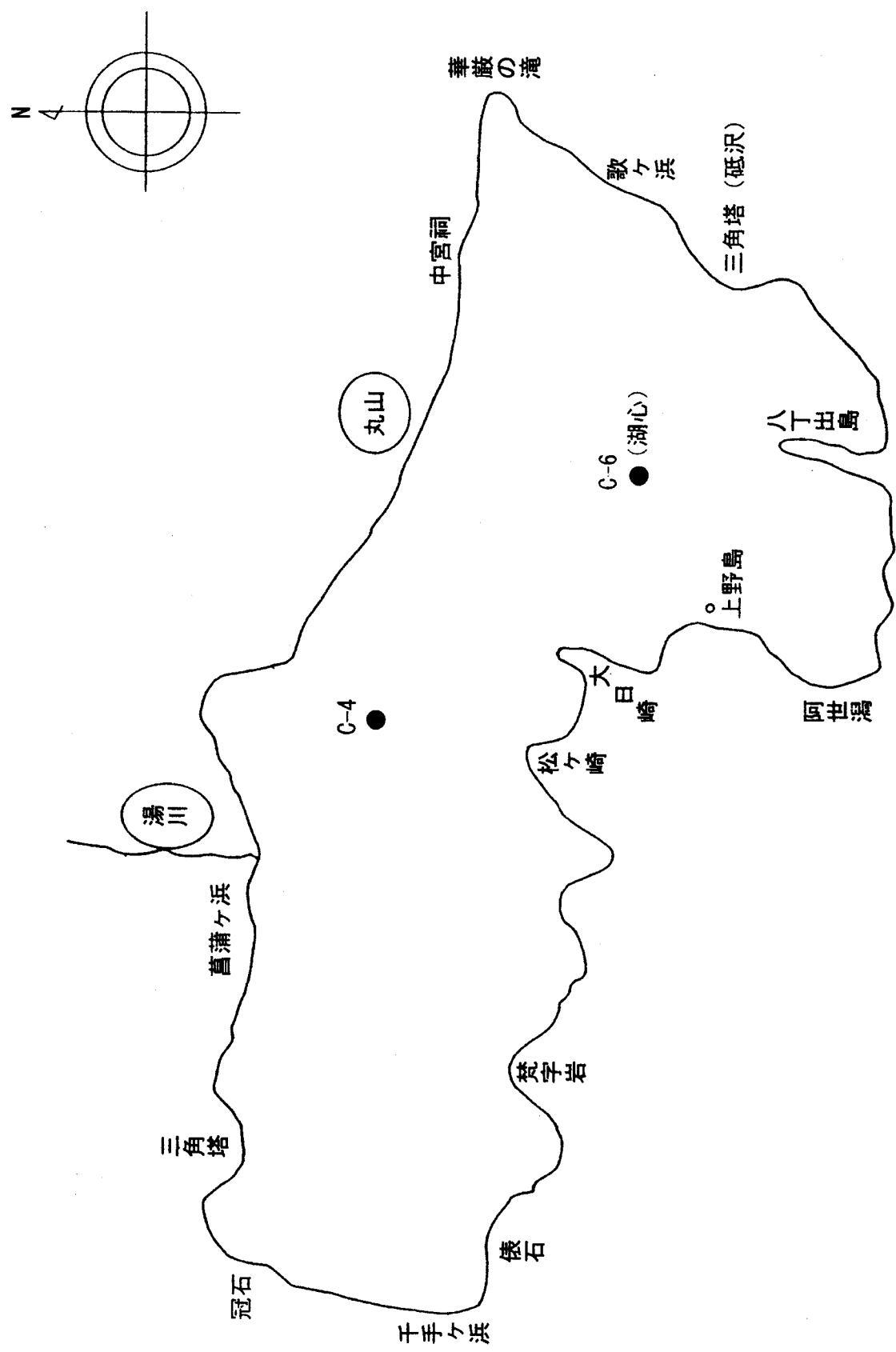


図4-2 湯の湖調査地点図

表4-2 動物プランクトン垂直びき距離

月	湖沼	中禅寺湖	湯の湖	
	地點	C-4及びC-6	Y-3	Y-5
4月		30m	8m	10m
5月		30m	8m	10m
6月		30m	8m	10m
7月		30m	8m	10m
8月		30m	8m	10m
9月		30m	8m	10m
10月		30m	8m	10m
11月		30m	8m	10m

2. 調査結果

(1) 植物プランクトン

ア 中禪寺湖

中禪寺湖における植物プランクトン種類数の経月変化を図4-3に示す。年間を通してC-4, C-6共に7~17種類であった。また、C-4では最大が8月及び9月、最小が6月であり、C-6では最大が8月、9月及び10月、最小が6月であった。

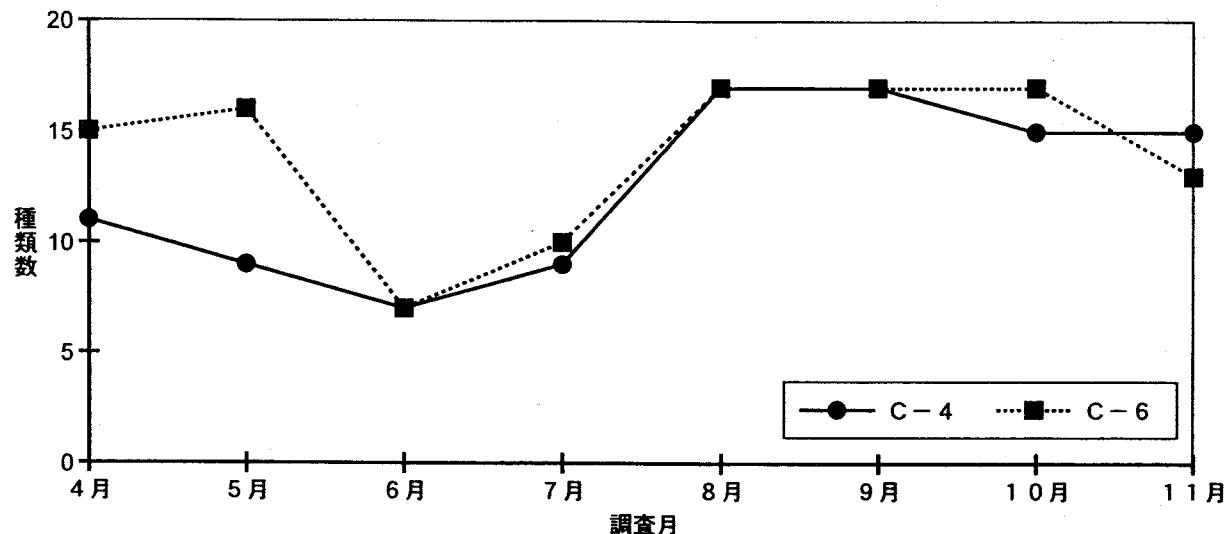


図4-3 中禪寺湖における植物プランクトン種類数の経月変化

植物プランクトンを珪藻類、緑藻類、その他の藻類に大別し、植物プランクトン構成の経月変化を見ると、図4-4のとおり、珪藻類はC-4では4月、5月及び9月、C-6では4月及び、5月に比較的種類数が多くかった。また、緑藻類は4~7月までは両地点とも各月0~3種であったが、8~11月に比較的種類数が多くなった。

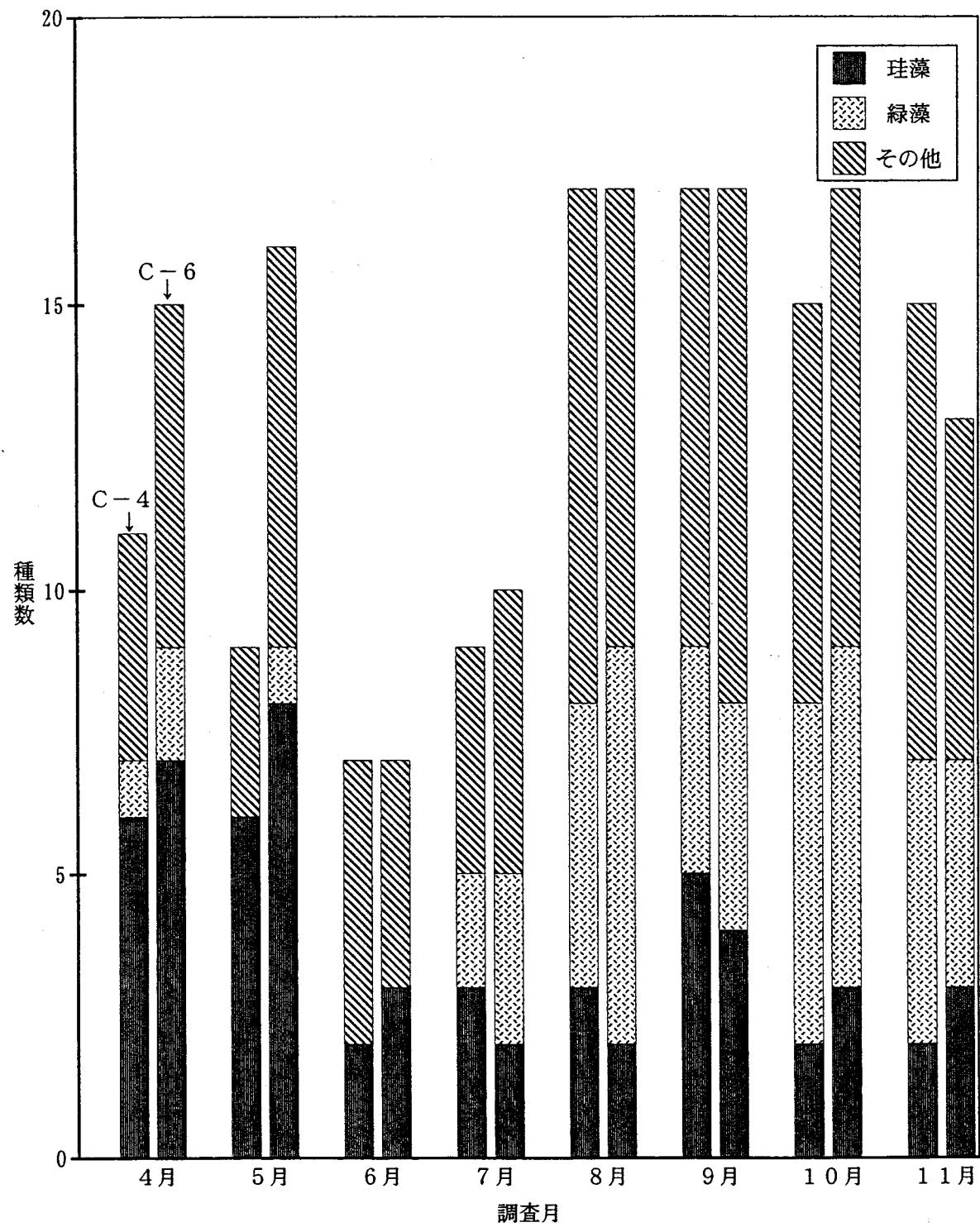


図4-4 中禅寺湖における植物プランクトン構成の経月変化

中禅寺湖における植物プランクトン細胞数の経月変化を図4-5に示す。

C-4では7月の細胞数が最も少なく(288細胞/ml)、5月の細胞数が最も多い(5,337細胞/ml)。またC-6は6月の細胞数が最も少なく(371細胞/ml)、9月の細胞数が最も多く(3,303細胞/ml)。

C-4の5月の細胞数が増加したのは、黄色鞭毛藻類のOchromonadaceaeが大量に確認された(2,600細胞/ml)ためである。

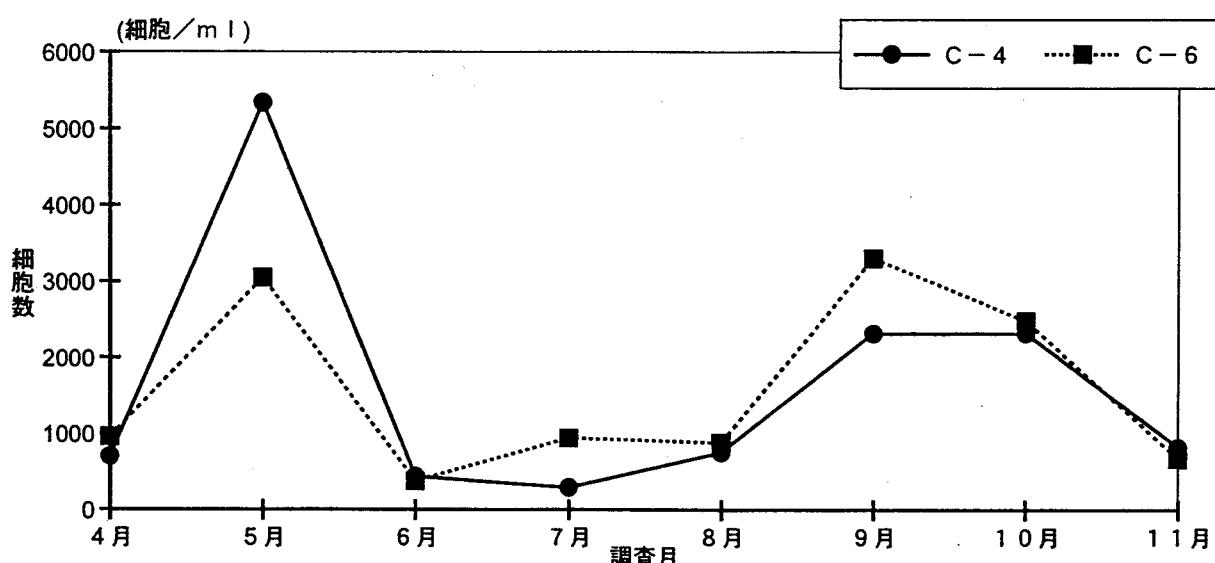


図4-5 中禅寺湖における植物プランクトン細胞数の経月変化

植物プランクトンを珪藻類、緑藻類、その他の藻類に大別し、植物プランクトン細胞数及び構成の経月変化を図4-6に示す。

両地点とも珪藻類は4月、その他の藻類は10月に全細胞数に占める割合が最も高くなかった。緑藻類はC-6で7月に全細胞数に占める割合が最も高くなかった。しかし、C-4では11月に全細胞数に占める割合が最も高くなつたが、極めて高くなることはなかった。

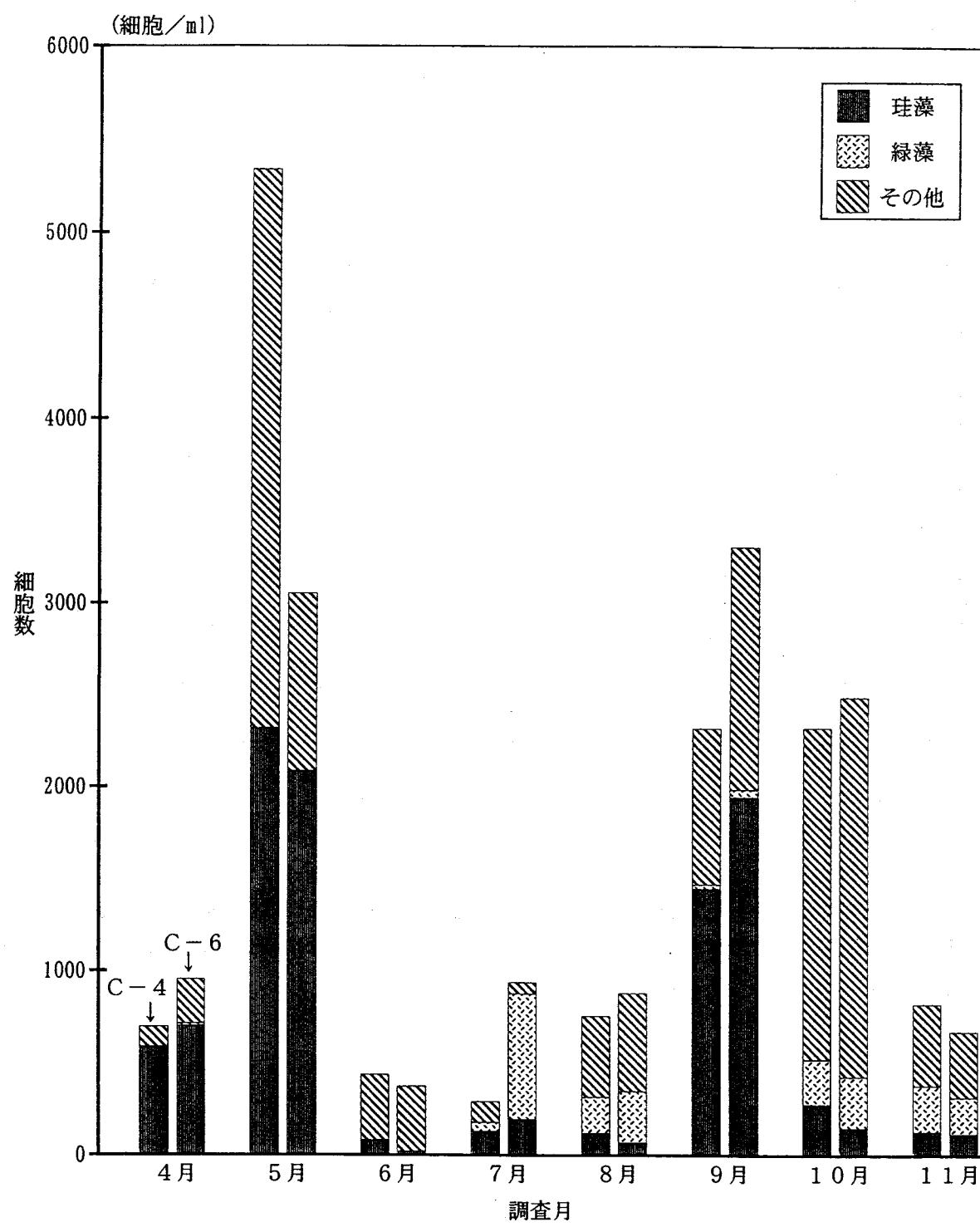


図4-6 中禅寺湖における植物プランクトン細胞数及び構成の経月変化

中禅寺湖における植物プランクトンの優占種及び優占種細胞数が全細胞数に占める割合(以下、優占率といふ)を表4-3に示す。

C-4では4月は珪藻類の *Cyclostephanos dubius*、5月は黄色鞭毛藻類の *Ochromonadaceae* の優占率が高く、6月は黄色鞭毛藻類の *Uroglena americana*、7月は珪藻類の *Asterionella gracillima* が優占した。C-6では4月・5月は珪藻類の *Aulacoseira longispina* の優占率が高く、6月は黄色鞭毛藻類の *Ochromonadaceae*、7月は緑藻類の *Sphaerocystis schroeteri* が優占した。8月~11月については両地点とも優占種はほぼ同じような傾向がみられた。8月・11月は黄色鞭毛藻類の *Uroglena americana*、9月は珪藻類の *Fragilaria crotonensis*、10月は黄色鞭毛藻類の *Ochromonadaceae* が優占種となった。

なお、*Cyclostephanos dubius* は、昨年までの *Stephanodiscus dubius* の属名が変更になったものである。

表4-3 中禅寺湖における植物プランクトンの優占種及び優占率

調査日	C-4	優占率 (%)	C-6	優占率 (%)
4/15	<i>Cyclostephanos dubius</i> <i>Aulacoseira longispina</i> <i>Asterionella gracillima</i>	33.1 28.8 15.8	<i>Aulacoseira longispina</i> <i>Cyclostephanos dubius</i> <i>Ochromonadaceae</i>	24.1 16.8 14.7
5/11	<i>Ochromonadaceae</i> <i>Aulacoseira longispina</i> <i>Cyclostephanos dubius</i>	48.7 18.7 18.7	<i>Aulacoseira longispina</i> <i>Cyclostephanos dubius</i> <i>Ochromonadaceae</i>	32.8 24.6 23.0
6/15	<i>Uroglena americana</i> <i>Ochromonadaceae</i>	48.3 25.3	<i>Ochromonadaceae</i> <i>Uroglena americana</i>	40.4 37.7
7/12	<i>Asterionella gracillima</i> <i>Ellipsoidon sp.</i> (cf. <i>oocystoides</i>)	41.7 28.1	<i>Sphaerocystis schroeteri</i> <i>Asterionella gracillima</i>	68.4 20.3
8/10	<i>Uroglena americana</i> <i>Ochromonadaceae</i> <i>Ochromonas sp.</i>	18.6 15.9 13.3	<i>Uroglena americana</i> <i>Ochromonadaceae</i>	25.1 20.5
9/7	<i>Fragilaria crotonensis</i> <i>Ochromonadaceae</i>	51.8 25.0	<i>Fragilaria crotonensis</i> <i>Ochromonadaceae</i>	51.5 25.1
10/13	<i>Ochromonadaceae</i> <i>Uroglena americana</i>	51.7 17.7	<i>Ochromonadaceae</i>	56.3
11/9	<i>Uroglena americana</i> <i>Chlorococcum sp.</i>	26.9 23.2	<i>Uroglena americana</i> <i>Chlorococcum sp.</i>	26.9 23.9

本年度及び過去4年間の優占種を表4-4に示す。

各年度における優占種をみると、平成7年度は5種類、平成8年度が4種類、平成9年度は4種類、平成10年度は6種類であったが、本年度は7種類であった。これら7種類のうち、4月に優占種となった珪藻類の *Cyclostephanos dubius* は過去4年間においても4月及び5月に優占種となっている（昨年度以前に出現在の *Stephanodiscus dubius* の属名が変更になったもの）。また珪藻類の *Fragilaria crotensis* は本年度、平成7年度～平成9年度どおり8月以降に優占種となった。なお、平成10年度は7月に優占種であった。

表4-4 中禅寺湖における植物プランクトン優占種

	4	5	6	7	8	9	10	11
平成11年	<i>Cyclostephanos dubius</i> <i>Aulacoseira longispina</i>	Ochromonadaceae <i>Aulacoseira longispina</i>	<i>Uroglena americana</i> Ochromonadaceae	<i>Asterionella gracillima</i> <i>Sphaerocystis schroeteri</i>	<i>Uroglena americana</i>	<i>Fragilaria crotensis</i>	Ochromonadaceae	<i>Uroglena americana</i>
平成10年	<i>Stephanodiscus dubius</i>	Ochromonadaceae	<i>Chroomonas acuta</i>	<i>Fragilaria crotensis</i>	<i>Sphaerocystis schroeteri</i>	<i>Chroomonas acuta</i>	<i>Asterionella gracillima</i>	<i>Asterionella gracillima</i>
平成9年	<i>Stephanodiscus dubius</i> <i>Uroglena americana</i>	<i>Stephanodiscus dubius</i> <i>Uroglena americana</i>	<i>Uroglena americana</i>	<i>Uroglena americana</i>	<i>Fragilaria crotensis</i>	<i>Uroglena americana</i> <i>Fragilaria crotensis</i>	<i>Fragilaria crotensis</i>	<i>Nephrocystium agardhianum</i>
平成8年	<i>Stephanodiscus sp.</i>	<i>Stephanodiscus sp.</i>	<i>Synedra acus</i>	<i>Uroglena americana</i>	<i>Fragilaria crotensis</i>	<i>Fragilaria crotensis</i>	<i>Fragilaria crotensis</i>	<i>Fragilaria crotensis</i>
平成7年	<i>Stephanodiscus sp.</i>	<i>Uroglena americana</i>	<i>Uroglena americana</i> <i>Synedra sp.</i>	<i>Uroglena americana</i>	<i>Fragilaria crotensis</i>	<i>Fragilaria crotensis</i> <i>Uroglena americana</i>	<i>Pandorina morum</i>	<i>Fragilaria crotensis</i>

イ 湯の湖

湯の湖における植物プランクトン種類数の経月変化を図4-7に示す。Y-3では最大が5月の23種類、最小が6月の10種類、Y-5では最大が4月、5月、10月の13種類、最小が7月の6種類であった。

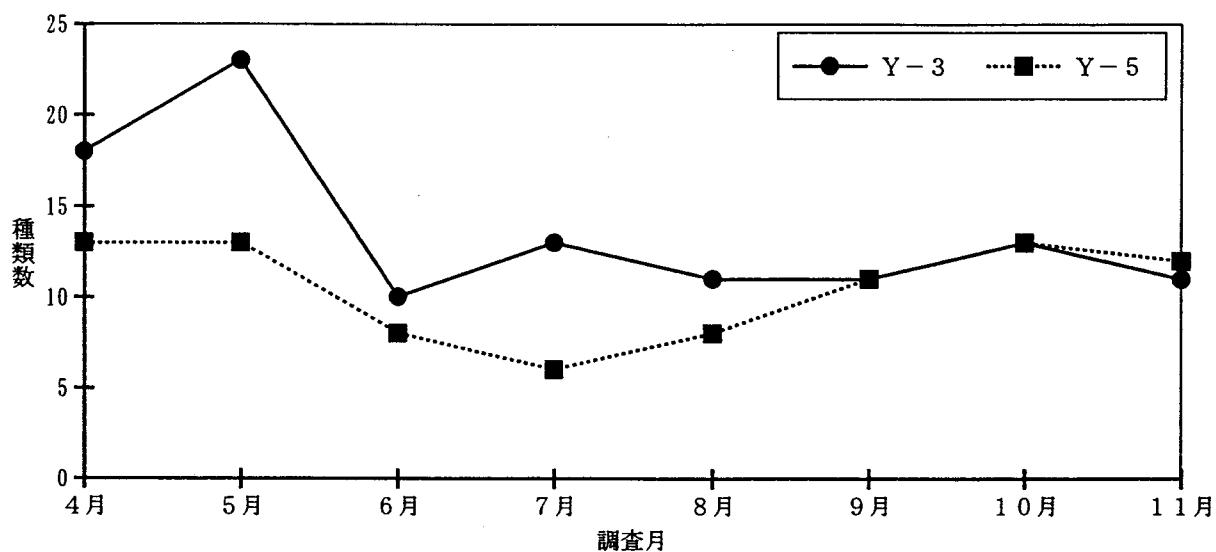


図4-7 湯の湖における植物プランクトン種類数の経月変化

植物プランクトンを珪藻類、緑藻類、その他の藻類に大別し、植物プランクトン構成の経月変化を見ると、図4-8のとおり、両地点とも珪藻類は4～5月に種類数が多かった。緑藻類は、両地点ともに各月の出現種類数は0～3種類であり、調査期間を通して種類数に大きな変動はなかった。

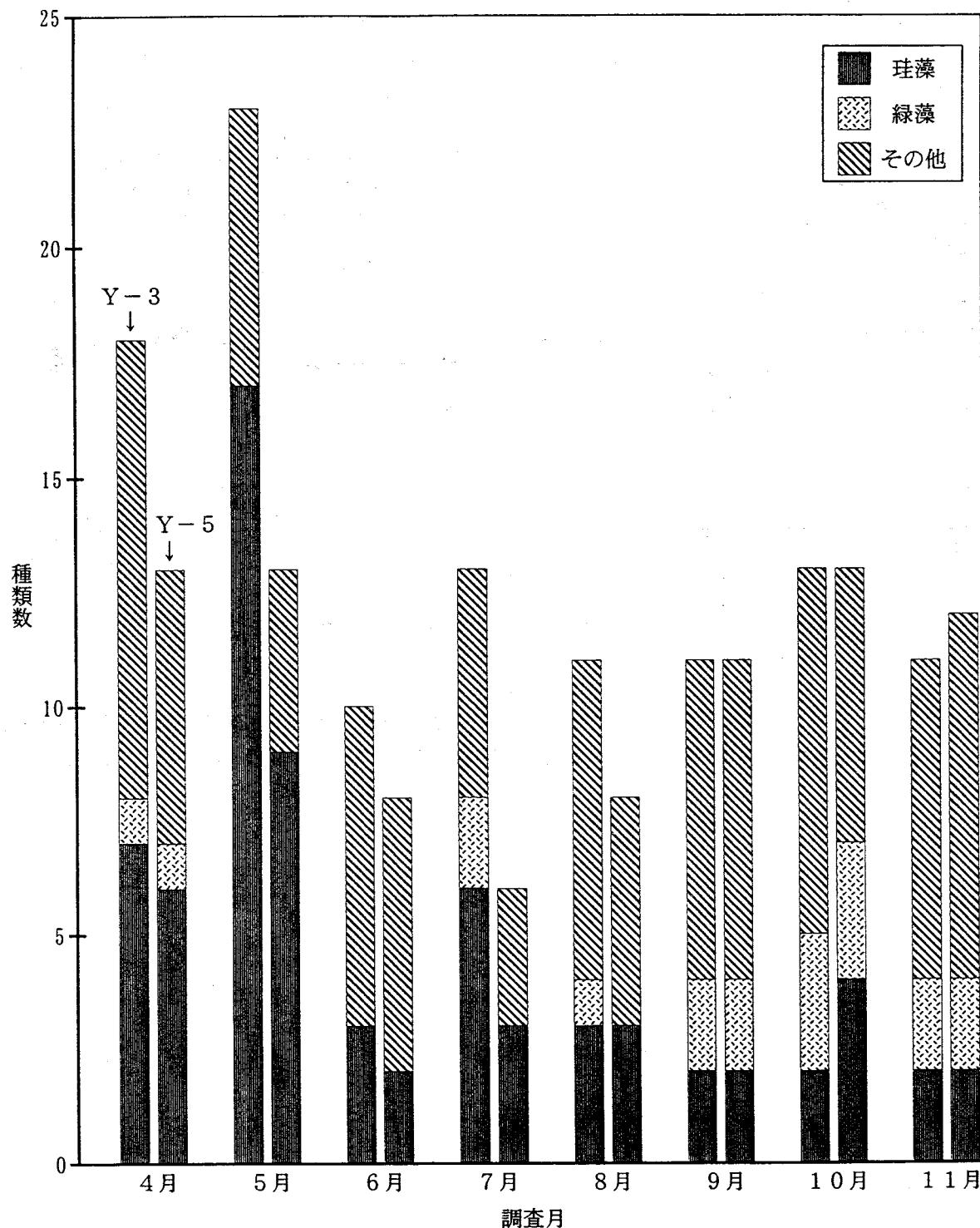


図4-8 湯の湖における植物プランクトンの種構成の経月変化

湯の湖における植物プランクトン細胞数の経月変化を図4-9に示す。

両地点とも5月に藍藻類の *Synechocystis sp* が大量に確認されたため、細胞数が最も多くなった。またY-3では11月Y-5では8月に細胞数が最も少なくなった。

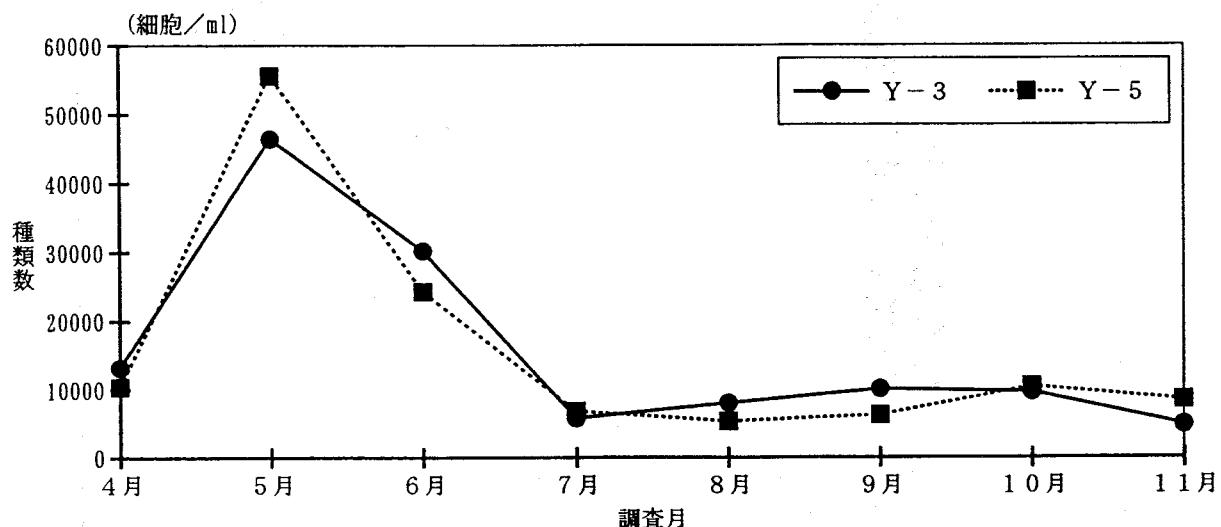


図4-9 湯の湖における植物プランクトン細胞数の経月変化

植物プランクトンを珪藻類、緑藻類、その他の藻類に大別し、各区分ごとの細胞数及び構成の経月変化を図4-10に示す。

両地点とも同様な変化を示しており、珪藻類は4月、6月、7月、10月、11月に全細胞の半数以上を占めていた。また、その他の藻類は5月、8月、9月に全細胞の半数以上を占めていた。

細胞数は珪藻類が6月、その他の藻類が5月に最も多くなった。緑藻類の細胞数は例年同様、調査期間を通して珪藻類、その他の藻類に比べてきわめて少なかった。

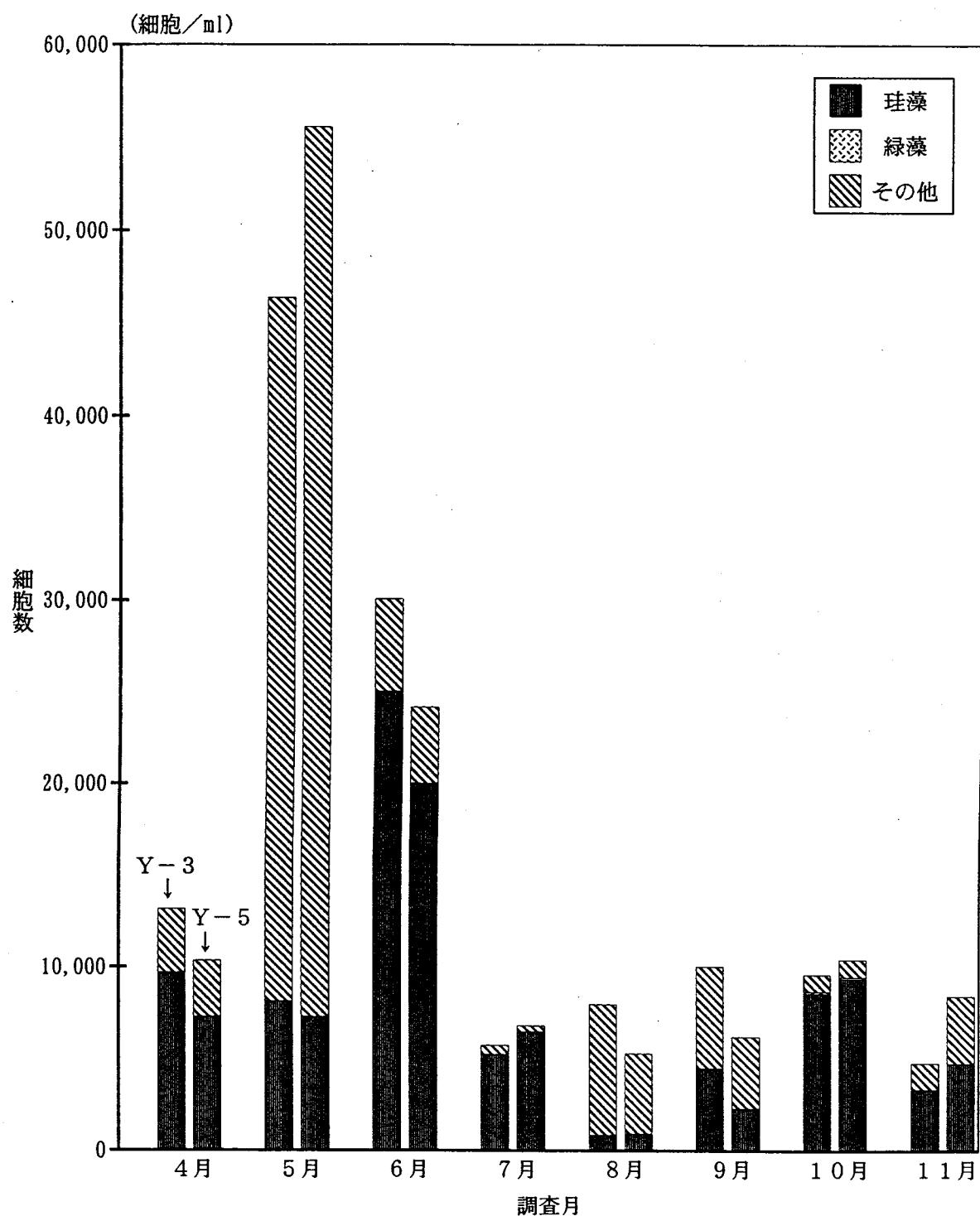


図4-10 湯の湖における植物プランクトン細胞数及び構成の経月変化

湯の湖における植物プランクトンの優占種及び優占率を表4-5に示す。

調査期間を通して両地点とも優占種はほぼ同じような傾向がみられた。

4月、6月、7月及び9月は珪藻類の *Asterionella gracillima* が両地点で優占率が高く、6月には8割以上を占めた。また、4月には珪藻類の *Stephanodiscus hantzschii* の優占率も高かった。5月、8月は藍藻類の *Synechocytis* sp. の優占率が高かった。また、Y-3の8月、両地点の9月、Y-5の11月は黄色鞭毛藻類の *Uroglena americana* の優占率も高かった。10月、11月は珪藻類の *Fragilaria crotonensis* が優占しており10月は8割以上を占めた。また、Y-5の11月は黄色鞭毛藻類の *Ochromonas* sp. の優占率も高かった。

表4-5 湯の湖における植物プランクトンの優占種及び優占率

調査日	Y-3	優占率 (%)	Y-5	優占率 (%)
4/16	<i>Asterionella gracillima</i> <i>Stephanodiscus hantzschii</i>	39.6 33.5	<i>Asterionella gracillima</i> <i>Stephanodiscus hantzschii</i>	42.6 27.1
5/15	<i>Synechocytis</i> sp.	79.8	<i>Synechocytis</i> sp.	86.4
6/12	<i>Asterionella gracillima</i>	83.1	<i>Asterionella gracillima</i>	82.8
7/16	<i>Asterionella gracillima</i>	68.2	<i>Asterionella gracillima</i>	73.7
8/10	<i>Synechocytis</i> sp. <i>Uroglena americana</i>	47.8 37.7	<i>Synechocytis</i> sp.	62.6
9/18	<i>Uroglena americana</i> <i>Asterionella gracillima</i>	45.9 43.9	<i>Uroglena americana</i> <i>Asterionella gracillima</i>	50.1 35.5
10/9	<i>Fragilaria crotonensis</i>	83.5	<i>Fragilaria crotonensis</i>	80.7
11/6	<i>Fragilaria crotonensis</i>	69.2	<i>Fragilaria crotonensis</i> <i>Uroglena americana</i> <i>Ochromonas</i> sp.	55.8 21.4 20.2

本年度及び過去4年間の優占種を表4-6に示す。

各年度における優占種をみると、本年度は過去に優占したことがない藍藻類の *Synechocytis* sp. が5月に優占した。本年度4月に優占した珪藻類の *Stephanodiscus hantzschii* は平成8年4月及び平成10年4月に優占した。本年度4、6、7、9月に優占した珪藻類の *Asterionella gracillima* は平成9年5～6月、8～9月及び平成10年10～11月に優占した。本年度8～9月に優占した黄色鞭毛藻類の *Uroglena americana* は平成7年7～9月、11月、平成8年6～9月、平成9年5～6月、8～11月及び平成10年5月、8月に優占した。本年度10～11月に優占した *Fragilaria* 属は平成10年7～10月に優占した。

表4-6 湯の湖における植物プランクトン優占種

	4	5	6	7	8	9	10	11
平成11年	<i>Asterionella gracillima</i> <i>Stephanodiscus hantzschii</i>	<i>Synechocytis</i> sp.	<i>Asterionella gracillima</i>	<i>Asterionella gracillima</i>	<i>Synechocytis</i> sp. <i>Uroglena americana</i>	<i>Uroglena americana</i> <i>Asterionella gracillima</i>	<i>Fragilaria crotonensis</i>	<i>Fragilaria crotonensis</i>
平成10年	<i>Stephanodiscus hantzschii</i>	<i>Fragilaria capucina</i> v. <i>gracilis</i> <i>Uroglena americana</i>	<i>Chroomonas acuta</i>	<i>Chroomonas acuta</i>	<i>Uroglena americana</i>	<i>Chroomonas acuta</i>	<i>Asterionella gracillima</i> <i>Cryptomonas erosa</i>	<i>Asterionella gracillima</i>
平成9年	<i>Synedra acus</i> <i>Asterionella gracillima</i>	<i>Synedra acus</i> <i>Uroglena americana</i>	<i>Uroglena americana</i>	<i>Cryptomonas erosa</i>	<i>Uroglena americana</i> <i>Cryptomonas erosa</i>	<i>Uroglena americana</i> <i>Cryptomonas erosa</i>	<i>Uroglena americana</i> <i>Cryptomonas erosa</i>	<i>Uroglena americana</i>
平成8年	<i>Stephanodiscus</i> sp.	<i>Synedra acus</i>	<i>Uroglena americana</i> <i>Synedra acus</i>	<i>Uroglena americana</i>	<i>Uroglena americana</i>	<i>Uroglena americana</i> <i>Aulacoseira ambigua</i>	<i>Aulacoseira ambigua</i>	<i>Aulacoseira ambigua</i>
平成7年	<i>Synedra</i> sp.	<i>Synedra</i> sp.	<i>Synedra</i> sp.	<i>Cryptomonas</i> sp. <i>Uroglena americana</i>	<i>Uroglena americana</i>	<i>Uroglena americana</i>	<i>Cryptomonas</i> sp.	<i>Uroglena americana</i>

なお、全細胞の調査結果を資料(1)植物プランクトンに示す。

(2) 動物プランクトン

ア 中禅寺湖

中禅寺湖における動物プランクトン種類数の経月変化を図4-11に示す。調査期間を通してC-4では8~13種、C-6では6~13種が出現した。C-4では10月が8種類と最も少なく、4月と6月が13種と最も多かった。C-6でも10月が6種と最も少なく、4月と6月が13種と最も多かった。

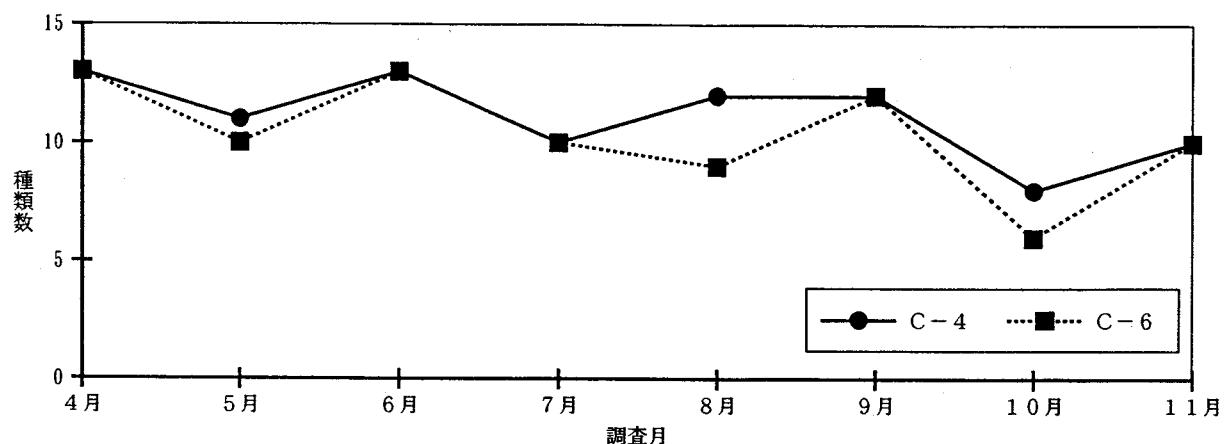


図4-11 中禅寺湖における動物プランクトン種類数の経月変化

動物プランクトンを原生動物、輪形動物、節足動物に大別し、動物プランクトン構成の経月変化をみると、図4-12のとおり、輪形動物はC-4では各月3~7種類でほぼ安定していた。C-6では8月に比較的種類数が少なく、それ以外は各月4~7種類であった。また、節足動物はC-4、C-6ともに各月2~7種類であった。なお、原生動物は元々種類数が少なく、各月の出現種類数はC-4では0~1種類、C-6では0~2種類であった。

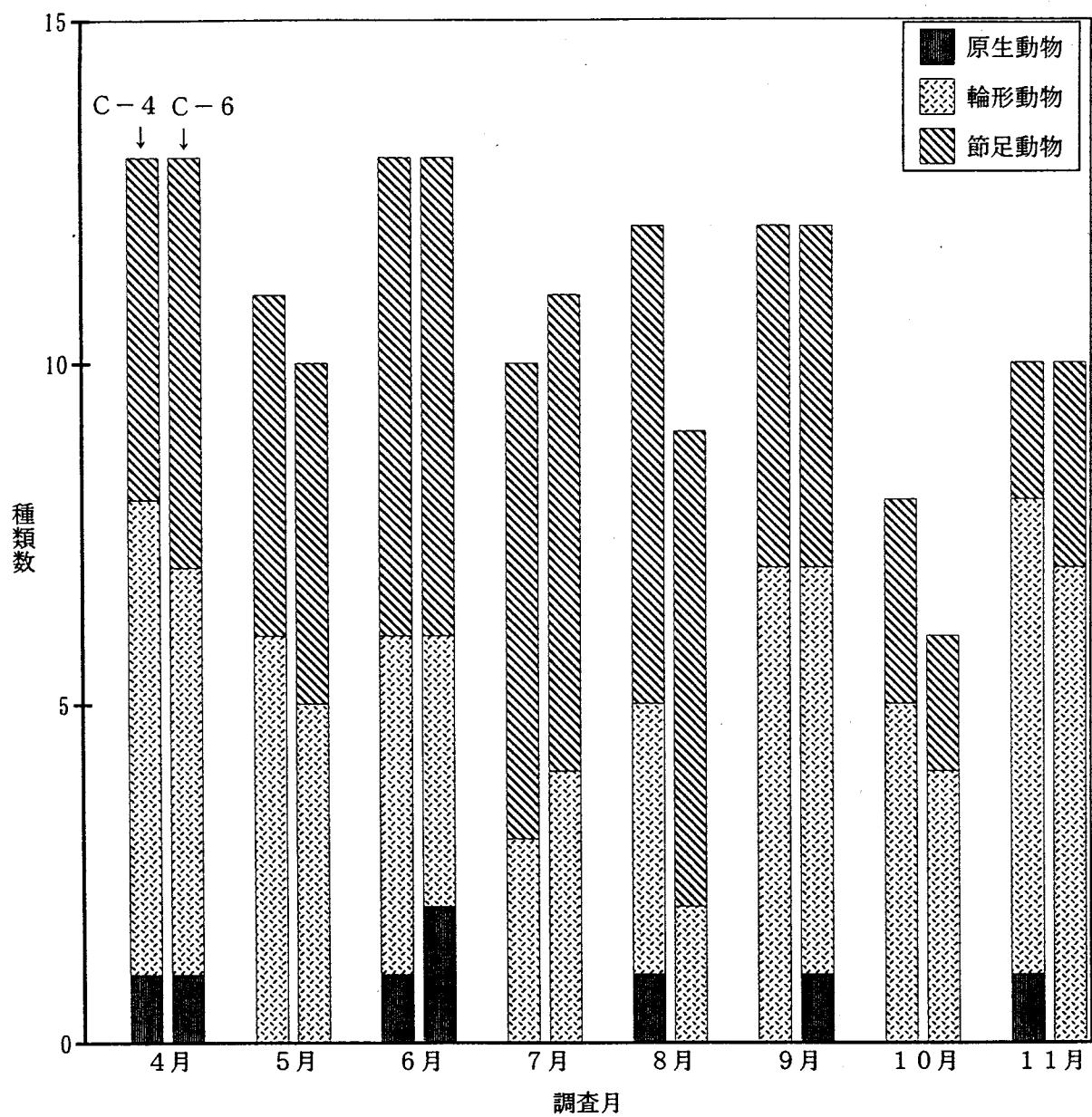


図4-12 中禅寺湖における動物プランクトンの種構成の経月変化

中禅寺湖における動物プランクトン個体数の経月変化を図4-13に示す。

両地点とも、8月に個体数が最も多く（C-4：155,694個体／m³、C-6：140,729個体／m³）、4月に個体数が最も少なかった（C-4：8,708個体／m³、C-6：6,667個体／m³）。

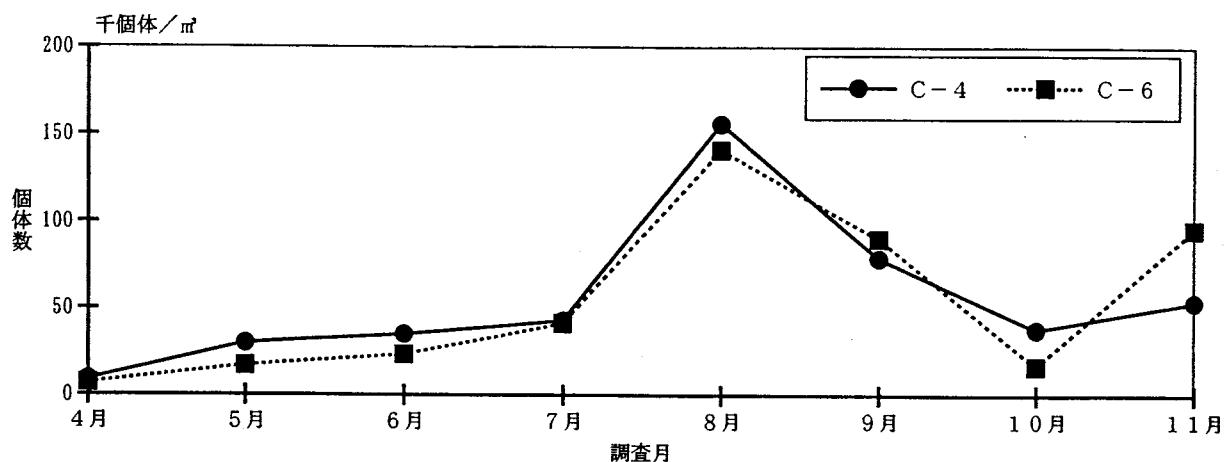


図4-13 中禅寺湖における動物プランクトン個体数の経月変化

動物プランクトンを原生動物、輪形動物、節足動物に大別し、動物プランクトン個体数及び構成の経月変化を見ると、図4-14のとおり両地点とも、4月、5月、8月、9月は輪形動物が全個体数の大半を占め、6月、7月、10月は節足動物が大半を占めた。また、11月はC-4では節足動物が大半を占めたが、C-6では輪形動物と節足動物の個体数には大きな差は無かった。

各区分ごとの個体数については、輪形動物は両地点とも8月が最も多く、次いで9月が多かった。節足動物は両地点とも11月が最も多かった。

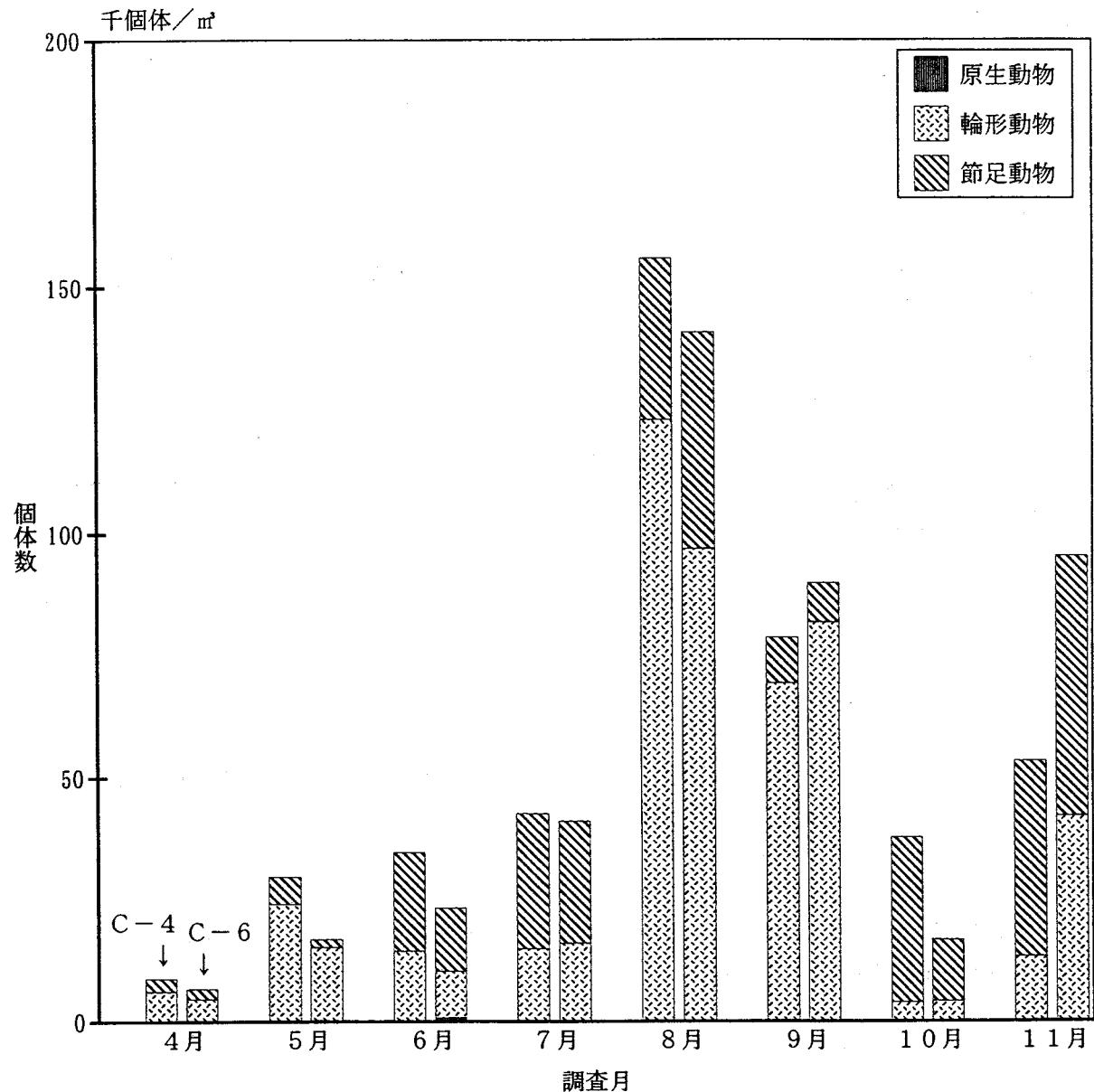


図4-14 中禅寺湖における動物プランクトン個体数及び構成の経月変化

中禅寺湖における動物プランクトンの優占種及び優占率を表4-7に示す。

調査期間を通して両地点とも優占種は同じ傾向がみられた。4月、5月は輪形動物の *Synchaeta* sp. が、6月から9月は輪形動物の *Keratella quadrata* が、6月、10月、11月は節足動物の *Bosmina longilostris* が優占種となった。また、6月には輪形動物の *Polyarthra* sp.、6月、7月には節足動物の *Daphnia longispina*、7月には節足動物の *Nauplius*期幼生も優占種となった。

表4-7 中禅寺湖の動物プランクトンの優占種及び優占率

調査日	C-4	優占率 (%)	C-6	優占率 (%)
4/15	<i>Synchaeta</i> sp.	54.3	<i>Synchaeta</i> sp.	46.3
5/11	<i>Synchaeta</i> sp.	73.1	<i>Synchaeta</i> sp.	85.4
6/15	<i>Bosmina longilostris</i> <i>Polyarthra</i> sp. <i>Daphnia longispina</i> <i>Keratella quadrata</i>	23.5 21.4 19.9 19.4	<i>Polyarthra</i> sp. <i>Daphnia longispina</i> <i>Bosmina longilostris</i> <i>Keratella quadrata</i>	24.7 23.8 19.8 15.7
7/12	<i>Nauplius</i> 期幼生 <i>Daphnia longispina</i> <i>Keratella quadrata</i>	27.4 26.8 23.6	<i>Nauplius</i> 期幼生 <i>Keratella quadrata</i> <i>Daphnia longispina</i>	31.5 23.6 20.7
8/10	<i>Keratella quadrata</i>	78.1	<i>Keratella quadrata</i>	68.6
9/7	<i>Keratella quadrata</i>	83.9	<i>Keratella quadrata</i>	86.8
10/13	<i>Bosmina longilostris</i>	81.6	<i>Bosmina longilostris</i>	53.0
11/9	<i>Bosmina longilostris</i>	73.7	<i>Bosmina longilostris</i>	53.5

本年度及び過去4年間の優占種を表4-8に示す。

各年度における優占種をみると、平成7年度は6種類、平成8年度は4種類で、平成9年度は2種類、平成10年度は8種であったが、本年度は6種類であった。輪形動物の *Synchaeta* sp. は平成7年度、平成8年度同様本年度も4月、5月に優占種となった。輪形動物の *Keratella quadrata* は平成10年度8月、9月に引き続き、本年度も6月～9月に優占種となった。平成10年度に比較的多く優占種となった節足動物では、本年度は *Bosmina longilostris* が6月、10月、11月に、*Daphnia longispina* が6月、7月に、Nauplius期幼生が7月にそれぞれ優占種となった。

表4-8 中禅寺湖の動物プランクトン優占種の変化

	4	5	6	7	8	9	10	11
平成11年	<i>Synchaeta</i> sp.	<i>Synchaeta</i> sp.	<i>Bosmina longilostris</i> <i>Polyarthra</i> sp. <i>Daphnia longispina</i> <i>Keratella quadrata</i>	<i>Nauplius</i> 期幼生 <i>Daphnia longispina</i> <i>Keratella quadrata</i>	<i>Keratella quadrata</i>	<i>Keratella quadrata</i>	<i>Bosmina longilostris</i>	<i>Daphnia longispina</i>
平成10年	<i>Kellicottia longispina</i>	<i>Kellicottia longispina</i> <i>Synchaeta</i> sp.	<i>Bosmina longilostris</i>	<i>Daphnia longispina</i> <i>Acanthodiatomus pacificus</i>	<i>Daphnia longispina</i> <i>Keratella quadrata</i>	<i>Daphnia longispina</i> <i>Keratella quadrata</i>	<i>Asplanchna</i> sp.	<i>Daphnia longispina</i> <i>Polyarthra</i> sp.
平成9年	<i>Kellicottia longispina</i>	<i>Kellicottia longispina</i>	<i>Kellicottia longispina</i>	<i>Kellicottia longispina</i>	<i>Kellicottia longispina</i>	<i>Keratella quadrata</i>	<i>Keratella quadrata</i>	<i>Keratella quadrata</i>
平成8年	<i>Synchaeta</i> sp.	<i>Kellicottia longispina</i> <i>Synchaeta</i> sp.	<i>Kellicottia longispina</i>	<i>Bosmina longilostris</i>	<i>Kellicottia longispina</i>	<i>Kellicottia longispina</i>	<i>Kellicottia longispina</i> <i>Keratella quadrata</i>	<i>Kellicottia longispina</i>
平成7年	<i>Synchaeta</i> sp.	<i>Synchaeta</i> sp.	<i>Bosmina fatalis</i> <i>Polyarthra trigra</i>	<i>Daphnia longispina</i>	<i>Kellicottia longispina</i>	<i>Kellicottia longispina</i> <i>Daphnia longispina</i>	<i>Kellicottia longispina</i> <i>Conochilus</i> sp.	<i>Kellicottia longispina</i>

イ. 湯の湖

湯の湖における動物プランクトン種類数の経月変化を図4-15に示す。調査期間を通してY-3では5～17種類、Y-5では10～20種類が出現した。Y-3では7月が5種類と最も少なく、4月が17種類と最も多かった。Y-5では7月及び11月が10種類と最も少なく、4月が20種類と最も多かった。

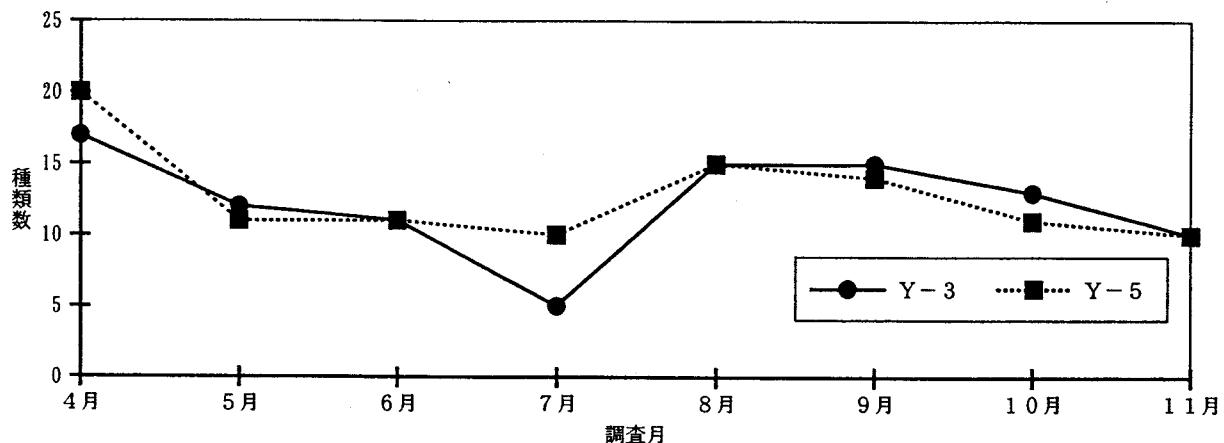


図4-15 湯の湖における動物プランクトン種類数の経月変化

動物プランクトンを原生動物、輪形動物、節足動物に大別し、種構成の経月変化をみると、図4-16のとおり、輪形動物はY-3では各月2～10種類、Y-5では各月4～13種類であり、全ての月で確認された。節足動物はY-3では各月3～5種類、Y-5では各月3～6種類でほぼ安定していた。原生動物は両地点とも各月0～4種類であり、6月にはY-5で、7月には両地点で、10月にはY-5で全く確認されず、Y-3では4月、10月に3種類、Y-5では10月に4種類を確認した。

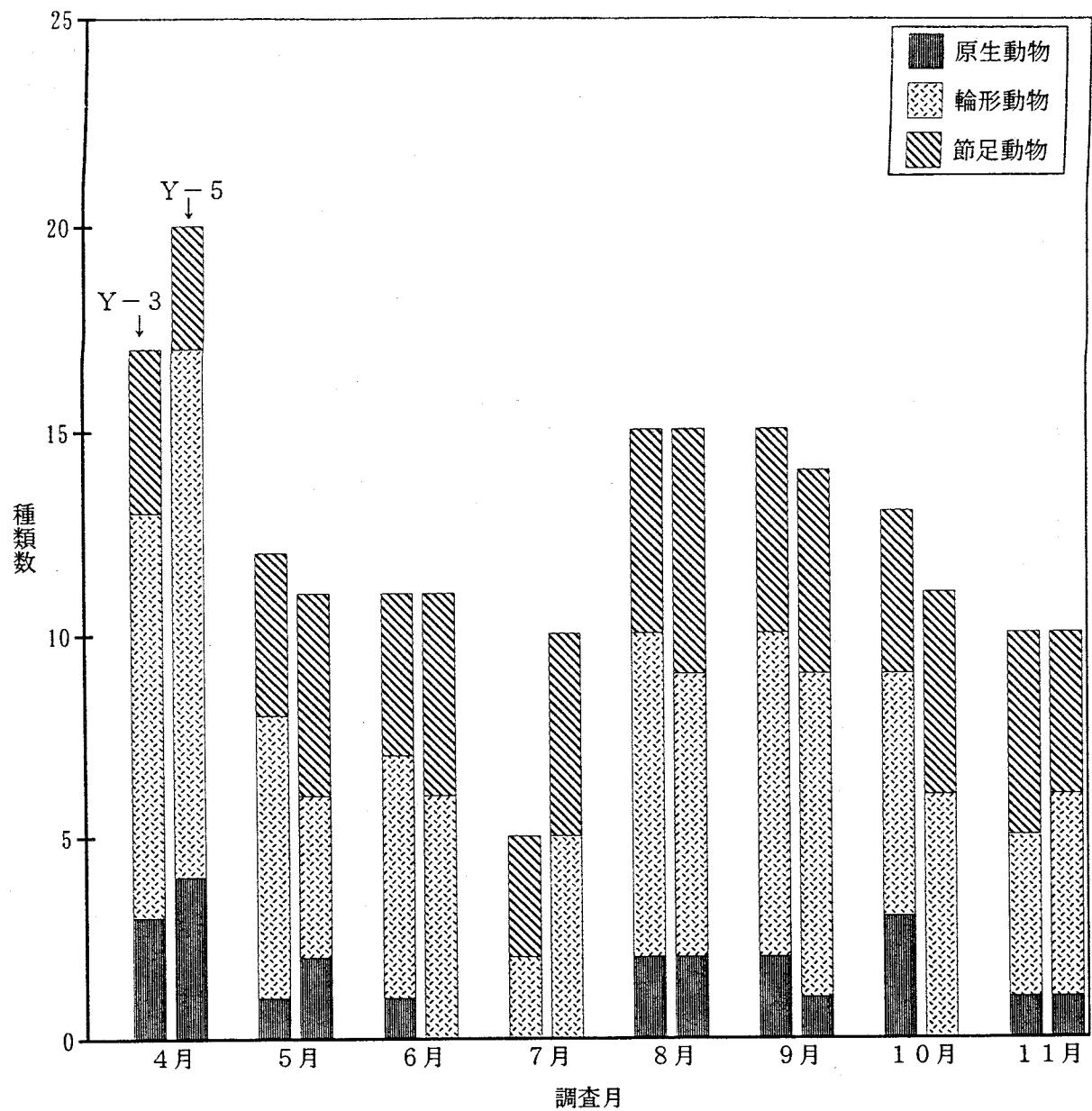


図4-16 湯の湖における動物プランクトン構成の経月変化

湯の湖における動物プランクトン個体数の経月変化を図4-17に示す。

両地点とも、5月の個体数が最も多く（Y-3：1,213,125個体／m³、Y-5：627,340個体／m³）、11月の個体数が最も少なかった（Y-3：103,316個体／m³、Y-5：71,454個体／m³）。

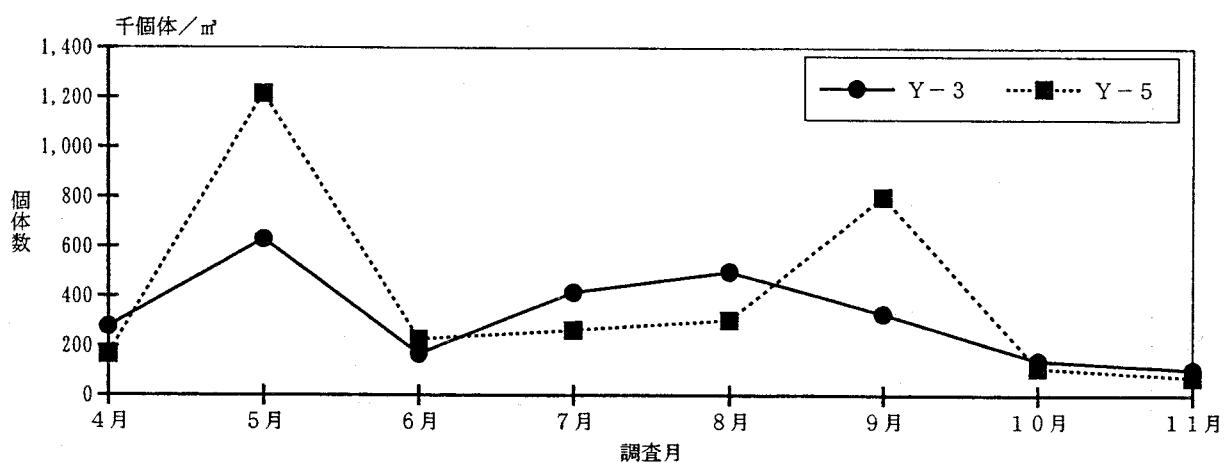


図4-17 湯の湖における動物プランクトン個体数の経月変化

動物プランクトンを原生動物、輪形動物、節足動物に大別し、動物プランクトン個体数及び構成の経月変化を見ると、図4-18のとおり、両地点とも4、5月は輪形動物が個体数の過半数を占め、8月は節足動物と輪形動物の個体数に大きな差は無く、6、10、11月は節足動物が過半数を占めた。両地点の個体数の構成はほぼ同様の傾向にあったが、7月、9月は両地点で傾向が異なり、Y-3では節足動物が、Y-5では輪形動物がそれぞれ個体数の過半数を占めた。

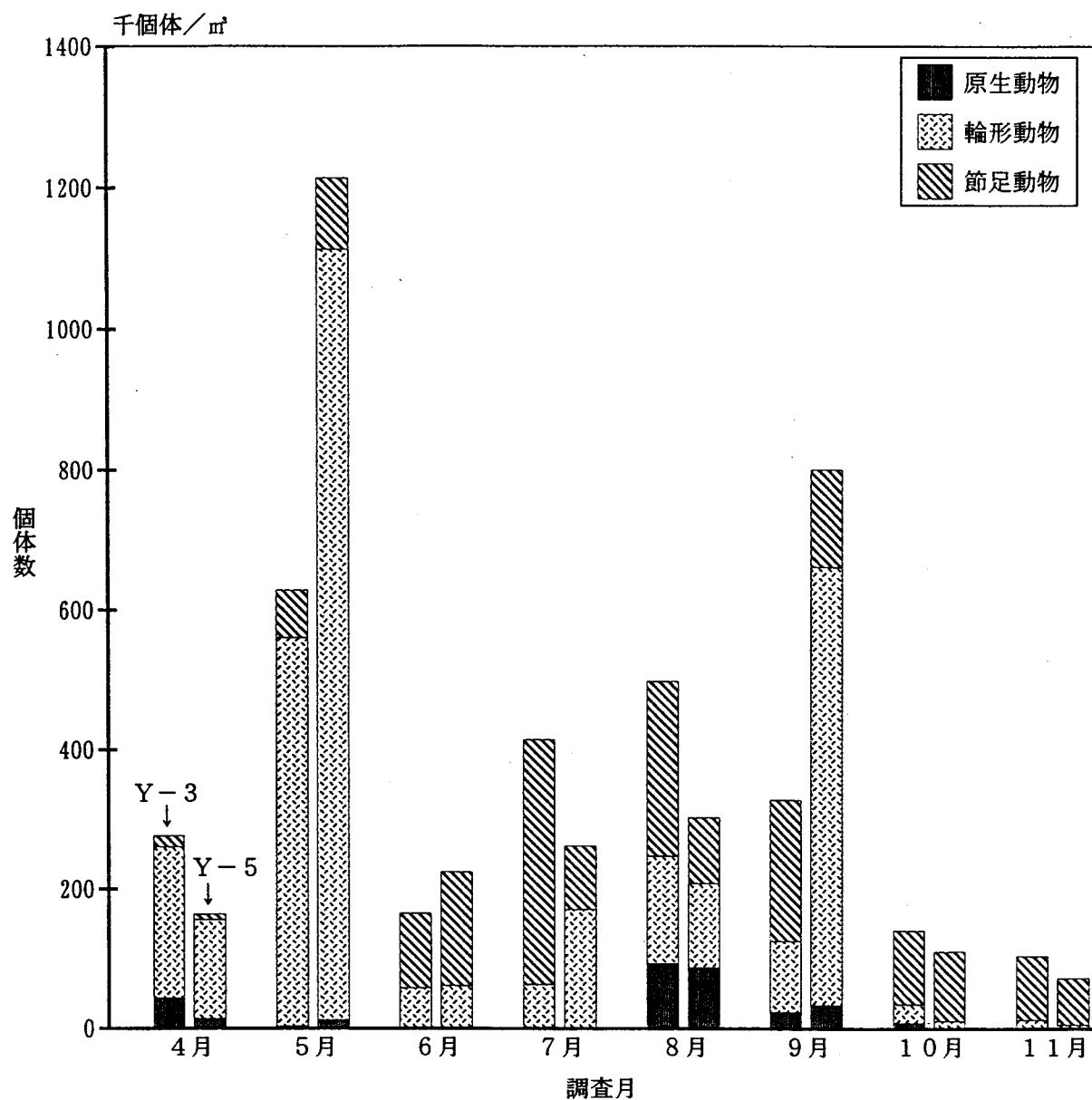


図4-18 湯の湖における動物プランクトン個体数及び構成の経月変化

本年度及び過去4年間の優占種を表4-10に示す。

各年度における優占種をみると、平成7年度から平成10年度まで優占種は毎年3種類であった。内訳は節足動物の *Bosmina longilostris*、輪形動物の *Keratella quadrata* の2種及び Nauplius期幼生、*Daphnia longispina*、*Synchaeta* sp. の3種類のうちいずれか一つという構成であった。今年度は Nauplius期幼生を除く上記4種類に加え、輪形動物の *Polyarthra* sp.、原生動物の *Tintinnidium* sp. の合計6種類が優占種となった。また、平成10年度には *Keratella quadrata* が優占する傾向がみられたが、今年度は平成9年度までと同様 *Bosmina longilostris* が優占する傾向がみられた。

表4-10 湯の湖の動物プランクトンの優占種の変化

	4	5	6	7	8	9	10	11
平成11年	<i>Synchaeta</i> sp.	<i>Polyarthra</i> sp.	<i>Bosmina longilostris</i>	<i>Bosmina longilostris</i> <i>Keratella quadrata</i>	<i>Bosmina longilostris</i> <i>Tintinnidium</i> sp. <i>Synchaeta</i> sp.	<i>Bosmina longilostris</i> <i>Filinia longiseta</i>	<i>Bosmina longilostris</i> <i>Daphnia longispina</i>	<i>Bosmina longilostris</i>
平成10年	<i>Keratella quadrata</i>	<i>Keratella quadrata</i>	<i>Keratella quadrata</i> <i>Bosmina longilostris</i>	<i>Keratella quadrata</i> <i>Bosmina longilostris</i>	<i>Keratella quadrata</i>	<i>Synchaeta</i> sp.	<i>Bosmina longilostris</i>	<i>Bosmina longilostris</i>
平成9年	橈脚類 Nauplius期幼生	橈脚類 Nauplius期幼生	<i>Bosmina longilostris</i>	<i>Bosmina longilostris</i>	<i>Bosmina longilostris</i>	<i>Bosmina longilostris</i>	<i>Bosmina longilostris</i>	<i>Keratella quadrata</i>
平成8年	<i>Keratella quadrata</i>	<i>Keratella quadrata</i>	<i>Bosmina longilostris</i>	<i>Bosmina longilostris</i>	<i>Daphnia longispina</i>	<i>Daphnia longispina</i>	<i>Bosmina longilostris</i>	<i>Bosmina longilostris</i>
平成7年	<i>Keratella quadrata</i>	<i>Keratella quadrata</i>	<i>Bosmina longilostris</i> <i>Keratella quadrata</i>	<i>Bosmina longilostris</i>	<i>Bosmina longilostris</i>	<i>Keratella quadrata</i>	<i>Bosmina longilostris</i>	<i>Bosmina longilostris nauplius</i>

なお、全個体の調査結果を資料(2)動物プランクトンに示す。

湯の湖における動物プランクトンの優占種及び優占率を表4-9に示す。

調査期間を通して両地点とも優占種はほぼ同じ様な傾向がみられた。両地点とも4月は輪形動物の *Synchaeta* sp. が、5月は輪形動物の *Polyarthra* sp. が、6月、10月及び11月は節足動物の *Bosmina longilostris* が優占種となった。7月、9月は傾向が異なりY-3では両月とも節足動物の *Bosmina longilostris* が優占種となり、Y-5では7月に輪形動物の *Keratella quadrata* が、9月には輪形動物の *Filinia longisetosa* が優占種となった。また、8月は、Y-3では節足動物のみが優占し、Y-5では原生動物、輪形動物及び節足動物が優占した。

表4-9 湯の湖の動物プランクトンの優占種及び優占率

調査日	Y-3	優占率 (%)	Y-5	優占率 (%)
4/15	<i>Synchaeta</i> sp.	60.1	<i>Synchaeta</i> sp.	70.3
5/11	<i>Polyarthra</i> sp.	74.7	<i>Polyarthra</i> sp.	86.4
6/15	<i>Bosmina longilostris</i>	58.2	<i>Bosmina longilostris</i>	64.6
7/12	<i>Bosmina longilostris</i>	79.5	<i>Keratella quadrata</i>	63.9
8/10	<i>Bosmina longilostris</i>	47.9	<i>Tintinnidium</i> sp. <i>Synchaeta</i> sp. <i>Bosmina longilostris</i>	28.4 25.9 21.7
9/7	<i>Bosmina longilostris</i>	51.4	<i>Filinia longisetosa</i>	70.7
10/13	<i>Bosmina longilostris</i>	62.0	<i>Bosmina longilostris</i> <i>Daphnia longispina</i>	53.5 31.9
11/9	<i>Bosmina longilostris</i>	49.7	<i>Bosmina longilostris</i>	67.6

資料(1) 植物プランクトン

地点名：中禅寺湖 C-4	調査月日							
藻類名	4/15	5/11	6/15	7/12	8/10	9/7	10/13	11/9
BACILLARIOPHYCEAE 珪藻綱								
<i>Achnanthes minutissima</i>	2				17	7		
<i>Asterionella gracillima</i>	110	150	68	120	52	190	22	29
<i>Aulacoseira longispina</i>	200	1,000						
<i>Cyclostephanos dubius</i>	230	1,000		2				
<i>Cyclotella atomus</i>	24							
<i>Diatoma elongatum</i>		2						
<i>Fragilaria crotontensis</i>					49	1,200	250	97
<i>Fragilaria pinnata</i>						43		
<i>Fragilaria vaucheriae</i>		5	12			4		
<i>Stephanodiscus hantzschii</i>	14	160		4				
CHLOROPHYCEAE 緑藻綱								
<i>Ankyra judayi</i>					35	4		
<i>Ankyra lanceorata</i>							40	4
<i>Chlamydomonas</i> sp.	5			7		4	86	47
<i>Chlorococcum</i> sp.								190
<i>Fottterella tetrachlorelloides</i>					46			
<i>Nephrocytium agardhianum</i>					17	4	4	
<i>Oocystis solitaria</i>					26	11	25	4
<i>Paulschulzia tenera</i>							86	
<i>Sphaerocystis schroeteri</i>				43	69			
<i>Staurastrum limneticum v. burmense</i>							4	4
CHRYSOPHYCEAE 黄色鞭毛藻綱								
<i>Ochromonas</i> sp.					100	7	47	25
<i>Spiniferomonas</i> sp.						50		
<i>Uroglena americana</i>			210	23	140	160	410	220
<i>Ochromonadaceae</i>	67	2,600	110	4	120	580	1,200	120
XANTHOPHYCEAE 黄緑藻綱								
<i>Ellipsoidon</i> sp. (cf. <i>oocystoides</i>)				81	9			
DINOPHYCEAE 滴鞭毛藻綱								
<i>Ceratium hirundinella</i>			2		3	7	4	18
<i>Peridinium volzii</i>					3	14	32	7
<i>Peridinium</i> sp.	5				3			7
CRYPTOPHYCEAE 褐色鞭毛藻綱								
<i>Chroomonas</i> sp.	26	360	31		6			
<i>Cryptomonas</i> sp. (cf. <i>marssonii</i>)					58	4	47	11
<i>Cryptomonas</i> sp.	12	60	2	4		29	65	36
種類数	11	9	7	9	17	17	15	15
細胞数 (cells/ml)	695	5,337	435	288	753	2,318	2,322	819

珪藻綱 *Cyclostephanos dubius* は、昨年出現の *Stephanodiscus dubius* の属名が変更になったものである。

地点名：中禅寺湖 C-6		調査月日							
藻類名		4/15	5/11	6/15	7/12	8/10	9/7	10/13	11/9
BACILLARIOPHYCEAE 珪藻綱									
<i>Achnanthes minutissima</i>							29		
<i>Asterionella gracillima</i>	110	120	12	190	32	210	65	94	
<i>Aulacoseira distans</i>									14
<i>Aulacoseira longispina</i>	230	1,000							
<i>Cyclostephanos dubius</i>	160	750	2	1					
<i>Cyclotella atomus</i>	27	58							
<i>Cyclotella radiosa</i>								4	
<i>Fragilaria crotonensis</i>	110					35	1,700	76	7
<i>Fragilaria vaucheriae</i>	3	5	5						
<i>Meridion circulare v. constricta</i>		2							
<i>Nitzschia</i> sp.							4		
<i>Stephanodiscus hantzschii</i>	58	140							
<i>Stephanodiscus</i> sp.		5							
CHLOROPHYCEAE 緑藻綱									
<i>Ankyra judayi</i>				7	98	22			
<i>Ankyra lanceorata</i>								54	4
<i>Chlamydomonas</i> sp.	3	2			6			90	25
<i>Chlorococcum</i> sp.								76	160
<i>Chlorogonium</i> sp.						4			
<i>Fottarella tetrachlorelloides</i>					23				
<i>Gloeocystis gigas</i>				36	46	4			
<i>Mougeotia</i> sp.	10								
<i>Nephrocystium agardhianum</i>					40	11	4		
<i>Oocystis solitaria</i>					17			25	7
<i>Paulschulzia tenera</i>								29	
<i>Sphaerocystis schroeteri</i>				640	46				
CHRYSOPHYCEAE 黄色鞭毛藻綱									
<i>Ochromonas</i> sp.					14	25	97	11	
<i>Spiniferomonas</i> sp.							180		
<i>Uroglena americana</i>	34	170	140	48	220	190	340	180	
<i>Ochromonadaceae</i>	140	700	150	4	180	830	1,400	110	
XANTHOPHYCEAE 黄綠藻綱									
<i>Ellipsoidon</i> sp. (cf. <i>oocystoides</i>)	46	2	50	6	32				
DINOPHYCEAE 涡鞭毛藻綱									
<i>Ceratium hirundinella</i>					6	11	22	18	
<i>Peridinium volzii</i>							14	22	7
<i>Peridinium</i> sp.	5				3	4	22		
CRYPTOPHYCEAE 褐色鞭毛藻綱									
<i>Chroomonas</i> sp.	6	19	12	1					
<i>Cryptomonas</i> sp. (cf. <i>marssonii</i>)					63	4	32		
<i>Cryptomonas</i> sp.	13	70		3	17	61	130	32	
EUGLENOPHYCEAE ミドリムシ藻綱									
<i>Euglena</i> sp.		2							
<i>Phacus</i> sp.	3								
種類数	15	16	7	10	17	17	17	13	
細胞数 (cells/ml)	953	3,050	371	936	878	3,303	2,488	669	

珪藻綱 *Cyclostephanos dubius* は、昨年出現の *Stephanodiscus dubius* の属名が変更になったものである。

地点名：湯の湖Y-3	調査月日							
藻類名	4/15	5/11	6/15	7/12	8/10	9/7	10/13	11/9
CYANOPHYCEAE 藍藻類								
<i>Phormidium</i> sp.	72							
<i>Synechocystis</i> sp.	2,000	37,000			3,800	180		
BACILLARIOPHYCEAE 珪藻綱								
<i>Achnanthes minutissima</i>		5						
<i>Asterionella gracillima</i>	5,200	4,900	25,000	3,900	770	4,400	550	
<i>Cyclotella atomus</i>				11				
<i>Cyclotella meneghiniana</i>	11						4	
<i>Cyclotella stelligera</i>		5						
<i>Cymbella affinis</i>				4				
<i>Diatoma tenuis</i>	18	77						
<i>Fragilaria construens</i>		29						
<i>Fragilaria crotonensis</i>	4	8					8,000	3,300
<i>Fragilaria pinnata</i>		24						
<i>Fragilaria vaucheriae</i>	7	10			20			
<i>Fragilaria</i> sp.		48						
<i>Nitzschia acicularis</i>		5						
<i>Nitzschia amphibia</i>		5						
<i>Nitzschia palea</i>		5						
<i>Nitzschia</i> sp.	14	1,700		780	17			
<i>Rhoicosphenia curvata</i>								4
<i>Stephanodiscus hantzschii</i>	4,400	24	18	11				
<i>Synedra acus</i>		5						
<i>Synedra rumpens</i>		1,200	4	490				
<i>Synedra</i> sp.		53						
CHLOROPHYCEAE 緑藻綱								
<i>Ankyra judayi</i>						40	61	
<i>Chlamydomonas</i> sp.	22			4	3	11	11	14
<i>Closterium</i> sp.				4			29	4
CHRYSOPHYCEAE 黄色鞭毛藻綱								
<i>Bicosoeca</i> sp.			520					
<i>Dinobryon cylindricum</i>							58	
<i>Kephrion</i> sp.		19					50	
<i>Ochromonas</i> sp.	4		4	11	52	170	180	450
<i>Uroglena americana</i>	280	58	2,100	280	3,000	4,600	530	900
<i>Uroglena</i> sp.	47							
<i>Ochromonadaceae</i>	14	5	7		17	7	47	4
XANTHOPHYCEAE 黄緑藻綱					36			
<i>Ellipsoidon</i> sp. (cf. <i>oocystoides</i>)								
DINOPHYCEAE 涡鞭毛藻綱								
<i>Glenodinium</i> sp.					14	25		
<i>Peridinium</i> sp.	11						4	4
CRYPTOPHYCEAE 褐色鞭毛藻綱								
<i>Chroomonas</i> sp.	950	1,100	22	47				11
<i>Cryptomonas</i> sp. (cf. <i>marsssonii</i>)			110		9	18	7	32
<i>Cryptomonas</i> sp.	79	86	2,300	140	250	560	58	43
EUGLENOPHYCEAE ミドリムシ藻綱								
<i>Euglena</i> sp.		4						
種類数	18	23	10	13	11	11	13	11
細胞数 (cells/ml)	13,137	46,371	30,085	5,718	7,952	10,015	9,585	4,766

地点名：湯の湖Y-5	調査月日							
藻類名	4/15	5/11	6/15	7/13	8/10	9/7	10/13	11/9
CYANOPHYCEAE 藍藻綱								
<i>Synechocystis</i> sp.	2,000	48,000			3,300	350		11
BACILLARIOPHYCEAE 硅藻綱								
<i>Achnanthes lanceolata</i>							7	
<i>Asterionella gracillima</i>	4,400	4,900	20,000	5,000	870	2,200	950	25
<i>Cocconeis placentula</i>			4					
<i>Cyclotella meneghiniana</i>	11	10						
<i>Cymbella affinis</i>							4	
<i>Diatoma tenuis</i>	32	67						
<i>Fragilaria construens</i>		14					8,400	4,700
<i>Fragilaria construens f. binodis</i>		29						
<i>Fragilaria crotonensis</i>			150			72		
<i>Fragilaria vaucheriae</i>		5			18			
<i>Nitzschia palea</i>	4							
<i>Nitzschia</i> sp.		2,200		1,300	14			
<i>Stephanodiscus hantzschii</i>	2,800	14						
<i>Synechra acus</i>	7	5						
CHLOROPHYCEAE 緑藻綱								
<i>Ankyra judayi</i>						5	58	
<i>Chlamydomonas</i> sp.	4					2	29	4
<i>Closterium</i> sp.						4		7
CHRYOSOPHYCEAE 黄色鞭毛藻綱								
<i>Bicosoeca</i> sp.			850					
<i>Dinobryon cylindricum</i>							43	
<i>Kephyrion</i> sp.							110	
<i>Lagynion subglobosum</i>								29
<i>Ochromonas</i> sp.					120	5	330	1,700
<i>Uroglena americana</i>	960	300	920	97	750	3,100	380	1,800
<i>Uroglena</i> sp.	43	5	11					
<i>Ochromonadaceae</i>	7					10	22	22
XANTHOPHYCEAE 黄緑藻綱								
<i>Ellipsoidon</i> sp. (cf. <i>oocystoides</i>)			54		29			
CRYPTOPHYCEAE 褐色鞭毛藻綱								
<i>Chroomonas</i> sp.	25					7		22
<i>Cryptomonas</i> sp.	40	19	2,200	230	170	440	72	22
<i>Cryptomonas</i> sp. (cf. <i>marssonii</i>)			130	7		2		83
種類数	13	13	8	6	8	11	13	12
細胞数 (cells/ml)	10,333	55,568	24,169	6,784	5,271	6,193	10,409	8,425

資料(2) 動物プランクトン

地点名 中禅寺湖 C-4	調査月日							
種名	4/15	5/11	6/15	7/12	8/10	9/7	10/13	11/9
原生動物								
<i>Diffugia</i> sp.					69			69
<i>Centropyxis</i> sp.			52					
<i>Tintinnopsis</i> sp.	21							
輪虫類								
<i>Rotaria</i> sp.			52					
<i>Conochilus</i> sp.	458	833	52					
<i>Synchaeta</i> sp.	4,729	21,667			69			139
<i>Polyarthra</i> sp.	167	278	7,396	4,653	347	903	28	4,306
<i>Asplanchna</i> sp.						1,875	125	3,750
<i>Keratella cochlearis</i>	42					69		
<i>Keratella quadrata</i>	146	764	6,719	10,069	121,597	65,903	1,194	69
<i>Kellicottia longispina</i>	375	278			833	278	944	3,194
<i>Monostyla</i> sp.				69				
<i>Filinia longisetosa</i>						139		69
<i>Ploesoma</i> sp.	83	139	52			69	1,528	1,528
枝角類								
<i>Daphnia longispina</i>	271	1,528	6,875	11,389	27,431	8,194	2,958	903
<i>Daphnia galeata</i>			104	347	1,389	139		
<i>Bosmina longirostris</i>	542	278	8,125	1,458	625	208	30,708	39,306
<i>Chydorus</i> sp.			104		69			
橈脚類								
<i>Acanthodiaptomus pacificus</i>	313	625	3,438	1,597	1,597			
<i>Harpacticoida</i>				69				
Copepodid期幼生	63	833	365	1,250	139	417		
Nauplius期幼生	1,500	2,431	1,302	11,667	1,528	347	167	
種類数	13	11	13	10	12	12	8	10
個体数(個体/m ³)	8,710	29,654	34,636	42,568	155,693	78,541	37,651	53,333

地点名 中禅寺湖 C-6	調査月日							
種名	4/15	5/11	6/15	7/12	8/10	9/7	10/13	11/9
原生動物								
<i>Diffugia</i> sp.			625			139		
<i>Arcella</i> sp.	21							
<i>Centropyxis</i> sp.			52					
輪虫類								
<i>Conochilus</i> sp.	583	278						
<i>Synchaeta</i> sp.	3,083	14,347		69				
<i>Polyarthra</i> sp.	229	14	5,729	6,111	104	1,042		18,750
<i>Asplanchna</i> sp.						2,083	104	11,354
<i>Brachionus</i> sp.	42							
<i>Keratella cochlearis</i>			52					104
<i>Keratella quadrata</i>	229	306	3,646	9,653	96,563	77,847	1,146	625
<i>Kellicottia longispina</i>	333	139				347	729	7,083
<i>Monostyla</i> sp.				69				
<i>Filinia longiseta</i>						139		208
<i>Ploesoma</i> sp.			52			69	2,083	3,854
枝角類								
<i>Daphnia longispina</i>	229	431	5,521	8,472	39,167	7,083	3,750	2,188
<i>Daphnia galeata</i>			52	208	729	139		
<i>Bosmina longirostris</i>	229	222	4,583	1,458	1,042	278	8,802	50,938
<i>Chydorus</i> sp.			156		104			
撓脚類								
<i>Acanthodiaptomus pacificus</i>	208	139	1,927	1,319	938			
<i>Harpacticoida</i>	21							
Copepodid期幼生	83	125	156	694	729	208		
Nauplius期幼生	1,375	792	625	12,917	1,354	347		104
種類数	13	10	13	10	9	12	6	10
個体数(個体/m ³)	6,665	16,793	23,176	40,970	140,730	89,721	16,614	95,208

地点名 湯の湖 Y-3	調査月日							
種名	4/15	5/11	6/15	7/12	8/10	9/7	10/13	11/9
原生動物								
<i>Diffugia</i> sp.		2,343	390			1,562		
<i>Arcella</i> sp.	260						390	195
<i>Euglypha</i> sp.	3,385						2,734	
<i>Tintinnidium</i> sp.								
<i>Tintinnopsis</i> sp.	39,322				91,406	21,093	4,296	
<i>Vorticella</i> sp.					390			
輪虫類								
<i>Synchaeta</i> sp.	166,145	43,750	4,687	1,171	134,375	34,765	7,421	
<i>Polyarthra</i> sp.	35,416	468,750	25,000		15,234	32,031	4,687	
<i>Trichocerca</i> sp.					390	390		
<i>Asplanchna</i> sp.	1,302	2,343	390		781	1,953	7,031	585
<i>Brachionus</i> sp.	260				390			
<i>Keratella cochlearis</i>	3,385	16,406	2,343		1,562	23,437	1,953	195
<i>Keratella quadrata</i>	2,343	14,843	16,796	59,765	1,171	2,343	1,562	1,953
<i>Lepadella</i> sp.	1,562	1,562						
<i>Monostyla</i> sp.	4,166							
<i>Filinia longisetata</i>	1,822	9,375	7,421			6,640	3,906	8,789
<i>Monostyla</i> sp.	520							
<i>Notholca</i> sp.						390		
<i>Colurella</i> sp.					781			
枝角類								
<i>Daphnia longispina</i>					6,250	19,140	4,687	3,906
<i>Bosmina longilostris</i>	3,906	34,375	95,703	327,734	238,281	168,359	86,718	51,367
<i>Chydorus</i> sp.	260	781	1,953		1,953			
橈脚類								
<i>Acanthodiaptomus pacificus</i>								390
<i>Cyclops</i> sp.						2,734		
Copepodid期幼生	1,041	3,906	2,734	19,140	1,562	1,172	5,468	11,132
Nauplius期幼生	11,197	28,906	7,031	4,687	2,734	11,328	8,984	24,804
種類数	17	12	11	5	15	15	13	10
個体数 (個体/m ³)	276,292	627,340	164,448	422,497	497,260	327,337	139,837	103,316

地点名 湯の湖 Y-5	調査月日							
種名	4/15	5/11	6/15	7/12	8/10	9/7	10/13	11/9
原生動物								
<i>Diffugia</i> sp.	208	9,375						
<i>Arcella</i> sp.	208							
<i>Centropyxis</i> sp.								208
<i>Euglypha</i> sp.	2,083							
<i>Tintinnidium</i> sp.		1,875			85,625			
<i>Tintinnopsis</i> sp.					312	32812		
<i>Vorticella</i> sp.	10,625							
輪虫類								
<i>Rotaria</i> sp.	208			312				
<i>Synchaeta</i> sp.	114,791	2,500	1,875	625	78,125	6,562	312	
<i>Polyarthra</i> sp.	19,375	1,048,125	3,437	937	17,500	17,812	781	208
<i>Trichocerca</i> sp.	208		937			312		
<i>Asplanchna</i> sp.	208				937	937	1,718	208
<i>Brachionus</i> sp.	208							
<i>Keratella cochlearis</i>	3,125	27,500	5,937	625	5,000	34,687	937	208
<i>Keratella quadrata</i>	833	22,500	35,000	167,187	9,687	1,250	5,000	1,041
<i>Lepadella</i> sp.	208							
<i>Monostyla</i> sp.	208				937			
<i>Filinia longiseta</i>	833		12,812		9,062	565,625	1,406	2,916
<i>Tetramastix</i> sp.	208							
<i>Testudinella</i> sp.						312		
<i>Pompholyx</i> sp.	1,250							
枝角類								
<i>Daphnia longispina</i>		625	2,500	1,562	13,437	45,937	35,000	2,083
<i>Bosmina longilobis</i>	1,875	51,250	144,687	63,125	65,625	69,687	58,750	48,333
<i>Chydorus</i> sp.		5,000	3,750					
橈脚類								
<i>Acanthodiaptomus pacificus</i>				3,750	312	1,562	625	
<i>Cyclops</i> sp.					312			
Copepodid期幼生	1,041	10,000	7,812	21,250	8,750	5,312	2,968	3,958
Nauplius期幼生	5,625	34,375	5,312	2,187	6,250	17,187	2,343	12,291
種類数	20	11	11	10	15	14	11	10
個体数(個体/m³)	163,328	1,213,125	224,059	261,560	301,871	799,994	109,840	71,454

第5章 水生生物の調査

1 調査目的	422
2 調査方法	422
(1) 調査地点及び調査時期	422
(2) 調査内容	425
ア 採取及び計数	
イ 水質階級の評価方法	
3 調査結果	427
4 前回（平成8年度）調査結果との比較	436
5 まとめ	437
参考文献	438
植物分布状況調査	477

1 調査目的

県内主要河川について、水生生物の生息状況を調査し、水質環境を生物学的に判定することにより、生物学的観点から水質を継続的に監視することを目的とする。平成11年度は、那珂川水系の河川を調査した。(一部渡良瀬川水系等を含む)

2 調査方法

(1) 調査地点及び調査時期

調査地点は、那珂川水系の環境基準地点及び補助地点の14河川37地点、渡良瀬川水系の4河川7地点、その他の水系の1河川1地点とした。

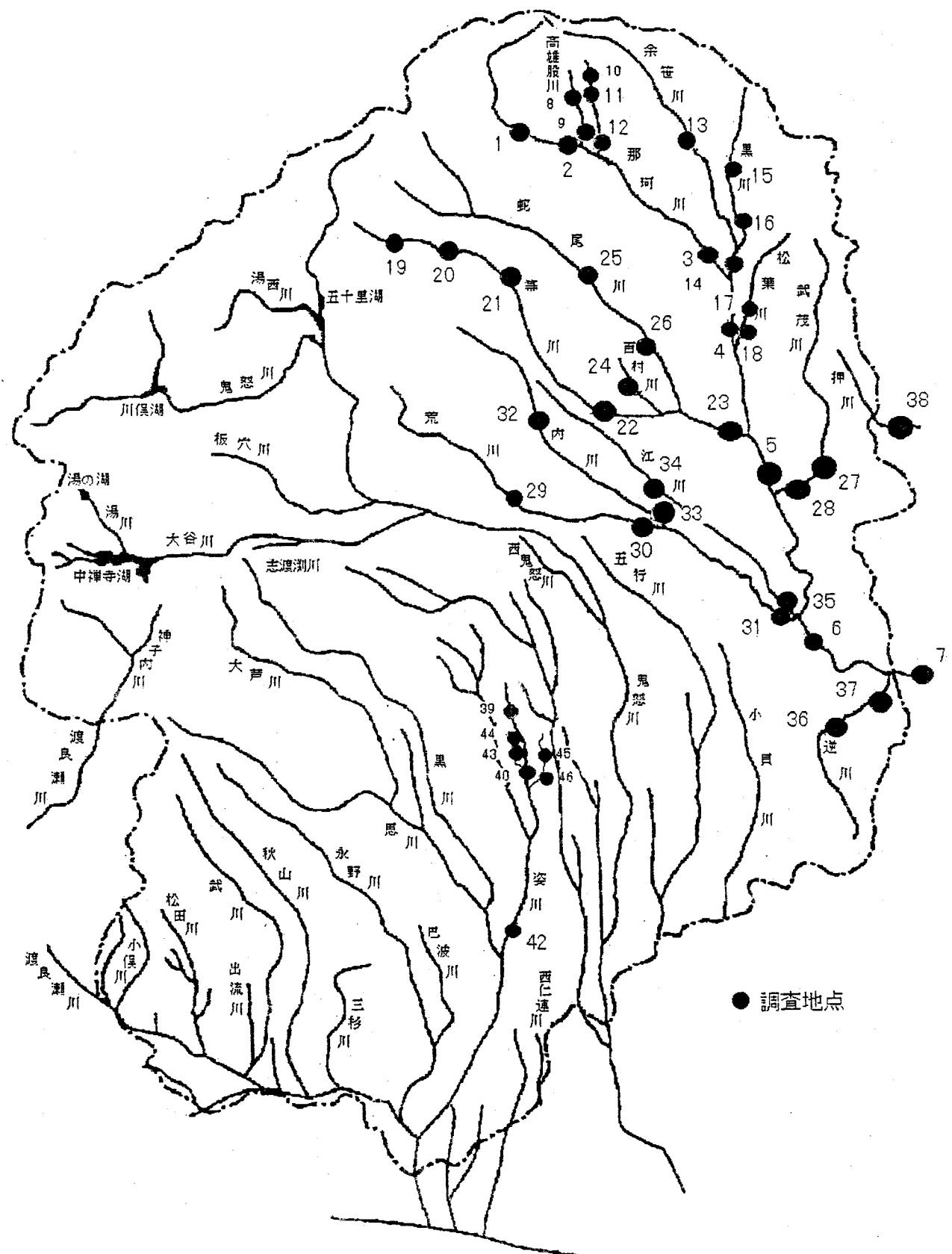
調査地点を表-1及び図-1に示す。

調査時期は、那珂川の2地点(新那珂橋・野口)については、平成11年5月、8月、11月、平成12年2月の4回、その他の地点については、平成11年5月、11月の2回とした。

表-1 調査地点一覧

No.	河川名	調査地点	所在地	環境基準 類型指定
1	那珂川	幾世橋下	黒磯市	A A-イ
2		恒明橋	黒磯市	A A-イ
3		昭明橋	黒磯市	A-イ
4		黒羽	黒羽町	A-イ
5		新那珂橋	小川町	A-イ
6		川堀	烏山町	A-イ
7		野口	茨城県御前山村	A-イ
8	高雄股川	中流(高尾橋)	那須町	-
9		高雄股橋	那須町	A-イ
10	湯川	上流	那須町	-
11		一軒茶屋	那須町	A-イ
12		湯川橋	那須町	A-イ
13	余笠川	中流(余笠橋)	那須町	A-イ
14		川田橋	黒羽町	A-イ
15	黒川	中流(大塩橋)	那須町	-
16		新田橋	那須町	A-イ
17	松葉川	上高橋	黒羽町	A-イ
18		末流	黒羽町	A-イ
19	筍川	温泉街上流	塙原町	-
20		夕の原	塙原町	A-イ
21		堰場橋	塙原町	A-イ
22		岩井橋	大田原市	A-イ
23		筍川橋	湯津上村	A-イ
24	百村川	百村中橋	大田原市	-
25	蛇尾川	中流(蛇尾橋)	大田原市	A-イ
26		宇田川橋	大田原市	A-イ
27	武茂川	太郎橋	馬頭町	A-イ
28		更生橋	馬頭町	A-イ
29	荒川	桜橋	塙谷町	A-イ
30		連城橋	喜連川町	A-イ
31		向田橋	烏山町	A-イ
32	内川	田中橋	矢板市	A-イ
33		旭橋	喜連川町	A-イ
34	江川	中流(鹿子畠橋)	喜連川町	-
35		末流	烏山町	A-イ
36	逆川	十石橋	茂木町	A-イ
37		末流	茂木町	A-イ
38	押川	越地橋	茨城県大子町	A-イ
39	姿川	こじじ橋	宇都宮市	B-イ
40		鹿沼街道	宇都宮市	B-イ
42		宮前橋	宇都宮市	B-イ
43	赤川	高速道下	宇都宮市	-
44	鎧川	能満寺西	宇都宮市	B-イ
45	新川	中央女子校西	宇都宮市	-
46		南町西	宇都宮市	-

38)その他の水系、39)~46)渡良瀬川水系、41)姿川・姿川橋は未実施地点



図一 調査地図

(2) 調査内容

ア 採取及び計測

水生生物の採取は、次の条件を満たす様な場所において、30cm×30cmのコドラー（方形枠）のついたサーバーネット（N G G 40号）を用い、各2回行った。

- ① 水深30cm～50cmで岸から少し離れた場所
- ② こぶし大から頭大の石礫の多い場所
- ③ 流速が50cm/sec前後の場所

採取した試料は約5%のホルマリン溶液で固定して試験室に持ち帰り、種の同定及び個体数の計測を行った。^{1), 2)}

イ 水質階級の評価方法

水生生物の調査結果に基づく水質の評価は、生物指數法（Biotic Index β 法）、優占種法及びZelinka-Marvan法を用い、その中で最も多いたる水質階級をその地点の評価とし、各調査月の評価結果をもとに総合評価を行った。なお、各調査時の評価結果にばらつきが生じた場合は、さらに多様性指數と汚濁比を考慮して総合評価を行った。それぞれの評価法は以下のとおりである。

① 生物指數（Biotic Index）法（以下「B I 法」という。）

非汚濁耐性種をA、汚濁耐性種をB、不明の種類をCとして（2A+B+C）の数値を計算し、表-2に従って汚濁の階級づけをする。

② 優占種法

出現種のうち、個体数の多い上位約三種類を選び、その中で最も多いたる指標生物の水質階級をその地点の水質階級とする。代表的な指標生物を表-2に示した。

表-2 生物指數と水質階級及び代表的な指標生物の関係

生物指數	水 質 階 級	代 表 的 な 指 標 生 物
30 以上	き れ い o s	エルモンヒラタカゲロウ、ヒゲナガカワトビケラ、フユ属
15 ~ 29	少し汚れている β m s	アカマダラカゲロウ、コガタシマトビケラ
6 ~ 14	き た な い α m s	サホロカゲロウ、ヒメユスリカ類、ヒル類
0 ~ 5	大 変 き た ない p s	貧毛類、オオユスリカ類

③ Zelinka-Marvan法（以下「Z-M法」という。）

Z-M法による判定は、次の計算法による。

$$\text{評価平均} = \Sigma (a h g) / \Sigma (h g)$$

a : ザプロビ値

h : 個体数

g : インディケータ値

各水質階級について評価平均を求め、評価平均の最も高い階級をその地点の水質階級とする。

なお、各水生生物の水質階級、汚濁耐忍性、ザプロビ値及びインディケータ値は、御勢の報告³⁾に従った。

④ 多様性指数 (Diversity Index)

貧腐水性水域では種類数が多く、汚濁が進行するにつれて種類数が少なくなる。つまり、汚濁の進行に伴い生物相の多様性が低下する。この現象を数値化したものが多様性指数（以下「D I」という）である。その代表的なものとして、次のものを挙げる。

Shannon and Weaver (S-W) の D I

$$D I = - \sum \{ (n_i / N) \times \log (n_i / N) \}$$

Simpsonの D I

$$D I = 1 - \sum (n_i / N)^2$$

n_i : 各種類の個体数

N : 全個体数

多様性が高いほど、S-WのD Iは高くなり、SimpsonのD Iは1に近づく。一方、多様性が低くなるほど、S-WのD I、SimpsonのD Iとも0に近づく。

⑤ 汚濁比

汚濁耐性種の個体数が全個体数の中で占める割合をいう。

3. 調査結果

各調査地点の水質評価（表-3）より判断された地点毎の総合評価は以下のとおりである。また、水質階級地図を図-2、各調査地点における水性生物の計数結果及び各評価法の計算結果を付表に示す。

No	河川名（地点名）	総合評価	コメント
1	那珂川（幾世橋下）	o s	5、11月とも各評価法でo sであったので、各月の評価及び総合評価はo sとした。
2	那珂川（恒明橋）	o s	5、11月とも各評価法でo sであったので、各月の評価及び総合評価はo sとした。
3	那珂川（昭明橋）	o s	5月はB I法でo s、優占種法で α m s、Z-M法ではp sであったので汚濁比を慮して、評価は α m sとした。 11月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 各月の評価が分かれたので、調査時の状況を考慮して総合評価はo sとした。
4	那珂川（黒羽）	o s	5、11月とも各評価法でo sであったので、各月の評価及び総合評価はo sとした。
5	那珂川（新那珂橋）	o s	8月は優占種法で α m s、B I法とZ-M法ではo sと分かれたので、汚濁比を考慮して、評価は β m sとした。5、11、2月は、各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 評価が分かれたが、各評価法においてo sの評価が多いことから、総合評価はo sした。
6	那珂川（川堀）	o s	5、11月とも各評価法でo sであったので、各月の評価及び総合評価はo sとした。

No	河川名（地点名）	総合評価	コメント
7	那珂川(野口)	o s	5月は優占種法でp sであったが、B I法とZ-M法ではo sであったので、評価o sとした。 8月は優占種法で α m s、B I法とZ-M法ではo sであったが汚濁比を考慮して値は β m sとした 11月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 2月は優占種法でo s~ β m sであり、B I法とZ-M法ではo sであったので、評価はo sとした 従って総合評価はo sとした。
8	高雄股川(中流)	o s	5、11月とも各評価法でo sであったので、各月の評価及び総合評価はo sとした。
9	高雄股川(高雄股橋)	o s	5月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 11月は、優占種法では出現個体数が少なく優占種が無いため判定不能とされたが、B I法とZ-M法ではo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。
10	湯川(上流)	o s	5月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 11月はB I法で β m s、優占種法とZ-M法でo sであったので、評価はo sとした。 従って総合評価はo sとした。

No	河川名（地点名）	総合評価	コメント
11	湯川（一軒茶屋）	o s	5月はB I法で α m s、優占種法では水質階級を特定できず判定不能、Z - M法でo sと分かれたので多様性指数を考慮して評価は β m sとした。 11月はB I法で α m s、優占種法とZ - M法でo sであったので評価はo sとした。 各月の評価が分かれたので、多様性指数や汚濁比を考慮して総合評価はo sとした
12	湯川（湯川橋）	o s	5月は各評価法でo sであったので、全体的な評価はo sとした。 11月はZ - M法でo s、B I法と優占種法で β m sであったので、評価は β m sとした。 各月の評価が分かれたので、多様性指数や汚濁比を考慮して総合評価はo sとした
13	余笠川（中流）	o s	5月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。11月は優占種法で β m s、B I法とZ - M法でo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。
14	余笠川（川田橋）	o s	5月はB I法で β m s、優占種法とZ - M法でo sであったので、評価はo sとした。 11月は、優占種法でo s～ β m s、B I法とZ - M法でo sであったので、評価o sとした。 従って、総合評価はo sとした。
15	黒川（大塩橋）	o s	5月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 11月は、優占種法でo s～ β m s、B I法とZ - M法でo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。

No	河川名（地点名）	総合評価	コメント
16	黒川（新田橋）	o s	5、11月とも、優占種法でo s～β m s、B I法とZ-M法でo sであったので評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。
17	松葉川（上高橋）	o s	5月は優占種法ではo s～β m s、B I法とZ-M法ではo sであったので、評価o sとした。 11月は優占種法でβ m s、B I法とZ-M法でo sであったので、評価はo sとした。 従って総合評価はo sとした。
18	松葉川（末流）	o s	5月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 11月はB I法でo s、優占種法でβ m s、Z-M法でo s～β m sと分かれたの評価はβ m sとした。 各月の評価が分かれたので、多様性や指數や汚濁比も考慮して総合評価はo sとした。
19	筍川（温泉街上流）	o s	5月は、優占種法でo s～β m s、B I法とZ-M法でo sであったので評価はo sとした。 11月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。
20	筍川（夕の原）	o s	5月は、優占種法でβ m s、B I法とZ-M法でo sであったので評価はo sとした。 11月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。

No	河川名（地点名）	総合評価	コメント
21	籌川（堰場橋）	o s	5月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 11月は、優占種法でo s～ β m s、B I法とZ-M法でo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。
22	籌川（岩井橋）	o s	5月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 11月は、優占種法でo s～ β m s、B I法とZ-M法でo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。
23	籌川（筹川橋）	o s	5月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 11月は、優占種法でo s～ β m s、B I法とZ-M法でo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。
24	百村川（百村中橋）	o s	5、11月とも各評価法でo sであったので、各月の評価及び総合評価はo sとし
25	尾川（蛇尾橋）	o s	5、11月とも各評価法でo sであったので、各月の評価及び総合評価はo sとした。
26	尾川（宇田川橋）	o s	5月は、優占種法でo s～ β m s、B I法とZ-M法でo sであったので評価はo sとした。 11月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。

No	河川名（地点名）	総合評価	コメント
27	茂川（太郎橋）	o s	5月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 11月は、優占種法で β m s、B I 法とZ - M 法ではo sであったので、評価はo sとした。 従って総合評価はo sとした。
28	茂川（更生橋）	o s	5月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 11月は、優占種法で β m s、B I 法とZ - M 法でo sであったので、評価はo sとした。 従って総合評価はo sとした。
29	荒川（梶橋）	o s	5月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 11月は、優占種法でo s～ β m s、B I 法とZ - M 法でo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。
30	荒川（連城橋）	o s	5月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 11月は、優占種法で β m s、B I 法とZ - M 法でo sと評価であったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。
31	荒川（向田橋）	o s	5、11月とも、優占種法で β m s、B I 法とZ - M 法でo sであったので、各月の評価及び総合評価はo sとした。
32	内川（田中橋）	o s	5、11月ともに、各評価法でo sであったで、各月の評価及び総合評価はo sとした。

No	河川名（地点名）	総合評価	コメント
33	内川（旭橋）	o s	5、11月とも、優占種法で β m s、B I 法とZ-M法でo sであったので、各月の評価及び総合評価はo sとした。
34	江川（鹿子畠橋）	β m s	5月は、B I 法で β m s、優占種法では優占種が特定できず判定不能、Z-M法でo sと分かれたので評価はo s～ β m sとした。 11月はB I 法でo s、優占種法とZ-M法はo s～ β m sであったので、評価はo s～ β m sとした。 各月ともo s～ β m sと評価されたが、多様性指数や汚濁比を考慮して総合評価は β m sとした。
35	江川（末流）	o s	5月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 11月は、優占種法でo s～ β m s、B I 法とZ-M法でo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。
36	逆川（十石橋）	β m s	5月は、Z-M法でo s、B I 法と優占種法で β m sであったので、評価は β m sとした。 11月は、各評価法で α m sであったので評価は α m sとした。 各月の評価が分かれたので、出現個体数等を考慮して総合評価は β m sとした。
37	逆川（末流）	o s	5月はB I 法とZ-M法でo s、優占種法で β m sであったので、評価はo sとした。 11月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。

No	河川名（地点名）	総合評価	コメント
38	押川（越地橋）	o s	5月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 11月は、優占種法で β m s、B I法とZ-M法でo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。
39	姿川（こしじ橋）	o s	5月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 11月は、優占種法で β m s、B I法とZ-M法でo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。
40	姿川（鹿沼街道）	o s	5月はB I法で β m s、優占種法とZ-M法でo sであったので、評価はo sとした。 11月は、優占種法で β m s、B I法とZ-M法でo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。
42	姿川（宮前橋）	o s	5月はB I法で β m s、優占種法とZ-M法でo sであったので、評価はo sとした。 11月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。
43	赤川（高速道下）	o s	5月は各評価法でo sであったので、評価はo sとした。 11月は、優占種法で β m s、B I法とZ-M法でo sであったので、評価はo sとした。 従って、総合評価はo sとした。

No	河川名（地点名）	総合評価	コメント
44	鎧川（能満寺西）	β m s	<p>5月はB I法でβ m s、優占種法とZ - M法でo sであったので、評価はo sとした。</p> <p>11月はB I法でo s、優占種法とZ - M法でβ m sであったので、評価はβ m sとした。</p> <p>各月の評価が分かれたので、多様性指数及び出現個体数を考慮して総合評価はβ m sとした。</p>
45	新川（中央女子校西）	p s	<p>5月はB I法でα m s、優占種法とZ - M法でp sであったので、評価はp sとした。</p> <p>11月はB I法でβ m s、優占種法でα m s、Z - M法でp sと分かれたので、評価は中間のα m sとした。</p> <p>各月の評価が分かれたので、多様性指数及び汚濁比を考慮して総合評価はp sとした。</p>
46	新川（南町西）	α m s	5、11月ともB I法で β m s、優占種法とZ - M法で α m sであったので、各月の評価及び総合評価は α m sとした。

4 前回（平成8年度）調査結果との比較

前回の調査地点である環境基準地点の14河川16地点について、今回の調査結果との比較を表-4に、過去5回の調査における水質階級の地点数を表-5に、前回との水質階級評価の比較を表-6に示す。

2) 那珂川 恒明橋

総合評価は○Sで前回と同じであった。

生物相に大きな変化は見られず、多様性は前回と同程度であった。

5) 那珂川 新那珂橋

総合評価は○Sで前回と同じであった。

生物相の多様性は前回と同程度であったが、5月は○Sの指標生物の出現割合が減少し、P Sの出現割合が増加した。

7) 那珂川 野口

総合評価は○Sで前回と同じであった。

生物相の多様性は前回と同程度であったが、○Sの指標生物の出現割合が減少し、5月はαmS及びP S; 11月はβmSの割合が増加した。

9) 高雄股川 高雄股橋

総合評価は○Sで前回と同じであった。

前回に比べ、生物相の多様性はやや低くなり、5月は○Sの指標生物の出現割合が増加した。

12) 湯川 湯川橋

総合評価は○Sで前回と同じであった。

生物相の多様性に大きな変化は見られなかった。

14) 余笠川 川田橋

総合評価は○Sで前回と同じであった。

前回に比べ5月は出現種類数及び個体数が減少し、○Sの指標生物の出現割合が増加しβmSの割合は減少した。

16) 黒川 新田橋

総合評価は○Sで前回と同じであった。

前回に比べ出現種類数が減少し、βmSの指標生物の出現割合が増加し、○Sの割合が減少した。

18) 松葉川 末流

総合評価は○Sで前回と同じであった。

前回に比べ5月は○Sの指標生物の出現割合が増加し、βmSの割合が減少したのに対し、11月は反対にβmSの出現割合が増加し、○Sの割合が減少して多様性が低くなった。

23) 篠川 篠川橋

総合評価は○Sで前回と同じであった。

生物相の多様性は前回より若干低くなり、11月はβmSの指標生物の出現割合が増加し、○Sの割合が減少した。

26) 蛇尾川 宇田川橋

総合評価は○Sで前回と同じであった。

生物相の多様性は前回よりやや低くなり、5月は○Sの指標生物の出現割合が増加し、 β mSの割合が減少した。

28) 武茂川 更正橋

総合評価は○Sで前回と同じであった。

生物相に大きな変化は見られず、多様性も前回と同程度であった。

31) 荒川 向田橋

総合評価は○Sで前回と同じであった。

前回に比べ出現種類数がやや低くなつたが、生物相に大きな変化は見られなかつた。

33) 内川 旭橋

総合評価は○Sで前回と同じであった。

前回に比べ3月は○Sの指標生物の出現割合が増加し、 β mSの割合が減少した。

35) 江川 末流

総合評価は○Sで前回と同じであった。

生物相に大きな変化は見られず、多様性も前回と同程度であった。

37) 逆川 末流

総合評価は○Sで前回と同じであった。

前回に比べ11月は、○S及び β mSの指標生物の出現割合が増加し、 α mS及びpSの割合が減少した。

38) 押川 越路橋

総合評価は○Sで前回と同じであった。

前回に比べ、5月は○S及び β mSの指標生物の出現割合が増加した。11月は β mSの出現割合が増加し、○Sの割合は減少した。多様性は前回と同程度であった。

5まとめ

今回の調査地点45地点のうち、○Sと評価されたのは40地点(89%)、 β mSが3地点(7%)、 α mSとpSがそれぞれ1地点(2%)であった。ただし、 α mSとpSの地点はすべて渡良瀬川水系及びその他の水系げあり、那珂川水系に限ると○Sでなかつたのは37地点のうち β mSの2地点のみであつた。

各地点の評価とBOD(年平均値)を比較すると、江川末流と逆川十石橋のように評価とBOD値が反対の関係となっている地点も見られたが、ほとんどの地点は評価が○S、BODは1mg/l前後であった。

今回の調査と前回調査との水質階級評価の比較を表-6に示す。前回(平成8年度)調査した16地点はすべて評価が○Sであり、今回も変化はなかつた。

BOD値については、39地点中31地点が前回調査時より悪化し、同程度若しくは良好になったのは8地点であった。このうち那珂川水系に限ると、31地点のうち28地点が悪化し、3地点が同程度若しくは

良好になった。

以上のことから、那珂川水系の水質は、水質階級評価では良好な状態を維持しているが、やや悪化の兆しが見られるといえる。

参考文献

- 1) 河合禎次、日本産水生昆虫検索図説、東海大学出版会（1985）
- 2) 津田松苗、水生昆虫学、北隆館（1974）
- 3) 御勢久衛門、自然水域における肉眼的底生動物の環境指標性について
（「環境科学」研究報告書、B-121-R12-10 実験水路による環境指標性の研究）
- 4) 栃木県生活環境部、栃木県水質年表（平成8年度）

表-3 各調査地点の水質評価一覧表（その1）

調査地点	月/日	Biotic-Index(β)	優占種法	Zelinka-Marvan法	多様性指数		汚濁比(%)	評価	総合評価	優占種
					S-W	Simpson				
那珂川 幾世橋下	5/21	os (51)	os	os	1.01	0.85	7.5	os	os	ブユ科(os), エリスリカ類(os), フタバコケロウ(os), ヒメヒラタカケロウ(os)
	11/1	os (47)	os	os	1.09	0.86	0.4	os		ウルマシマトビケラ(os), コケロウ属(os), フタマタダラカケロウ(os)
那珂川 恒明橋	5/21	os (51)	os	os	1.06	0.87	22.0	os	os	エリスリカ類(os), ヒメスリカ類(αms), フタバコケロウ(os), ヒメフタオカケロウ属(os), エリモヒラタカケロウ(os)
	11/1	os (66)	os	os	1.39	0.94	13.3	os		ウルマシマトビケラ(os), ヒメヒラタカケロウ(os), シマトビケラ科,
那珂川 昭明橋	5/21	os (35)	αms	ps	0.94	0.84	58.9	αms	os	オオスリカ類(ps), エリスリカ類(os), トミズ科(ps), ヒメスリカ類(αms)
	11/1	os (42)	os	os	1.13	0.90	20.7	os		エリスリカ類(os), ガレリスリカ類(os), エリモヒラタカケロウ(os)
那珂川 黒羽	5/24	-os (59)	os	os	1.05	0.87	24.8	os	os	コケロウ属(os), フタバコケロウ(os), オオスリカ類(ps), エリスリカ類(os)
	11/4	os (42)	os	os	1.00	0.81	12.8	os		ウルマシマトビケラ(os), フタバコケロウ(os), ヒメスリカ類(αms), チラカケロウ(os)
那珂川 新那珂橋	5/10	os (44)	os	os	0.97	0.84	17.3	os	os	コケロウ属(os), 貧毛類(ps)
	8/12	os (35)	αms	os	0.83	0.81	53.1	βms		ヒメスリカ類(αms), オオスリカ類(ps), エリスリカ類(os), コケロウ属(os)
	11/15	os (60)	os	os	1.10	0.88	21.9	os		チラカケロウ(os), ウルマシマトビケラ(os), コケタシマトビケラ(βms)
	2/16	os (41)	os		1.07	0.88	27.7	os		エリスリカ類(os), コケタシマトビケラ(βms), ウルマシマトビケラ(os) ウツバヒメカガツ属(os)
那珂川 堀	5/24	os (48)	os	os	1.04	0.85	4.3	os	os	フタバコケロウ(os), ウルマシマトビケラ(os), エリスリカ類(os)
	11/8	os (43)	os	os	1.02	0.85	14.9	os		ウルマシマトビケラ(os), チラカケロウ(os), コケタシマトビケラ(βms)
那珂川 野口	5/10	os (38)	ps	os	0.97	0.85	11.1	os	os	貧毛類(ps), ジンマタラカケロウ(os), コケロウ属(os)
	8/12	os (47)	αms	os	0.93	0.79	67.2	βms		ヒメスリカ類(αms), オオスリカ類(ps), コケロウ属(os)
	11/15	os (46)	os	os	1.13	0.88	20.9	os		チラカケロウ(os), シタニガタカケロウ(os), コケタシマトビケラ(βms)
	2/15	os (58)	os~ βms	os	1.11	0.89	39.6	os		エリスリカ類(os), ヒメスリカ類(αms) コケタシマトビケラ(βms), ウルマシマトビケラ(os), チラカケロウ(os)

表-3 各調査地点の水質評価一覧表（その2）

調査地点	月/日	Biotic-Index(β)	優占種法	Zelinka-Marvan法	多様性指数		汚濁比(%)	評価	総合評価	優占種
					S-W	Simpson				
高雄股川中流 (高尾橋)	5/21	os (57)	os	os	0.97	0.78	0.0	os	os	コカゲウ属(os), エリカ科(os~ αms), ミヤマニガワカゲウ(os), フサオナシカケラ属(os) トウヨウマグラカゲウ(os), オオマダラカゲウ(os), コカツツビケラ(os), ヒゲナガカワトビケラ(os)
	11/1	os (51)	os	os	1.21	0.90	7.5	os		
高雄股川 高雄股橋	5/9	os (58)	os	os	1.13	0.87	1.7	os	os	コカゲウ属(os), エリカ科(os~ αms), エリモンヒラタカゲウ(os) コカゲウ属(os), ヒメエリカ類(αms) *1
	11/1	os (40)	判定不能	os	1.27	0.92	18.8	os		
湯川上流	5/21	os (47)	os	os	1.28	0.91	0.8	os	os	エリカ科(os~ αms), ヒメタオカゲウ属(os), フタバコカゲウ(os) エリエリカ類(os), ヒメエリカ類(αms), ヤマトビケラ属(os)
	11/1	βms (26)	os	os	0.74	0.71	23.2	os		
湯川 一軒茶屋	5/21	αms (9)	判定不能	os	0.46	0.51	11.8	βms	os	ヌカ科 エリエリカ類(os)
	11/1	αms (14)	os	os	0.56	0.59	0.7	os		
湯川 湯川橋	5/21	os (43)	os	os	0.85	0.73	7.6	os	os	コカゲウ属(os), ナガレエリカ類(os), ブユ科(os), エリエリカ類(os) コガタシマトビケラ(βms), コカゲウ属(os), ウルマーシマトビケラ(os)
	11/1	βms (26)	βms	os	0.64	0.69	46.1	βms		
余笠川中流 (余笠橋)	5/21	os (47)	os	os	1.00	0.85	3.7	os	os	フタバコカゲウ(os), ブユ科(os), コカゲウ属(os) コガタシマトビケラ(βms), ウルマーシマトビケラ(os), アカマダラカゲウ(βms)
	11/1	os (78)	βms	os	0.91	0.77	52.2	os		
余笠川 川田橋	5/21	βms (25)	os	os	0.90	0.82	8.3	os	os	ブユ科(os), フタバコカゲウ(os), コカゲウ属(os) コガタシマトビケラ(βms), エリエリカ類(os), ウルマーシマトビケラ(os)
	11/1	os (48)	os ~ βms	os	1.01	0.84	31.1	os		

*1：優占して出現した出現種が無いため出現種数の多い順に2種列記した。

表-3 各調査地点の水質評価一覧表（その3）

調査地点	月/日	Biotic-Index(β)	優占種法	Zelinka-Marvan法	多様性指数		汚濁比(%)	評価	総合評価	優占種
					S-W	Simpson				
黒川 中流 (大塩橋)	5/21	os (45)	os	os	1.10	0.88	6.9	os	os	コカゲウツウ属(os), エリスリカ類(os), フタバコカゲウツウ(os)
	11/1	os (34)	os ~ β ms	os	0.92	0.80	39.0	os		コカゲタシマトビツケラ(β ms), ウルマーシマトビツケラ(os), コカゲウツウ属(os)
黒川 新田橋	5/21	os (41)	os ~ β ms	os	1.07	0.88	33.1	os	os	エリスリカ類(os), コカゲタシマトビツケラ(β ms), ウスバヒメガカソボ属(os), アカマダラカゲウツウ(β ms)
	11/1	os (30)	os ~ β ms	os	0.92	0.81	32.9	os		コカゲタシマトビツケラ(β ms), エスリカ科(os~ α ms), シロクニガワカゲウツウ(os), ウスバヒメガカソボ属(os)
松葉川 上高橋	5/24	os (52)	os ~ β ms	os	1.20	0.91	25.2	os	os	ウスバヒメガカソボ属(os), ヒメスリカ類(α ms), ウルマーシマトビツケラ(os), ヒメタオカゲウツウ属(os)
	11/4	os (39)	β ms	os	0.85	0.78	53.2	os		コカゲタシマトビツケラ(β ms), ウルマーシマトビツケラ(os), ヒメスリカ類(α ms), コカゲウツウ属(os)
松葉川 末流	5/24	os (47)	os	os	1.03	0.87	19.5	os	os	エリスリカ類(os), コカゲウツウ属(os), ナガレエスリカ類(os), ヒメスリカ類(α ms)
	11/4	os (39)	β ms	os ~ β ms	0.77	0.69	63.2	β ms		コカゲタシマトビツケラ(β ms), エリスリカ類(os), アカマダラカゲウツウ(β ms)
第川 温泉街上流	5/21	os (64)	os ~ β ms	os	1.02	0.85	30.9	os	os	トミミズ科(ps), エリスリカ類(os), コカゲウツウ属(os), フタバコカゲウツウ属(os)
	11/2	os (57)	os	os	1.07	0.87	20.0	os		ウルマーシマトビツケラ(os), エルモシヒラタカゲウツウ(os), コカゲウツウ属(os)
第川 夕の原	5/21	os (59)	β ms	os	0.98	0.82	45.1	os	os	ヒメスリカ類(α ms), コカゲウツウ属(os), クシグマダラカゲウツウ(os), フタバコカゲウツウ(os)
	11/2	os (48)	os	os	0.47	0.40	1.3	os		ウルマーシマトビツケラ(os), コカゲウツウ属(os)
第川 堰場橋	5/21	os (45)	os	os	0.75	0.64	16.3	os	os	エリスリカ類(os), ヒメスリカ類(α ms), ウスバヒメガカソボ属(os)
	11/2	os (64)	os ~ β ms	os	1.17	0.90	43.9	os		ウルマーシマトビツケラ(os), ヒメスリカ類(α ms), エリスリカ類(os)

表-3 各調査地点の水質評価一覧表（その4）

調査地点	月/日	Biotic-Index(β)	優占種法	Zelinka-Marvan法	多様性指数		汚濁比(%)	評価	総合評価	優占種
					S-W	Simpson				
第川 岩井橋	5/24	os (43)	os	os	0.87	0.80	2.1	os	os	フタバコカケウロウ(os), フユ科(os), ヒメタオカケウロウ属(os), エリユスリカ類(os)
	11/2	os (49)	os ~ β ms	os	1.18	0.91	37.9	os		シロタニガワカケウロウ(os), コガタシマトビケラ(β ms), ウルマシマトビケラ(os), アカマダラカケウロウ(β ms)
第川 第川橋	5/24	os (43)	os	os	1.12	0.90	18.5	os	os	クシケマダラカケウロウ(os), ヒゲナガカワトビケラ(os), アカマダラカケウロウ(β ms)
	11/4	os (39)	os ~ β ms	os	0.91	0.79	43.7	os		コガタシマトビケラ(β ms), ウルマシマトビケラ(os), ヒゲナガカワトビケラ(os)
百村川 百村中橋	5/24	os (44)	os	os	0.95	0.82	29.6	os	os	ヒゲナガカワトビケラ(os), コカケウロウ属(os), アカマダラカケウロウ(β ms), ミズムシ(α ms)
	11/4	os (43)	os	os	1.03	0.86	11.0	os		ヒゲナガカワトビケラ(os), コカケウロウ属(os), ウルマシマトビケラ(os)
蛇尾川 中流 (蛇尾橋)	5/24	os (46)	os	os	0.92	0.80	4.7	os	os	ヒメタオカケウロウ属(os), ウルマシマトビケラ(os), エリユスリカ類(os), ヒゲナガカワトビケラ(os)
	11/1	os (36)	os	os	0.69	0.63	14.8	os		ウルマシマトビケラ(os), コカケウロウ属(os), コガタシマトビケラ(β ms)
蛇尾川 宇田川橋	5/24	os (38)	os ~ β ms	os	0.92	0.83	15.8	os	os	コカケウロウ属(os), イトミズ科(ps), ウスバヒメカガシボ属(os)
	11/4	os (40)	os	os	0.83	0.74	8.0	os		ウルマシマトビケラ(os), コカケウロウ属(os), ヒゲナガカワトビケラ(os)
武茂川 太郎橋	5/24	os (59)	os	os	1.10	0.87	31.5	os	os	クシケマダラカケウロウ(os), アカマダラカケウロウ(β ms), ウスバヒメカガシボ属(os), コカケウロウ属(os)
	11/4	os (61)	β ms	os	1.03	0.85	45.8	os		コガタシマトビケラ(β ms), アカマダラカケウロウ(β ms), ウルマシマトビケラ(os)
武茂川 更生橋	5/24	os (52)	os	os	1.13	0.90	11.6	os	os	エリユスリカ類(os), ウルマシマトビケラ(os), エルモンヒラタカケウロウ(os), ヒゲナガカワトビケラ(os)
	11/8	os (54)	β ms	os	1.04	0.86	52.2	os		コガタシマトビケラ(β ms), アカマダラカケウロウ(β ms), エルモンヒラタカケウロウ(os)

表-3 各調査地点の水質評価一覧表（その5）

調査地点	月/日	Biotic-Index(β)	優占種法	Zelinka-Marvan法	多様性指数		汚濁比(%)	評価	総合評価	優占種
					S-W	Simpson				
荒川橋	5/21	o s (65)	o s	o s	1.21	0.91	12.6	o s	o s	コカケウウ属(os), エリスリカ類(os), ナガレユスリカ類(os), アカマダラカケウ(βms), ウルマシマトビケラ(os) ウルマシマトビケラ(os), コガタシマトビケラ(βms), アカマダラカケウ(βms), シロタニカワカケウ(os)
	11/2	o s (50)	o s ~β ms	o s	0.98	0.83	26.0	o s		
荒川連城橋	5/24	o s (43)	o s	o s	0.89	0.78	8.5	o s	o s	エリスリカ類(os), ウルマシマトビケラ(os), フタバコカケウ(os) ウルマシマトビケラ(os), コガタシマトビケラ(βms), ヒメスリカ類(αms)
	11/8	o s (53)	β ms	o s	0.91	0.75	21.9	o s		
荒川向田橋	5/24	o s (34)	β ms	o s	1.00	0.86	20.8	o s	o s	コカケウウ属(os), シマトビケラ科, ヒメスリカ類(αms) コガタシマトビケラ(βms), ウルマシマトビケラ(os), チラカケウ(os), ヒメスリカ類(αms)
	11/8	o s (41)	β ms	o s	1.14	0.90	33.7	o s		
内川田中橋	5/21	o s (35)	o s	o s	1.02	0.86	15.5	o s	o s	ウスバヒメガバンボ属(os), エリスリカ類(os), エリモシヒラカケウ(os) ウルマシマトビケラ(os), コガタシマトビケラ(βms), フタバコカケウ(os)
	11/2	o s (54)	o s	o s	0.99	0.81	23.0	o s		
内川橋	5/24	o s (31)	β ms	o s	0.76	0.74	27.6	o s	o s	ヒメタオカケウ属(os), ヒメスリカ類(αms), ウルマシマトビケラ(os) ウルマシマトビケラ(os), コガタシマトビケラ(βms), シマトビケラ科
	11/8	o s (46)	β ms	o s	0.98	0.83	21.9	o s		
江中川流(鹿子畑橋)	5/24	β ms (26)	判定不能	o s	1.05	0.87	49.2	o s ~β ms	β ms	ヒメトロシ科(os), コガタシマトビケラ(βms), オオスリカ類(ps), ヒメスリカ類(αms)*2 コガタシマトビケラ(βms), ウルマシマトビケラ(os)
	11/8	o s (42)	o s ~β ms	o s ~β ms	0.80	0.73	55.2	o s ~β ms		
江末川流	5/24	o s (35)	o s	o s	0.83	0.75	9.6	o s	o s	エリスリカ類(os), コカケウウ属(os), シマトビケラ科, ウルマシマトビケラ(os) エリスリカ類(os), アカマダラカケウ(βms), コガタシマトビケラ(βms)
	11/8	o s (33)	o s ~β ms	o s	1.07	0.88	27.2	o s		

* 2 : 優占して出現した出現種が無いため出現種数の多い順に4種ほど列記した。

表-3 各調査地点の水質評価一覧表（その6）

調査地点	月/日	Biotic-Index(β)	優占種法	Zelinka-Marvan法	多様性指数		汚濁比(%)	評価	総合評価	優占種
					S-W	Simpson				
逆川 十石橋	5/24	β ms(17)	β ms	os	0.45	0.54	32.8	β ms	β ms	エリスリカ類(os),オオスリカ類(ps)
	11/8	α ms(12)	α ms	α ms	0.63	0.67	91.5	α ms		ヒメスリカ類(α ms),オオスリカ類(ps)
逆川 末流	5/24	os(35)	β ms	os	1.00	0.84	45.9	os	os	ヒメスリカ類(α ms),エリスリカ類(os), ウスバヒメガキンボ属(os) ユスリカ科(os~ α ms),シロタニカワカゲロウ(os), エゴシマトイケラ(os),アカマダラカゲロウ(β ms)
	11/8	os(39)	os	os	1.03	0.87	33.3	os		
押川 越地橋	5/24	os(66)	os	os	1.24	0.91	14.0	os	os	ヒメタオカゲロウ属(os),ウスバヒメガキンボ属(os), フタバコカゲロウ(os) コガタシマトイケラ(β ms),ウルマーシマトイケラ(os), アカマダラカゲロウ(β ms)
	11/4	os(55)	β ms	os	1.07	0.86	39.5	os		
姿川 こしじ橋	5/25	os(30)	os	os	0.77	0.72	16.9	os	os	エリスリカ類(os),ウスバヒメガキンボ属(os), ナガレスリカ類(os) コガタシマトイケラ(β ms),ウスバヒメガキンボ属(os), ヒメスリカ類(α ms)
	11/16	os(36)	β ms	os	1.00	0.84	58.5	os		
姿川 鹿沼街道	5/25	β ms(27)	os	os	0.64	0.64	16.4	os	os	エリスリカ類(os),コカゲロウ属(os),コガタシマトイケラ(β ms)
	11/16	os(33)	β ms	os	1.13	0.91	38.9	os		コガタシマトイケラ(β ms),キロカワカゲロウ(β ms), エリスリカ類(os)
姿川 宮前橋	5/25	β ms(21)	os	os	0.84	0.81	20.6	os	os	エリスリカ類(os),フタバコカゲロウ(os),コカゲロウ属(os), ヒメスリカ類(α ms)
	11/16	os(41)	os	os	0.88	0.80	17.8	os		ウルマーシマトイケラ(os),エリスリカ類(os), コガタシマトイケラ(β ms),ナガレスリカ類(os)
赤川 高速道下	5/25	os(32)	os	os	0.82	0.75	29.2	os	os	エリスリカ類(os),ウスバヒメガキンボ属(os), ヒメスリカ類(α ms)
	11/16	os(42)	β ms	os	1.02	0.83	47.0	os		コガタシマトイケラ(β ms)

表-3 各調査地点の水質評価一覧表（その7）

調査地点	月/日	Biotic-Index(β)	優占種法	Zelinka-Marvan法	多様性指数		汚濁比(%)	評価	総合評価	優占種
					S-W	Simpson				
鎧川 能満寺西	5/25	β ms (25)	os	os	0.65	0.63	13.1	os	β ms	エリスリカ類(os), ウスバヒメガカソボ属(os), コカタシマトビケラ(β ms), ウルマーシマトビケラ(os), ヒメロムシ科(os)
	11/16	os (45)	β ms	β ms	0.70	0.63	62.7	β ms		
新川 中央女子高西	5/25	α ms (6)	ps	ps	0.46	0.56	89.4	ps	ps	イトミズ科(ps), ホコカゲウ(α ms) コカタシマトビケラ(β ms), イトミズ科(ps), シマトビケラ科, ヒル類(α ms)
	11/16	β ms (21)	α ms	ps	0.62	0.69	88.9	α ms		
新川 南町西	5/25	β ms (18)	α ms	α ms	0.87	0.84	78.9	α ms	α ms	イトミズ科(ps), ミズムシ(α ms), ヒメスリカ類(α ms) ヒメスリカ類(α ms), ミズムシ(α ms), イトミズ科(ps)
	11/16	β ms (27)	α ms	α ms	0.84	0.81	82.8	α ms		

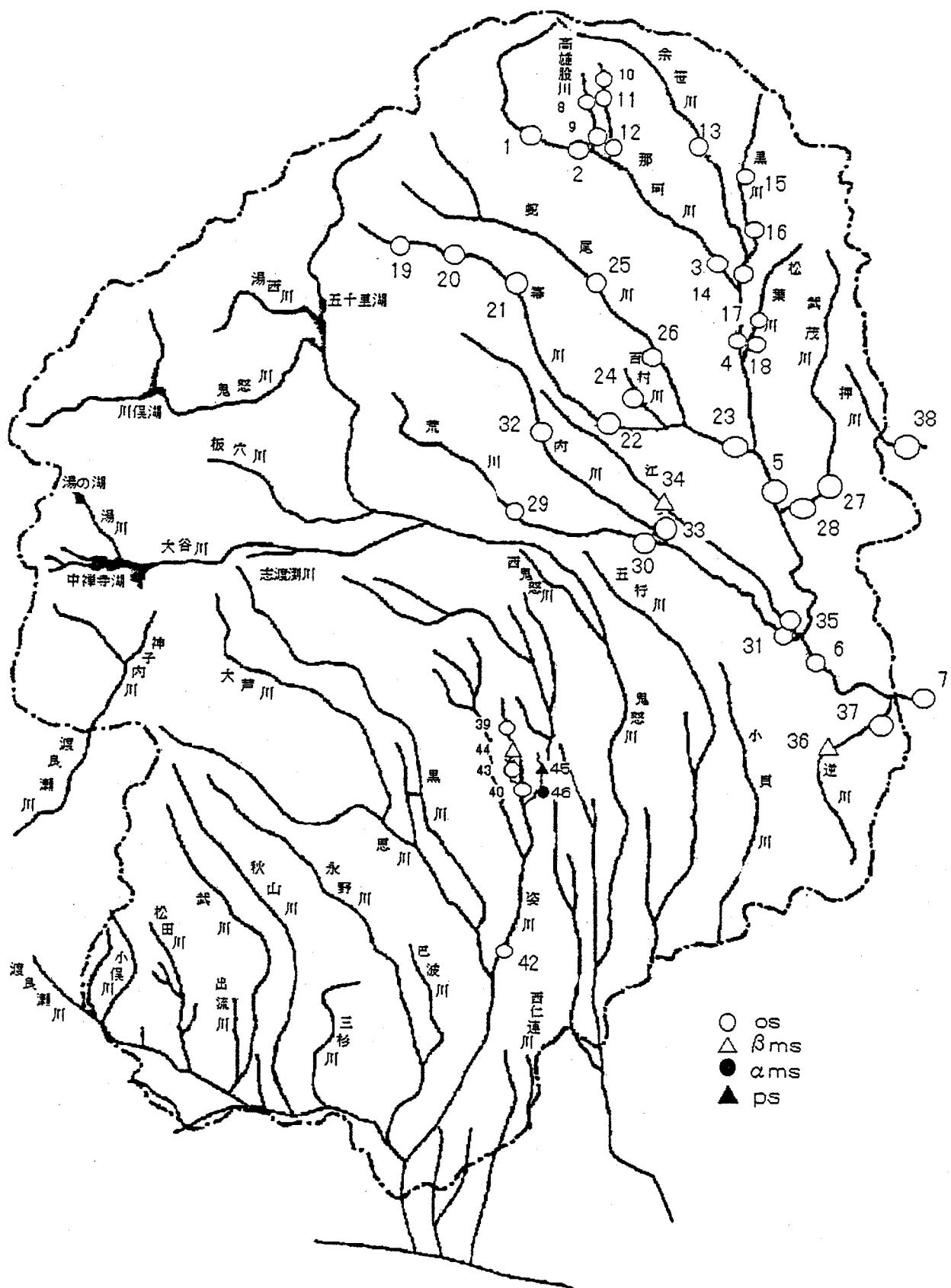


図-2 水質階級地図

表-4 平成11年度の調査結果と平成8年度の調査結果の比較

No.	河川名	調査地点	平成11年度		平成8年度	
			総合評価	BOD(mg/l)	総合評価	BOD(mg/l)
1	那珂川	幾世橋下	o s	0.8	—	0.5
2		恒明橋	o s	1.1	o s	0.6
3		昭明橋	o s	1.1	—	0.7
4		黒羽	o s	1.1	—	0.7
5		新那珂橋	o s	0.9	o s	1.5
6		川堀	o s	0.8	—	1.2
7		野口	o s	1.0	o s	0.9
8	高雄股川	中流(高尾橋)	o s	—	—	—
9		高雄股橋	o s	1.0	o s	0.6
10	湯川	上流	o s	—	—	—
11		一軒茶屋	o s	1.1	—	1.1
12		湯川橋	o s	1.6	o s	0.7
13	余笠川	中流(余笠橋)	o s	0.7	—	0.5
14		川田橋	o s	1.1	o s	0.9
15	黒川	中流(大塩橋)	o s	—	—	—
16		新田橋	o s	1.0	o s	0.7
17	松葉川	上高橋	o s	1.1	—	0.9
18		末流	o s	1.5	o s	1.1
19	筈川	温泉街上流	o s	—	—	—
20		夕の原	o s	0.9	—	0.6
21		堰場橋	o s	0.9	—	0.7
22		岩井橋	o s	1.3	—	0.7
23		筈川橋	o s	1.2	o s	0.7
24	百村川	百村中橋	o s	1.0	—	0.6
25	蛇尾川	中流(蛇尾橋)	o s	—	—	—
26		宇田川橋	o s	1.1	o s	0.9
27	武茂川	太郎橋	o s	1.0	—	0.6
28		更生橋	o s	1.5	o s	0.9
29	荒川	梶橋	o s	1.1	—	0.8
30		連城橋	o s	1.1	—	0.6
31		向田橋	o s	1.2	o s	0.9
32	内川	田中橋	o s	1.1	—	0.8
33		旭橋	o s	1.5	o s	1.1
34	江川	中流(鹿子畠橋)	β m s	—	—	—
35		末流	o s	2.3	o s	1.5
36	逆川	十石橋	β m s	1.3	—	1.1
37		末流	o s	1.9	o s	1.2
38	押川	越地橋	o s	1.1	o s	0.7
39	姿川	こしじ橋	o s	1.9	—	1.6
40		鹿沼街道	o s	2.0	—	2.8
42		宮前橋	o s	1.9	—	5.7
43	赤川	高速道下	o s	1.5	—	1.2
44	鎧川	能満寺西	β m s	1.4	—	2.4
45	新川	中央女子校西	p s	4.0	—	8.1
46		南町西	α m s	3.7	—	4.7

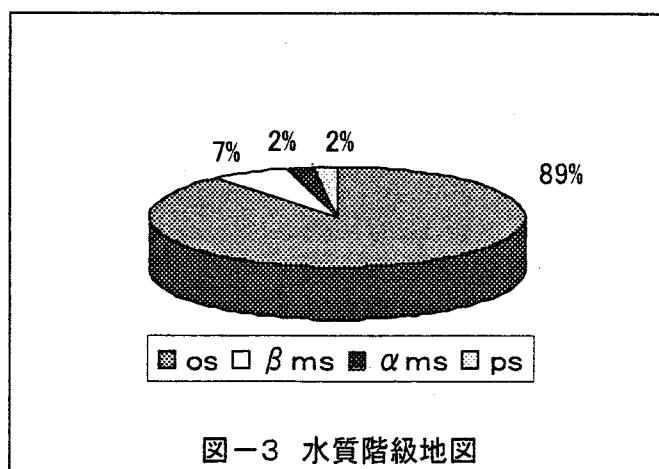
* B O D は年平均値

表-5 各水質階級の地点数（過去5回調査分）

	o s	β m s	α m s	p s	合計
平成11年度	40	3	1	1	45
平成8年度	16	0	0	0	16
平成5年度	15	1	0	0	16
平成2年度	11	5	0	0	16
昭和62年度	14	1	1	0	16

表-6 前回調査結果との水質階級評価の比較

	評価が良くなつた	評価が悪くなつた	評価が同じ	合計
地点数	0	0	16	16



参考文献 3 御勢久衛門 (1982) : 自然水域における肉眼的底生動物の環境指標性について
 (「環境科学」研究報告書、B121-R12-10実験水路による底生動物の環境指標性の研究)

表1 肉眼的底生動物における汚水生物学的指標生物表

表中の略字の意味は、os: 貧腐水性、 β_{ms} : β 中腐水性、 α_{ms} : α 中腐水性、ps: 強腐水性、
 汚濁階級指数: 汚濁指数のための指数、汚濁耐忍性: 生物指数のための汚濁耐忍性、ザプロビ値:
 汚濁階級の分散度、g: (インデケーター値) : 広・狭環境性度、+非常に稀

種	類	水質 階級	汚濁 階級 指数	汚濁 耐 忍性	ザプロビ値				g
					os	β_{ms}	α_{ms}	ps	
Plathelminthes									
<i>Dugesia gonocephala</i>	扁形動物	os	1	A	6	4	+	-	2
<i>Phagocata vivida</i>		os	1	A	9	1	-	-	4
Mollusca									
<i>Physa acuta</i>	軟體動物	ps	4	B	-	+	3	7	3
<i>Baetislymata viridis</i>		β_{ms}	2	B	1	5	4	-	1
<i>Radix(a.) japonica</i>		α_{ms}	3	B	+	4	6	+	2
<i>Pettanyulus nipponica</i>		β_{ms}	2	B	1	5	4	-	1
<i>Cyprinus chinensis</i>		β_{ms}	2	B	3	5	2	-	2
<i>Semisulcospira libertina</i>		os	1	A	6	4	+	-	2
<i>Semisulcospira reiniana</i>		β_{ms}	2	B	-	4	5	-	2
<i>Sinotaia quadratus</i>		α_{ms}	3	B	-	4	5	1	1
<i>Cipangopaludina(c.) malleata</i>		β_{ms}	2	B	1	5	3	1	1
<i>Cipangopaludina japonica</i>		β_{ms}	2	B	2	5	3	-	2
<i>Anodonta(w.) japonica</i>		β_{ms}	2	B	1	5	4	+	1
<i>Cristaria plicata</i>		β_{ms}	2	B	1	6	3	-	2
<i>Corbicula leana</i>		β_{ms}	2	B	5	5	-	-	2
<i>Corbicula japonica</i>		β_{ms}	2	B	3	5	2	-	2
<i>Sphaerium(l.) japonicum</i>		β_{ms}	2	B	2	5	3	-	2
Annelida									
<i>Oligochaeta</i>	环节動物	ps	4	B	-	+	3	7	3
<i>Tubifex spp.</i>		ps	4	B	-	+	4	6	3
<i>Limnodrilus spp.</i>		β_{ms}	2	B	2	7	1	-	3
<i>Nais spp.</i>		ps	4	B	-	2	8	3	
<i>Branchiura sowerbyi</i>									
Hirudinea									
<i>Erpobdella lineata</i>	ヒル類	α_{ms}	3	B	1	2	7	+	3
<i>Minobdella japonica</i>		α_{ms}	3	B	1	4	5	+	1
<i>Glossiphonia lata</i>		α_{ms}	3	B	1	3	6	-	2
Arthropoda									
Crustacea									
<i>Asellus hilgendorfii</i>	甲殻類	α_{ms}	3	B	1	2	7	-	3
<i>Gammarus(R.) nipponensis</i>		os	1	A	10	+	-	-	4
<i>Palaemon(P.) paucidermis</i>		os	1	A	6	4	-	-	2
<i>Paratya(c.) improvresa</i>		β_{ms}	2	B	3	6	1	-	2
<i>Procambarus clarkii</i>		α_{ms}	3	B	-	2	8	-	3
<i>Geothelphusa dehanii</i>		os	1	A	9	1	-	-	4
Ephemeroptera									
<i>Ephoron shigae</i>	カゲロウ目	β_{ms}	2	B	2	7	1	-	3
<i>Ephemera japonica</i>		os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Ephemera strigata</i>		os	1	A	7	3	-	-	3
<i>Ephemera orientalis</i>		β_{ms}	2	B	+	6	4	-	2
<i>Potamanthus kamonis</i>		β_{ms}	2	B	4	6	+	-	2
<i>Oligoneuriella rhenana</i>		β_{ms}	2	B	2	7	1	-	3
<i>Caenis spp.</i>		β_{ms}	2	B	4	5	1	-	2

種	類	水質 階級	汚濁 階級	汚濁 耐性	ザブロビ値				g
					os	βms	ams	ps	
<i>Brachycercus</i> spp.	ミットケヒゲカゲロウ属	βms	2	B	5	5	-	-	2
<i>Ephemerella japonica</i>	エラブタマダラカゲロウ	βms	2	B	5	5	-	-	2
<i>Ephemerella cryptomeria</i>	ヨシノマダラカゲロウ	os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Ephemerella basalis</i>	オオマダラカゲロウ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Ephemerella bifurcata</i>	フタマタマダラカゲロウ	os	1	A	7	3	-	-	3
<i>Ephemerella trispina</i>	ミットカゲマダラカゲロウ	os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Ephemerella okumai</i>	オオクママダラカゲロウ	os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Ephemerella exoensis</i>	エゾマダラカゲロウ	os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Ephemerella tshernovae</i>	チニルノバマダラカゲロウ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Ephemerella nigra</i>	クロマダラカゲロウ	os	1	A	7	3	-	-	3
<i>Ephemerella orientalis</i>	トウミウマダラカゲロウ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Ephemerella longicaudata</i>	シリナガマダラカゲロウ	os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Ephemerella setigera</i>	クシマダラカゲロウ	os	1	A	6	4	-	-	2
<i>Ephemerella rufa</i>	アカマダラカゲロウ	βms	2	B	5	5	-	-	2
<i>Thraulus</i> spp.	トゲエラカゲロウ属	βms	2	B	4	4	-	-	2
<i>Choroterpes trifurcata</i>	ヒメトビイロカゲロウ	βms	2	B	4	2	-	-	3
<i>Paraleptophlebia spinosa</i>	トゲトビイロカゲロウ	os	1	A	8	4	-	-	2
<i>Paraleptophlebia chocorata</i>	ナミトビイロカゲロウ	os	1	A	6	4	-	-	2
<i>Centroptilum rotundum</i>	ウスバコカゲロウ	os	1	A	6	4	-	-	2
<i>Pseudocloeon japonica</i>	フタバコカゲロウ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Pseudocloeon nosegawaensis</i>	ノセガワフタバカゲロウ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Baetis</i> spp.	コカゲロウ属	os	1	A	7	3	-	-	3
<i>Baetis sahoensis</i>	サホコカゲロウ	αms	3	B	+	2	7	1	1
<i>Cloeon dipterum</i>	フタバカゲロウ	βms	2	B	4	5	1	-	1
<i>Epeorus hiemalis</i>	オナガヒラタカゲロウ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Epeorus uenoi</i>	ウエノヒラタカゲロウ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Epeorus cesculus</i>	キイロヒラタカゲロウ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Epeorus latifolium</i>	エルモンヒラタカゲロウ	os	1	A	7	3	-	-	3
<i>Epeorus ikanonis</i>	ナミヒラタカゲロウ	os	1	A	10	-	-	-	4
<i>Epeorus curvatulus</i>	ユミモンヒラタカゲロウ	os	1	A	9	1	-	-	5
<i>Ecdyonurus tigris</i>	マダラタニガワカゲロウ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Ecdyonurus tobiiironis</i>	クロタニガワカゲロウ	os	1	A	7	3	-	-	3
<i>Ecdyonurus yoshidae</i>	シロタニガワカゲロウ	os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Ecdyonurus kibunensis</i>	キブネタニガワカゲロウ	os	1	A	7	3	-	-	3
<i>Heptagenia kihada</i>	キハダヒラタカゲロウ	os	1	A	6	4	-	-	2
<i>Heptagenia kuotoensis</i>	キョウトキハダヒラタカゲロウ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Cinygma hirascana</i>	ミヤマタニガワカゲロウ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Rhithrogena japonica</i>	ヒメヒラタカゲロウ	os	1	A	9	1	-	-	3
<i>Siphlonurus binotatus</i>	オオフタオカゲロウ	βms	2	B	3	7	-	-	3
<i>Siphlonurus sanukensis</i>	ナミフタオカゲロウ	os	1	A	7	3	-	-	3
<i>Oligoneuriella rhenana</i>	ヒトリガカゲロウ	βms	2	B	2	7	1	-	3
<i>Isonychia japonica</i>	チラカゲロウ	os	1	A	7	3	-	-	3
<i>Ameletus kyotoensis</i>	キョウトヒメフタオカゲロウ	os	1	A	7	3	-	-	3
<i>Ameletus montanus</i>	ヒメフタオカゲロウ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Ameletus costalis</i>	マエグロヒメフタオカゲロウ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Odonata</i>	蜻蛉目								
<i>Manis strigata</i>	カワトンボ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Calopteryx cornelia</i>	ミヤマカワトンボ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Calopteryx atrata</i>	ハグロトンボ	βms	2	B	+	7	3	-	3
<i>Epiophlebia superstes</i>	ムカシトンボ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Sieboldius albarde</i>	コオニヤンマ	βms	2	B	5	4	1	-	1
<i>Onychogomphus viridicostus</i>	オナガサナエ	βms	2	B	4	5	1	-	1
<i>Sinogomphus flavolimbatus</i>	ヒメサナエ	os	1	B	10	-	-	-	5
<i>Gomphus melaenops</i>	ヤマサナエ	βms	2	B	4	5	1	-	1
<i>Stylogomphus suzukii</i>	オジロサナエ	os	1	A	9	1	1	-	4
<i>Lanthus fujiacus</i>	ヒメクロサナエ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Davidius fujiana</i>	クロサナエ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Davidius nanus</i>	ダビドサナエ	os	1	A	8	2	-	-	3

種	類	水質 階級	汚濁 階級 指數	汚濁 耐 忍性	ザブロビ值				g
					os	β_{ms}	α_{ms}	ps	
<i>Annotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ	β_{ms}	2	B	4	5	1	-	1
<i>Boyeria macclachlani</i>	コシボソヤンマ	β_{ms}	2	B	5	5	+	-	2
<i>Macromia amphigena</i>	コヤマトンボ	β_{ms}	2	B	6	-	-	-	2
<i>Plecoptera</i>	カワゲラ目	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Scopura longa</i>	トワダカワゲラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Nogiperla japonica</i>	ノギカワゲラ	os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Nemoura spp.</i>		os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Protonemura spp.</i>		os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Amphinemura spp.</i>		os	1	A	7	3	-	-	3
<i>Capnia spp.</i>	クロカワゲラ属	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Eucapnopsis stigmatica</i>	ミジカオクロカワゲラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Megarcys ochracea</i>	アミメカワゲラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Isogenus scriptus</i>	アミメカワゲラモドキ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Isoperla aizuwana</i>	アイズミドリカワゲラモドキ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Isoperla nipponica</i>	フタスジミドリカワゲラモドキ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Isoperla debilis</i>	ホソミドリカワゲラモドキ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Isoperla asakawae</i>	アサカワミドリキカワゲラモドキ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Paragenetina tinctipennis</i>	オオクラカケカワゲラ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Neoperla nipponesis</i>	ヤマトフタツメカワゲラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Oyamia gibba</i>	オオヤマカワゲラ	os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Acroneuria jouklii</i>	ジョクリモンカワゲラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Acroneuria stigmatica</i>	モンカワゲラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Acroneuria jocoensis</i>	ミツモンカワゲラ	os	1	A	10	-	-	-	4
<i>Perla quadrata</i>	クロヒゲカワゲラ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Perla tibialis</i>	カミムラカワゲラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Kiotina pictetii</i>	マエキフタツメカワゲラモドキ	os	1	A	10	-	-	-	4
<i>Alloperla bimaculata</i>	フタモンミドリカワゲラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Alloperla abdominalis</i>	セスジミドリカワゲラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Hemiptera</i>	半翅目	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Aphelocheirus vittatus</i>	ナベブタムシ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Megaloptera</i>	広翅目	os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Parachauliodes japonicus</i>	クロスジヘビトンボ	os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Parachauliodes continentalis</i>	タイリククロスジヘビトンボ	os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Tricho Pter</i>	トビケラ目	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Rhyacophila yamanakensis</i>	ヤマナカナガレトビケラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Rhyacophila sp. RC</i>	RCナガレトビケラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Rhyacophila articulata</i>	トワダナガレトビケラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Rhyacophila nigrocephala</i>	ムナグロナガレトビケラ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Rhyacophila sp. RE</i>	REナガレトビケラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Rhyacophila clemens</i>	クレメンスナガレトビケラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Rhyacophila sp. RH</i>	RHナガレトビケラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Rhyacophila tranquilla</i>	トランスクイラナガレトビケラ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Rhyacophila brevicephala</i>	ヒロアタマナガレトビケラ	os	1	A	7	3	-	-	3
<i>Mystophora inops</i>	イノブスヤマトビケラ	os	1	A	10	+	-	-	4
<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Stenopsyche scuteri</i>	チャバネヒゲナガカワトビケラ	os	1	A	7	3	-	-	3
<i>Macronema radiatum</i>	オオシマトビケラ	β_{ms}	2	B	3	7	-	-	3
<i>Hydropsychodes brevilineata</i>	コガタシマトビケラ	β_{ms}	2	B	3	6	-	-	2
<i>Hydropsyche echigoensis</i>	エチゴシマトビケラ	os	1	A	8	2	+	-	3
<i>Hydropsyche gifuana</i>	ギフシマトビケラ	β_{ms}	2	B	5	5	-	-	1
<i>Hydropsyche tsudai</i>	ウルマーシマトビケラ	os	1	A	6	4	-	-	2
<i>Hydropsyche nakaharai</i>	ナカハラシマトビケラ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Hydropsyche selys</i>	セリーシマトビケラ	os	1	A	10	+	-	-	4
<i>Limnoentropus insolitus</i>	キタガミトビケラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Goera kyotonis</i>	キヨウトニンギョウトビケラ	os	1	A	7	3	-	-	3
<i>Goera japonica</i>	ニンギョウトビケラ	os	1	A	6	4	-	-	2
<i>Brachycentrus spp.</i>	カクスイトビケラ属	os	1	A	10	-	-	-	5

種	類	水質 階級	汚濁 階級 指數	汚濁 耐 忍性	ザブロビ値				g
					os	β_{ms}	α_{ms}	ps	
<i>Microcema quadriloba</i>	ニツコウマルツツトビケラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Neoseverinia crassicornis</i>	オオカクツツトビケラ	os	1	A	10	+	-	-	4
<i>Dinarthrodes japonica</i>	コカクツツトビケラ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Gumaga okinawaensis</i>	グマガトビケラ	os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Uenoa tokunagai</i>	クロツツトビケラ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Coleoptera</i>	鞘翅目								
<i>Hydrocyclus lacusiris(adult)</i>	マルガムシ成虫	os	1	A	10	+	-	-	4
<i>Mataeopsephus japonicus</i>	ヒラタドロムシ	β_{ms}	2	B	3	5	2	-	2
<i>Eubrianax granicollis</i>	ニセヒラタヒゲナガハナノミ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Eubrianax pellucidus</i>	ヒメヒラタヒゲナガハナノミ	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Psephenoides japonicus</i>	マスタードロムシ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Heliehus spp.</i>	ナガドロムシ属	os	1	A	7	3	-	-	3
<i>Stenelmis spp.</i>	アシナガドロムシ属	os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Elmis spp.</i>	アシテナガドロムシ属	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Luciola lateralis</i>	ヘイケボタル	α_{ms}	3	B	+	5	5	-	3
<i>Luciola cruciata</i>	ゲンジボタル	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Diptera</i>	双翅目								
<i>Phaorhinus spp.</i>	ヒメカミカ属	os	1	A	10	-	-	-	5
<i>Antocha spp.</i>	ウスバヒメガガンボ属	os	1	A	7	3	+	-	3
<i>Psychoda alternata</i>	ホシヂョウバエ	ps	4	B	-	-	+	10	4
<i>Simulium spp.</i>	ブエ属	os	1	A	8	2	-	-	3
<i>Chironomus spp.</i>	オオエスリカ類 赤色	ps	4	B	-	-	3	7	3
<i>Pentaneura spp.</i>	ヒメユスリカ類 緑褐色	α_{ms}	3	B	1	4	5	-	1
<i>Spanioroma spp.</i>	エリユスリカ類 灰緑色	os	1	A	6	4	-	-	2
<i>Rheotanytarsus spp.</i>	ナガレユスリカ類 白色	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Atherix ibis japonica</i>	ハマダラシギアブ	os	1	A	9	1	-	-	4
<i>Atherix satsumana</i>	サツマモンジギアブ	os	1	A	7	3	-	-	3
<i>Atherix kodamai</i>	コマダシギアブ	β_{ms}	2	B	3	5	2	-	1
<i>Atherix morimotoi</i>	モリモトシキアブ	α_{ms}	3	B	-	4	6	+	2
<i>Eristalis spp.</i>	ハナアブ属	ps	4	B	-	-	-	10	4

チテン ナカガワ イクヨハシシタ		年月日	990521	テータレコード No. 1		チテン ナカガワ コウメイハシ		年月日	990521	テータレコード No. 2	
No.	コート*	コタイスウ	No.	コート*	コタイスウ	No.	コート*	コタイスウ	No.	コート*	コタイスウ
1	216	イトミスカ	1	17	426	フタコフマタラカケロウ	8	1	309	ヒメフタオカケロウソク	60
2	326	エノヒラタカケロウ	3	18	610	フサオナシカワゲラソク	1	2	328	エルモンヒラタカケロウ	56
3	328	エルモンヒラタカケロウ	6	19	643	アミメカワゲラ	3	3	337	クロトニカワカケロウ	7
4	338	シロタニカワカケロウ	2	20	653	ミトリカワゲラモドキソク	24	4	358	サツキヒメヒラタカケロウ	12
5	351	ミヤマシカワカケロウ	2	21	677	モンカワゲラソク	3	5	366	コカケロウソク	7
6	357	ヒメヒラタカケロウ	100	22	721	ウルマシマトビケラ	16	6	369	トビイロカケロウ	2
7	358	サツキヒメヒラタカケロウ	5	23	734	ナガレトビケラソク	1	7	391	フタバコカケロウ	25
8	366	コカケロウソク	38	24	738	ムナグロナガレトビケラ	3	8	392	ミシカオフタバコカケロウ	8
9	391	フタバコカケロウ	145	25	741	ヒロアタマナガレトビケラ	1	9	400	ナミトイロカケロウ	22
10	392	ミシカオフタバコカケロウ	11	26	751	ヤマトビケラソク	4	10	405	ヒメトイロカケロウ	2
11	412	マタラカケロウソク	2	27	820	カガシンボカ	1	11	414	ヨシノマガラカケロウ	18
12	413	エラブタマラカケロウ	1	28	837	ウスハヒメカガシンボ	4	12	415	オオマタラカケロウ	7
13	414	ヨシノマタラカケロウ	9	29	843	オビモシガガシンボ	1	13	416	フタマタマラカケロウ	5
14	416	フタマタマラカケロウ	37	30	865	フユカ	203	14	417	ミツクマタラカケロウ	1
15	417	ミツクマタラカケロウ	10	31	875	ヒメスリカルイ(リヨクカッシュク)	64	15	421	クロマタラカケロウ	2
16	421	クロマタラカケロウ	2	32	877	エリユスリカルイ(ハイリヨクショク)	164	16	425	アカマタラカケロウ	10

チテン ナカガワ イクヨハシシタ
 チュリスウ 32 センコタイスウ
 Biotic index 51 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps
 DI(Shannon-Weaver) 1.0112

チテン ナカガワ イクヨハシシタ
 チュリスウ 32 センコタイスウ
 Biotic index 51 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps
 DI(Simpson) 7.799 2.010 0.179 0.011
 DI(Shannon-Weaver) 1.0112

チテン ナカガワ イクヨハシシタ
 チュリスウ 30 センコタイスウ
 Biotic index 47 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps
 DI(Shannon-Weaver) 1.0914

991101
 テータレコード No. 1
 チュリスウ 703 オダクヒ 0.43%
 Biotic index 7.623 2.377 0.000 0.000
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps
 DI(Simpson) 0.8618

チテン ナカガワ コウメイハシ
 チュリスウ 32 センコタイスウ
 Biotic index 51 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps
 DI(Shannon-Weaver) 6.914 2.580 0.506 0.000
 DI(Simpson) 0.8701

チテン ナカガワ コウメイハシ
 チュリスウ 594 オダクヒ 22.05%
 Biotic index 51 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps
 DI(Shannon-Weaver) 1.0664
 991101
 テータレコード No. 2
 チュリスウ 594 オダクヒ 22.05%
 Biotic index 6.914 2.580 0.506 0.000
 DI(Simpson) 0.8701

チテン ナカガワ イクヨハシシタ
 チュリスウ 43 センコタイスウ
 Biotic index 66 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps
 DI(Shannon-Weaver) 1.3913

チテン ナカガワ コウメイハシ
 チュリスウ 458 オダクヒ 13.32%
 Biotic index 7.549 2.059 0.194 0.197
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps
 DI(Simpson) 0.9449

チケン	ナカガワ	ショウメイハシ	年月日	990521	データーレコード	No.	
No.	コード	シェルイ	コタイスウ	No.	コード	シェルイ	コタイスウ
1	216	イトミミズ カ	136	14	669	フタツメカワケ ラ ソク	2
2	328	エルモンヒラカケ ロウ	20	15	672	キヘリオスエタ カワケ ラ	1
3	339	キフネカケ ワカケ ロウ	1	16	704	ヒケ ナガカワトビ クラ	1
4	366	コカケ ロウ ソク	24	17	726	コカ タシマトイ クラ	2
5	367	サホコカケ ロウ	1	18	828	クロヒメガ カボンホ ソク	1
6	391	フタハコカケ ロウ	11	19	837	ウスハヒメガ カボンホ ソク	29
7	397	トビ イロカケ ロウ カ	9	20	865	フニユ カ	3
8	398	トビ イロカケ ロウ ソク	7	21	873	オオユスリカ ルイ(アカ イロ)	140
9	414	ヨシノマタラカケ ロウ	1	22	875	ヒメユスリカ ルイ(リョクカッシュヨク)	104
10	424	クシケ マク ラカケ ロウ	2	23	877	エリユスリカ ルイ(ハイリヨクショク)	140
11	425	アカマタ ラカケ ロウ	1	24	879	ナカレエスリカ ルイ(ハクショク)	16
12	442	ヒメカケ ロウ ソク	16	25	929	ヒメトロムシ カ	10
13	591	カワケ ラ モク	1				

-454-

チテン	ナカガワ	ショウウメイハシ	年月日	991101	データレコード	No.
No.	コード	シェルイ	コタイスウ	No.	コード	コタイスウ
1	309	ヒメタオカケロウソク	5	16	712	キフネクタビケラ
2	316	チラカゲロウ	3	17	714	イリトビケラカ
3	328	エガモンヒラカケロウ	84	18	719	シマトビケラカ
4	338	シリタニカワカゲロウ	43	19	721	ウルマーシミトビケラ
5	358	サツキヒメラタカケロウ	2	20	723	キフジマヒケラ
6	366	コカケロウソク	4	21	726	コカタミトビケラ
7	369	トビイロカケロウ	1	22	734	ナカレントビケラソク
8	405	ヒメトビイロカケロウ	11	23	837	ウスラビヒメカカソノソク
9	412	マタラカケロウソク	49	24	873	オオユスリカルイ(アカイロ)
10	424	クシケマタラカケロウ	1	25	875	ヒメユスリカルイ(リョクカッシュヨク)
11	425	アカマタラカケロウ	4	26	877	エリスユスリカルイ(ハイリョクショク)
12	669	フタツメカワラソク	3	27	879	ナカレスリカルイ(ハクショク)
13	684	カミムラカワケラ	3	28	904	カムシカ
14	704	ヒケナカガリトビケラ	48	29	929	ヒメトロムシカ
15	705	チャバネヒガラナガカワリトビケラ	1			

チテン ナカガワ ショクメイハシ 年月日 99.11.01 データレコード No.
 シュルイスウ 29 センソタイスウ 718 オタクヒ 20.75%
 Biotic index 42 os
 Zelinka-Marvan os, Bms, Ams, ps 6.490 2.748 0.348 0.415
 DI(Shannon-Weaver) 1.1304 DI(Simpson) 0.9064

チケン	ナガカケワ	クロハーネ	年月日	990524	データレコード	No.	4
No.	コード	シェルイ	コタイスク	No.	コード	シェルイ	コタイスク
1	216	トイミスカ	240	21	662	カワクリラカ	1
2	221	ヒルルイ	1	22	702	ヒケナカカワトビケラカ	7
3	316	チラカケロウ	12	23	704	ヒケナカカワトビケラ	24
4	326	ウエノヒラタカケロウ	5	24	705	チャハネヒケナカカワトビケラ	2
5	328	エルモンヒラタカケロウ	19	25	710	クタトビケラカ	1
6	330	ユミモンヒラタカケロウ	3	26	719	シマトビケラカ	19
7	338	シロタニヒワカケロウ	1	27	721	ウルマーシマトビケラ	54
8	357	ヒメヒラタカケロウ	2	28	726	コカタシマトビケラ	42
9	358	サツキヒメヒラタカケロウ	2	29	733	ナカレトビケラカ	1
10	366	コカケロウソク	737	30	740	トランスクィラカレトビケラ	1
11	391	フタハラカケロウ	436	31	751	ヤマヒケラソク	3
12	392	ミシカオフタハラカケロウ	12	32	784	コカクソツヒケラソク	2
13	397	トリイロカケロウカ	18	33	809	ヘビトンボ	1
14	411	マタラカケロウカ	8	34	828	クロヒメカガンボソク	3
15	414	ヨシノマタラカケロウ	31	35	837	ウスハヒメカガンボソク	196
16	424	クシケマタラカケロウ	157	36	865	フユカ	188
17	425	アカマタラカケロウ	101	37	873	オオエスリカルイ(アカイロ)	389
18	442	ヒメカケロウソク	1	38	877	エリスリカルイ(ハイリョクショク)	389
19	452	キイロカカケロウ	4	39	881	アブカ	1
20	643	アミメカカケラ	1	40	929	ヒメトロムシカ	16

テレ ナカガワ クロハネ	年月日	990524	データレコード No.	4
シュルイスク	40	センコタイスク	3134	オタクヒ 24.85%
Biotic index	59	os		
Zelinka-Marvan os, Bms, Ams, ps			5.638 2.078 0.692 1.591	
DI(Shannon-Weaver)	1.0523	DI(Simpson)	0.8768	
テレ ナカガワ クロハネ	年月日	991104	データレコード No.	4
No コード*	シュルイ	コタイスク	No コード*	コタイスク
1 102	フラナリア カ	1	15 693	ミトツリカワケラ カ 5
2 316	チラカケロウ	71	16 704	ヒゲナガカワリヒグラ 19
3 328	エルモンヒカタカケロウ	36	17 719	シマトビクラ カ 69
4 335	タニカワカケロウ ソク	13	18 721	ウルマーシマトビ ケラ 460
5 357	ヒメヒラカケロウ	6	19 726	コカタシマトビ ケラ 52
6 358	サツキヒメヒラカケロウ	57	20 751	ヤマトビ ケラ ソク 4
7 366	コカケロウ ソク	43	21 765	カクスイトビ ケラ ソク 1
8 368	フローレンスコカケロウ	6	22 837	ウスハヒメカガソボ ソク 3
9 391	フタバコカケロウ	93	23 865	フツカ 4
10 392	ミシカオフタバコカケロウ	4	24 875	ヒメスリカ ルイ(リヨクカッシュク) 80
11 422	トウヨウマツラカケロウ	59	25 877	エリスリカ ルイ(ハイリヨクショク) 40
12 425	アカマツラカケロウ	16	26 918	ヒラトロムシ 1
13 643	アミメカケラ	4	27 929	ヒメトロムシ カ 14
14 669	フタツメカカケラ ソク	2		

チテン ナカガハ クロハーネ 年月日 991104 テータレコード No. 4
 シュネイスウ 27 ゼンコタイスウ 1163 オタクヒ 12.81%
 Biotic index 42 os
 Zelinka-Marvan os, Bms, Ams, ps 6.944 2.851 0.205 0.000
 DI(Shannon-Weaver) 1.0009 DI(Simpson) 0.8138

チテン ナカガワ カワホリ
 No. コード* シュルイ
 1 133 タニシ カ
 2 216 イミミス カ
 3 309 ピマタオカケ ロウ ソ^ク
 4 316 チラカケ ロウ
 5 323 ヒラカケ ロウ カ
 6 324 ヒラカケ ロウ ソ^ク
 7 328 エルモンヒラカケ ロウ
 8 331 タニヒラタカケ ロウ
 9 337 クロタニカ ワカケ ロウ
 10 351 ミヤマタニカ ワカケ ロウ
 11 357 ヒメヒラタカケ ロウ
 12 358 サツキヒメヒラタカケ ロウ
 13 366 コカケ ロウ ソ^ク
 14 391 フタハコカケ ロウ
 15 392 ミジカオフタハコカケ ロウ
 16 405 ヒメトビイロカケ ロウ

年月日 990524 テ^ータレコード* No. 6

No.	コード*	シュルイ	コタイスク	No.	コード*	シュルイ	コタイスク
1	133	タニシ カ	1	17	412	マタラカケ ロウ ソ^ク	5
2	216	イミミス カ	1	18	414	ヨシノマタラカケ ロウ	3
3	309	ピマタオカケ ロウ ソ^ク	43	19	421	クロマタラカケ ロウ	1
4	316	チラカケ ロウ	1	20	424	クシケ マタラカケ ロウ	26
5	323	ヒラカケ ロウ カ	1	21	425	アカマタラカケ ロウ	21
6	324	ヒラカケ ロウ ソ^ク	1	22	669	フタツメカワケ ラ ソ^ク	3
7	328	エルモンヒラカケ ロウ	33	23	704	ヒケナガカワヒト^ケラ	4
8	331	タニヒラタカケ ロウ	2	24	719	シマトビ^ケラ カ	20
9	337	クロタニカ ワカケ ロウ	4	25	721	ウルマシマトビ^ケラ	195
10	351	ミヤマタニカ ワカケ ロウ	1	26	751	ヤマトビ^ケラ ソ^ク	1
11	357	ヒメヒラタカケ ロウ	2	27	829	EBクロヒメカ ガンボ	8
12	358	サツキヒメヒラタカケ ロウ	23	28	837	ウスハヒメカ ガンボ	12
13	366	コカケ ロウ ソ^ク	33	29	865	フ^ユ カ	7
14	391	フタハコカケ ロウ	205	30	875	ヒメスリカ ルイ(リヨクカッショク)	11
15	392	ミジカオフタハコカケ ロウ	53	31	877	エリュスリカ ルイ(ハイリヨクショク)	74
16	405	ヒメトビイロカケ ロウ	2	32	929	ヒメトビロムシ カ	16

チテン ナカガワ カワホリ 年月日 990524 テ^ータレコード* No. 6

シュルイ 32 センコタイスク 813 オタクヒ 4.31%
 Biotic index 48 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 7.715 2.238 0.036 0.011
 DI(Shannon-Weaver) 1.0499 DI(Simpson) 0.8561

チテン ナカガワ カワホリ 年月日 991108 テ^ータレコード* No. 6
 No. コード* シュルイ コタイスク
 1 133 タニシ カ 1 15 551 サネトンボ カ 1
 2 316 チラカケ ロウ 133 16 669 フタツメカワケ ラ ソ^ク 6
 3 326 ウエリヒラカケ ロウ 5 17 704 ヒケナガカワヒト^ケラ 3
 4 328 エルモンヒラカケ ロウ 9 18 719 シマトビ^ケラ カ 7
 5 338 シロタニカ ワカケ ロウ 10 19 721 ウルマシマトビ^ケラ 285
 6 357 ヒメヒラタカケ ロウ 14 20 726 コカシマトビ^ケラ 118
 7 358 サツキヒメヒラタカケ ロウ 49 21 727 エチゴシマトビ^ケラ 10
 8 366 コカケ ロウ ソ^ク 28 22 751 ヤマトビ^ケラ ソ^ク 7
 9 369 トビイロコカケ ロウ 4 23 809 ヘビトンボ 1
 10 391 フタハコカケ ロウ 64 24 830 EDクロヒメカ ガンボ 3
 11 392 ミジカオフタハコカケ ロウ 2 25 845 アミカ カ 6
 12 411 マタラカケ ロウ カ 4 26 865 フ^ユ カ 47
 13 422 トウヨウマタラカケ ロウ 50 27 879 ナカレユスリカ ルイ(ハクショク) 36

チテン ナカガワ カワホリ 年月日 991108 テ^ータレコード* No. 6

シュルイ 27 センコタイスク 923 オタクヒ 14.95%
 Biotic index 43 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 7.114 2.779 0.107 0.000
 DI(Shannon-Weaver) 1.0273 DI(Simpson) 0.8506

チテン ナカガワ ノク^チ 年月日 990510 テ^ータレコード* No. 0
 No. コード* シュルイ コタイスク
 1 211 ヒンモウ ルイ 133 13 425 アカマタ ラカケ ロウ 42
 2 316 チラカケ ロウ 32 14 452 キイロカワカケ ロウ 1
 3 361 ミヤマタニカ ワカケ ロウ 11 15 422 トヨウマタ ラカケ ロウ 1
 4 338 シロタニカ ワカケ ロウ 1 16 705 チバハ ヌヒケ ナカカワヒト^ケラ 1
 5 335 タニカ ワカケ ロウ ソ^ク 1 17 702 ヒケナガカワヒト^ケラ 4
 6 328 エルモンヒラカケ ロウ 76 18 721 ウルマシマトビ^ケラ 7
 7 357 ヒメヒラタカケ ロウ 12 19 774 ニンギョウトヒ^ケラ 2
 8 366 コカケ ロウ ソ^ク 106 20 873 オオヌリカ ルイ(アカイロ) 3
 9 391 フタハコカケ ロウ 2 21 879 ナカレユスリカ ルイ(ハクショク) 18
 10 405 ヒメトビ^イロカケ ロウ 1 22 877 エリュスリカ ルイ(ハイリヨクショク) 4
 11 398 トビ^イロカケ ロウ ソ^ク 3 23 875 ヒメスリカ ルイ(リヨクカッショク) 22
 12 414 ヨシノマタラカケ ロウ 129 24 815 ソウシ モク 9

チテン ナカガワ ノク^チ 年月日 990510 テ^ータレコード* No. 0
 シュルイ スウ 24 セン コタイスク 621 オタクヒ 11.11%
 Biotic index 38 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 7.308 2.542 0.103 0.046
 DI(Shannon-Weaver)(10) 0.9757 DI(Simpson) 0.8564

チテン ナカガワ ノク^チ 年月日 991115 テ^ータレコード* No. 0
 No. コード* シュルイ コタイスク
 1 264 ミスムシ 1 16 726 コカシマトビ^ケラ 108
 2 211 ヒンモウ ルイ 50 17 722 ナカラシマトビ^ケラ 1
 3 316 チラカケ ロウ 319 18 551 サナトンボ カ 2
 4 338 シロタニカ ワカケ ロウ 125 19 670 ヤマトツツミカワケラ 57
 5 328 エルモンヒラカケ ロウ 31 20 675 オオヤカワケ ラ 6
 6 366 コカケ ロウ ソ^ク 86 21 620 ミシカオクロカワケ ラ 10
 7 391 フタハコカケ ロウ 13 22 809 ヘビトンボ 1
 8 421 クロマタ ラカケ ロウ 4 23 643 アミカワケ ラ 19
 9 425 アカマタ ラカケ ロウ 36 24 929 アシカ^トロムシ ソ^ク 15
 10 452 キイロカワカケ ロウ 2 25 829 EBクロヒメカ ガンボ 9
 11 358 サツキヒメヒラタカケ ロウ 26 26 865 フ^ユ カ 1
 12 753 ヒメトビ^ケラ カ 1 27 873 オオヌリカ ルイ(アカイロ) 8
 13 711 クダトビ^ケラ ソ^ク 5 28 877 エリュスリカ ルイ(ハイリヨクショク) 106
 14 727 エチゴシマトビ^ケラ 41 29 875 ヒメスリカ ルイ(リヨクカッショク) 106
 15 721 ウルマシマトビ^ケラ 25 30 815 ソウシ モク 33

チテン ナカガワ ノク^チ 年月日 991116 テ^ータレコード* No. 0
 シュルイ スウ 30 セン コタイスク 1247 オタクヒ 20.93%
 Biotic index 46 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 6.857 2.815 0.273 0.055
 DI(Shannon-Weaver)(10) 1.1348 DI(Simpson) 0.8893

チテン ナカカワノクチ 年月日 990510 テータレコード No. 0
 No. コード シュルイ コタイスウ No. コード シュルイ コタイスウ
 1 211 ピンゾウルイ 133 13 425 アカマタラカケロウ 42 1 102 フラナリアイカ
 2 316 チラカヘロウ 32 14 452 キヨロカワカケロウ 1 2 309 ヒメフタオカケロウ ソク
 3 351 ミヤマタニカワカケロウ 11 15 422 トヨウマタラカケロウ 1 3 326 ウエノヒラタカケロウ
 4 338 シロタニカワカケロウ 1 16 705 チャバネヒガナカワカトビケラ 1 4 328 エルモンヒラタカケロウ
 5 335 タニカワカケロウ ソク 1 17 702 ヒゲナカワカトビケラ カ 4 5 335 タニカワカケロウ ソク
 6 328 エルモンヒラタカケロウ 76 18 721 ウルマシマトビケラ 7 6 351 ミヤマタニカワカケロウ
 7 357 ヒメヒラタカケロウ 12 19 774 ニンギョウトビケラ 2 7 366 フカケロウ ソク
 8 366 コカヘロウ ソク 106 20 873 オオユスリカルイ(アカイロ) 3 8 368 フローレンスコカケロウ
 9 391 フタハコカケロウ 2 21 879 ナカレヌリカルイ(ハイリヨクショク) 18 4 9 391 フタハコカケロウ
 10 405 ヒメヒロカケロウ 1 22 877 エリユスリカルイ(ハイリヨクショク) 4 22 9 391 フタハコカケロウ
 11 398 トビイロカケロウ ソク 3 23 875 ヒメユスリカルイ(リヨクカッショク) 22 3 27 737 トワタナカレトビケラ
 12 414 ヨシノマタラカケロウ 129 24 815 ソウシモク 9 10 392 ミシカオフタバコカケロウ
 13 24 センコタイスウ 621 オタクヒ 11.11% 11 399 トケトロイロカケロウ
 Biotic index 38 os 12 412 マタラカケロウ ソク
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 7.308 2.542 0.103 0.046 13 414 シシマタラカケロウ
 DI(Shannon-Weaver)(10) 0.9757 DI(Simpson) 0.8564 14 415 オオマタラカケロウ
 15 416 フタマタラカケロウ
 16 417 ミツカケマタラカケロウ
 17 418 オオクマタラカケロウ
 18 610 フサオナシカワケラ ソク
 38

チテン ナカカワノクチ 年月日 990510 テータレコード No. 0
 シュルイスウ 24 センコタイスウ 621 オタクヒ 11.11%
 Biotic index 38 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 7.308 2.542 0.103 0.046
 DI(Shannon-Weaver)(10) 0.9757 DI(Simpson) 0.8564

チテン ナカカワノクチ 年月日 991115 テータレコード No. 0
 No. コード シュルイ コタイスウ No. コード シュルイ コタイスウ
 1 264 ミスマシ 1 16 726 コカタシマトビケラ 108
 2 211 ピンモウルイ 50 17 722 ナカハラシマトビケラ 1
 3 316 チラカヘロウ 319 18 551 サナエトンホカ 2
 4 338 シロタニカワカケロウ 125 19 670 ヤマツツジカワカケラ 57
 5 328 エルモンヒラタカケロウ 31 20 676 オオヤマカワカケラ 6
 6 366 コカヘロウ ソク 86 21 620 ミシカオクロカワカケラ 10
 7 391 フタハコカケロウ 13 22 809 ヘビトンホ 1
 8 421 クロマタラカケロウ 4 23 643 アミメカワケラ 19
 9 425 キヨロカワカケロウ 36 24 929 アシナガロムシ ソク 15
 10 452 エルモンヒラタカケロウ 2 25 829 EBクロヒメカガムホ 9
 11 358 サツキヒメヒラタカケロウ 26 26 865 フユカ 1
 12 753 ヒメヒロカケロウ 1 27 873 オオユスリカルイ(アカイロ) 8
 13 711 クタヒメヒラタカケロウ 5 28 877 エリユスリカルイ(ハイリヨクショク) 106
 14 727 エチコシマトビケラ ソク 41 29 875 ヒメユスリカルイ(リヨクカッショク) 106
 15 721 ウルマシマトビケラ 25 30 815 ソウシモク 33

チテン ナカカワノクチ 年月日 991115 テータレコード No. 0
 シュルイスウ 30 センコタイスウ 1247 オタクヒ 20.93%
 Biotic index 46 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 6.857 2.815 0.273 0.065
 DI(Shannon-Weaver)(10) 1.1348 DI(Simpson) 0.8893

チテン タカオマタカワ チュウリュウ(タカオハシ) 年月日 990521 テータレコード No. 8
 No. コード シュルイ コタイスウ No. コード シュルイ コタイスウ
 1 102 フラナリアイカ 1 19 643 アミメカワケラ 8
 2 309 ヒメフタオカケロウ ソク 3 20 662 カワケラカ 2
 3 326 ウエノヒラタカケロウ 22 21 678 モンカワケラ 16
 4 328 エルモンヒラタカケロウ 1 22 693 ミトリカワケラカ 31
 5 335 タニカワカケロウ ソク 5 23 704 ヒゲナガカワヒビケラ 2
 6 351 ミヤマタニカワカケロウ 38 24 721 ウルマシマトビケラ 17
 7 366 フカケロウ ソク 311 25 734 ナカレトビケラ ソク 7
 8 368 フローレンスコカケロウ 25 26 735 ヤマナカナガレトビケラ 3
 9 391 フタハコカケロウ 3 27 737 トワタナカレトビケラ 3
 10 392 ミシカオフタバコカケロウ 3 28 738 ムナグロナカレトビケラ 2
 11 399 トケトロイロカケロウ 1 29 741 ヒロアマナカレトビケラ 1
 12 412 マタラカケロウ ソク 6 30 744 カワムラナカレトビケラ 2
 13 414 シシマタラカケロウ 2 31 829 EBクロヒメカガムホ 4
 14 415 オオマタラカケロウ 17 32 843 オビモンカガムホ ソク 12
 15 416 フタマタラカケロウ 2 33 870 ユスリカカ 125
 16 417 ミツカケマタラカケロウ 1 34 896 ヌカカカ 5
 17 418 オオクマタラカケロウ 17 35 929 ヒメトロムシカ 3
 18 610 フサオナシカワケラ ソク 38

チテン タカオマタカワ チュウリュウ(タカオハシ) 年月日 990521 テータレコード No. 8
 シュルイスウ 35 センコタイスウ 739 オタクヒ 0.00%
 Biotic index 57 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 7.826 2.174 0.000 0.000
 DI(Shannon-Weaver) 0.9708 DI(Simpson) 0.7823

チテン タカオマタカワ チュウリュウ(タカオハシ) 年月日 991101 テータレコード No. 8
 No. コード シュルイ コタイスウ No. コード シュルイ コタイスウ
 1 216 イトミミスカ 25 17 737 トワタナカレトビケラ 4
 2 328 エルモンヒラタカケロウ 16 18 739 クレメンスナガレトビケラ 3
 3 366 フカケロウ ソク 21 19 740 トランスクィラナガレトビケラ 11
 4 397 ヒビイロカケロウカ 4 20 742 シコツナカレトビケラ 9
 5 415 オオマタラカケロウ 55 21 743 ヌマナカナガレトビケラ 1
 6 422 トヨウマタラカケロウ 128 22 751 ヤマトビケラ ソク 1
 7 458 フタシシモンカケロウ 3 23 785 コカクツツビケラ 43
 8 606 ミツオナシカワケラ ソク 3 24 809 ヒビトンホ 1
 9 653 ミトリカワケラモドキ ソク 28 25 821 カガムホ ソク 2
 10 662 カワカラカ 1 26 828 クロヒメカガムホ ソク 8
 11 678 モンカワケラ 9 27 877 エリユスリカルイ(ハイリヨクショク) 23
 12 693 ミトリカワケラカ 20 28 879 ナカレヌリカルイ(ハイリヨクショク) 23
 13 704 ヒゲナカワトビケラ 36 29 902 ミススマシカ 1
 14 721 ウルマシマトビケラ 21 30 913 マルハナノミカ 1
 15 726 コカタシマトビケラ 16 31 929 ヒメトロムシカ 17
 16 733 ナカレトビケラカ 12

チテン タカオマタカワ チュウリュウ(タカオハシ) 年月日 991101 テータレコード No. 8
 シュルイスウ 31 センコタイスウ 546 オタクヒ 7.51%
 Biotic index 51 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 8.604 0.947 0.147 0.301
 DI(Shannon-Weaver) 1.2183 DI(Simpson) 0.9072

チテン タカオマタカ"ワ タカオマタハ"シ		年 月 日	990521	テータレコード	No.	9	チテン エカワ ショウクリュウ	年 月 日	990521	テータレコード	No.	10
No.	コード*	シュルイ	コタイスウ	No.	コード*	シュルイ	コタイスウ	No.	コード*	シュルイ	コタイスウ	
1	102	フ"ラナリア カ	7	20	418	オオクマタ"ラカケ"ロウ	7	1	216	イトミミス"カ	18	663
2	216	イトミミス"カ	1	21	425	アカマタ"ラカケ"ロウ	8	2	309	ヒメツオカケ"ロウ ソ"ク	19	683
3	326	ウエノヒラタカケ"ロウ	30	22	426	フタコ"マタ"ラカケ"ロウ	5	3	328	エルモンヒラタカケ"ロウ	20	701
4	328	エルモンヒラタカケ"ロウ	81	23	601	オナシカリケ"ラ ソ"ク	5	4	366	コカケ"ロウ ソ"ク	21	704
5	330	ユミモンヒラタカケ"ロウ	3	24	643	アミメカワケ"ラ	19	5	391	フタハ"コカケ"ロウ	22	719
6	337	クロクニカ"ワカケ"ロウ	10	25	669	フタツメカワケ"ラ ソ"ク	4	6	398	トビ"イロカケ"ロウ ソ"ク	23	721
7	338	シロクニカ"ワカケ"ロウ	1	26	698	クロムネミド"リカケ"ラ	1	7	412	マタ"ラカケ"ロウ ソ"ク	24	734
8	351	ミヤマニカ"ワカケ"ロウ	5	27	714	ヒトリビ"ケラ カ	24	8	414	ヨシノマタ"ラカケ"ロウ	25	737
9	358	サツキヒメヒラタカケ"ロウ	15	28	726	コカ"タシマトビ"ケラ	1	9	416	フタマタマタ"ラカケ"ロウ	26	772
10	366	コカ"ロウ ソ"ク	155	29	734	ナカ"レヒビ"ケラ ソ"ク	2	10	417	ミツク"マタ"ラカケ"ロウ	27	787
11	368	フローレンスコカケ"ロウ	4	30	738	ムナク"ロナカ"レヒビ"ケラ	2	11	421	クロマタ"ラカケ"ロウ	28	828
12	391	フタハ"コカケ"ロウ	39	31	742	シコソナカ"レヒビ"ケラ	1	12	456	モンカケ"ロウ ソ"ク	29	837
13	392	ミシ"カオフタハ"コカケ"ロウ	2	32	824	TBカ"ガ"ンホ"	1	13	458	フタシジ"モンカケ"ロウ	30	843
14	398	トビ"イロカケ"ロウ ソ"ク	1	33	829	EBクロヒメカ"ガ"ンホ"	4	14	551	サナエトンホ"カ	31	865
15	400	ナミヒ"イロカケ"ロウ	1	34	843	オビ"モシカ"ガ"ンホ" ソ"ク	7	15	591	カワケ"ラ モク	32	870
16	405	ヒメヒ"イロカケ"ロウ	1	35	865	フ"ユ カ	11	16	610	フサオナシカワケ"ラ ソ"ク	33	929
17	414	ヨシノマタ"ラカケ"ロウ	17	36	870	ユスリカ カ	114	17	643	アミメカワケ"ラ	2	
18	416	フタマタマタ"ラカケ"ロウ	2	37	896	ヌカカ カ	10					
19	417	ミツトケ"マタ"ラカケ"ロウ	8	38	929	ヒメド"ロムシ カ	7					

チテン タカオマタカ"ワ タカオマタハ"シ 年 月 日 990521 テータレコード No. 9
 シュルイスウ 38 センコタイスウ 616 オタクヒ 1.79%
 Biotic index 58 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 7.713 2.259 0.012 0.017
 DI(Shannon-Weaver) 1.1304 DI(Simpson) 0.8728

チテン タカオマタカ"ワ タカオマタハ"シ 年 月 日 991101 テータレコード No. 9
 No. コード* シュルイ コタイスウ No. コード* シュルイ コタイスウ
 1 324 ヒラカケ"ロウ ソ"ク 6 16 693 ミドリカワケ"ラ カ 2
 2 326 ウエノヒラタカケ"ロウ 3 17 701 トビ"ケラ モク 1
 3 328 エルモンヒラタカケ"ロウ 1 18 714 ヒトリビ"ケラ カ 4
 4 335 タニニカ"ワカケ"ロウ ソ"ク 2 19 720 シマトビ"ケラ ソ"ク 4
 5 366 コカ"ロウ ソ"ク 16 20 721 クルマシマトビ"ケラ 8
 6 392 ミシ"カオフタハ"コカケ"ロウ 1 21 734 ナカ"レヒビ"ケラ ソ"ク 1
 7 411 マタ"ラカケ"ロウ カ 3 22 739 クレメンスナカ"レヒビ"ケラ 1
 8 412 マダ"ラカケ"ロウ ソ"ク 2 23 744 カリムラカ"レヒビ"ケラ 1
 9 415 オオマタ"ラカケ"ロウ 7 24 865 フ"ユ カ 2
 10 425 アカマタ"ラカケ"ロウ 1 25 873 オオエスリカ ルイ(アカ イロ) 3
 11 456 モンカケ"ロウ ソ"ク 1 26 875 ヒメスリカ ルイ(リョクカッシュヨク) 16
 12 591 カワケ"ラ モク 1 27 877 エリユスリカ ルイ(ハイリヨグショク) 7
 13 662 カワケ"ラ カ 1 28 879 ナカ"エスリカ ルイ(ハクショク) 3
 14 678 モンカワケ"ラ 2 29 929 ヒメド"ロムシ カ 5
 15 685 クロヒ"カミムラカワケ"ラ 1

チテン タカオマタカ"ワ タカオマタハ"シ 年 月 日 991101 テータレコード No. 9
 シュルイスウ 29 センコタイスウ 106 オタクヒ 18.87%
 Biotic index 40 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 6.869 2.202 0.585 0.344
 DI(Shannon-Weaver) 1.2772 DI(Simpson) 0.9258

チテン エカワ ショウクリュウ 年 月 日 990521 テータレコード No. 10
 シュルイスウ 33 センコタイスウ 119 オタクヒ 0.84%
 Biotic index 47 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 8.104 1.701 0.058 0.136
 DI(Shannon-Weaver) 1.2805 DI(Simpson) 0.9138

チテン エカワ ショウクリュウ 年 月 日 991101 テータレコード No. 10
 No. コード* シュルイ コタイスウ No. コード* シュルイ コタイスウ
 1 366 コカケ"ロウ ソ"ク 3 10 742 シコソナカ"レヒビ"ケラ 1
 2 391 フタハ"コカケ"ロウ 6 11 751 ヤマトビ"ケラ ソ"ク 26
 3 601 オナシカワケ"ラ ソ"ク 1 12 820 カ"ガ"ンホ" カ 1
 4 701 トビ"ケラ モク 1 13 837 ウスハ"ヒメカ"カ"ンホ" ソ"ク 1
 5 704 ヒケ"ナカ"カワトビ"ケラ 6 14 875 ヒメスリカ ルイ(リョクカッシュヨク) 52
 6 719 シマトビ"ケラ カ 4 15 877 エリユスリカ ルイ(ハイリヨグショク) 104
 7 720 シマトビ"ケラ ソ"ク 7 16 896 ヌカカ カ 4
 8 721 ウルマシマトビ"ケラ 2 17 929 ヒメド"ロムシ カ 4

チテン エカワ ショウクリュウ 年 月 日 991101 テータレコード No. 10
 シュルイスウ 17 センコタイスウ 224 オタクヒ 23.21%
 Biotic index 26 B ms
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 6.702 2.693 0.605 0.000
 DI(Shannon-Weaver) 0.7417 DI(Simpson) 0.7133

チテン エカワ イッケンシヤヤ
 年月日 990521 テーラレコード No. 11
 ナ コート シュルイ コタイスウ ナ コート シュルイ コタイスウ
 1 216 イトミスカ 15 4 815 ソクモク 1
 2 391 フタバコカケロウ 2 5 879 ナカレユスリカ ルイ(ハクショク) 14
 3 601 オナシカワケラ ソク 10 6 896 スカカ 85

チテン エカワ イッケンシヤヤ
 年月日 990521 テーラレコード No. 11
 シュルイスウ 6 センコタイスウ 127 オタクヒ 11.81%
 Biotic index 9 αms
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 5.871 0.892 0.971 2.266
 DI(Shannon-Weaver) 0.4637 DI(Simpson) 0.5194

チテン エカワ イッケンシヤヤ
 年月日 991101 テーラレコード No. 11
 ナ コート シュルイ コタイスウ ナ コート シュルイ コタイスウ
 1 601 オナシカワケラ ソク 24 6 803 センブリカ 15
 2 606 ユビオナシカワケラ ソク 7 7 877 エリユスリカ ルイ(ハイリョクショク) 79
 3 721 ウルマーシマトビケラ 1 8 881 アフカ 2
 4 726 コカタシマトビケラ 1 9 901 ショウシモク 1
 5 764 カクスイトビケラ カ 2 10 951 リンシモク 1

チテン エカワ イッケンシヤヤ
 年月日 991101 テーラレコード No. 11
 シュルイスウ 10 センコタイスウ 133 オタクヒ 0.75%
 Biotic index 14 αms
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 6.847 3.145 0.008 0.000
 DI(Shannon-Weaver) 0.5615 DI(Simpson) 0.5985

チテン エカワ エカワバシ
 年月日 990521 テーラレコード No. 12
 ナ コート シュルイ コタイスウ ナ コート シュルイ コタイスウ
 1 216 イトミスカ 4 16 721 ウルマーシマトビケラ 4
 2 326 ウエノヒタカケロウ 1 17 726 コカタシマトビケラ 5
 3 328 エルモヒテタカケロウ 3 18 751 ヤマトビケラ ソク 30
 4 330 ミミモシラタカケロウ 6 19 820 ガガシボカ 1
 5 366 コカケロウ ソク 293 20 843 オビモンカガシボカ 1
 6 391 フタバコカケロウ 9 21 859 ニッポンホソカ 1
 7 392 ミシカオフタバコカケロウ 5 22 865 アフカ 59
 8 414 ヨシノマタラカケロウ 1 23 873 オオユスリカ ルイ(アカイロ) 9
 9 417 ミツトケマタラカケロウ 2 24 875 ヒメユスリカ ルイ(リヨクカッシュク) 26
 10 424 クシケマタラカケロウ 2 25 877 エリユスリカ ルイ(ハイリョクショク) 42
 11 425 アカマタラカケロウ 2 26 879 ナカレユスリカ ルイ(ハクショク) 62
 12 600 オナシカワケラカ 1 27 881 アフカ 7
 13 606 ユビオナシカワケラ ソク 1 28 904 ガムシカ 3
 14 667 トウヨウカワゲラ ソク 1 29 929 ヒメドロムシカ 22
 15 693 ミドリカワケラカ 1

チテン エカワ エカワバシ
 年月日 990521 テーラレコード No. 12
 シュルイスウ 29 センコタイスウ 604 オタクヒ 7.62%
 Biotic index 43 αms
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 7.306 2.347 0.168 0.179
 DI(Shannon-Weaver) 0.8581 DI(Simpson) 0.7331

チテン エカワ エカワバシ
 年月日 991101 テーラレコード No. 12
 ナ コート シュルイ コタイスウ ナ コート シュルイ コタイスウ
 1 338 シロタニカワカケロウ 1 10 751 ヤマトビケラ ソク 20
 2 366 コカケロウ ソク 299 11 753 ヒメトビケラ カ 8
 3 422 トウヨウマタラカケロウ 19 12 809 ヘビトンボ 2
 4 425 アカマタラカケロウ 8 13 865 フエカ 4
 5 704 ヒゲナカワカトビケラ 13 14 870 ユスリカカ 25
 6 721 ウルマーシマトビケラ 288 15 886 ハマタラナカレラ 1
 7 726 コカタシマトビケラ 611 16 896 ヌカカカ 1
 8 742 シコツナカレトビケラ 1 17 929 ヒメドロムシカ 40
 9 747 キツナカレトビケラ 1

チテン エカワ エカワバシ
 年月日 991101 テーラレコード No. 12
 シュルイスウ 17 センコタイスウ 1342 オタクヒ 46.13%
 Biotic index 26 βms
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 5.334 4.251 0.415 0.000
 DI(Shannon-Weaver) 0.6448 DI(Simpson) 0.6952

チテンホウキカワセキハハシ
年月日 990521 テータレコード No. 21
No. コード シュルイ コタイスウ No. コード シュルイ コタイスウ
1 133 タニシカ 2 16 417 ミツケマタラカケロウ 2
2 309 ヒメフタオカケロウソク 1 17 425 アカマタラカケロウ 79
3 326 ウエノヒラカカケロウ 2 18 442 ヒメカケロウソク 18
4 328 エルモンヒラタカケロウ 59 19 458 フタシシモンカケロウ 1
5 329 ナミヒラタカケロウ 1 20 653 ミトリカケラモトキソク 2
6 331 タニヒラタカケロウ 2 21 704 ヒケナカカワトビケラ 29
7 351 ミヤマタニカワカケロウ 5 22 721 ウルマーシマトビケラ 10
8 358 サツキヒメラタカケロウ 1 23 751 ヤマトビクラソク 32
9 366 コカケロウソク 50 24 837 ウスハヒメカカソンボソク 114
10 369 トビイロコカケロウ 3 25 843 オビモンガカソンボソク 2
11 391 フタハコカケロウ 35 26 865 アユカ 1
12 392 ミシカオタバコカケロウ 14 27 875 ヒメユスリカルイ(リョクカッシュク) 160
13 405 ヒメトビイロカケロウ 1 28 877 エリユスリカルイ(ハイリョクショク) 907
14 412 マタラカケロウソク 17 29 929 ヒメトロムシカ 9
15 414 ヨシマタラカケロウ 21

チテンホウキカワセキハハシ
年月日 990524 テータレコード No. 21
シュルイスウ 29 センコタイスウ 1580 オタクヒ 16.33%
Biotic index 45 os
Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps
DI(Shannon-Weaver) 0.7505 DI(Simpson) 0.6483

チテンホウキカワセキハハシ
年月日 991102 テータレコード No. 21
No. コード シュルイ コタイスウ No. コード シュルイ コタイスウ
1 102 フラナリアカ 10 24 704 ヒケナカカワトビケラ 69
2 131 カリニナ 45 25 714 イワトビケラカ 1
3 216 イトミミズカ 268 26 719 シマトビケラカ 15
4 221 ヒルルイ 5 27 721 ウルマーマトビケラ 528
5 316 チラカケロウ 5 28 722 ナカラシマトビケラ 82
6 328 エルモンヒラタカケロウ 79 29 726 コカタシマトビケラ 56
7 338 シロタカワカケロウ 18 30 742 シコツナカレトビケラ 10
8 366 コカケロウソク 27 31 751 ヤマトビケラソク 16
9 367 サホコカケロウ 1 32 773 ニンキヨウトビケラソク 2
10 391 フタハコカケロウ 2 33 816 ハネカカ 1
11 392 ミシカオタバコカケロウ 1 34 828 クロヒメカカソンボソク 8
12 411 マタラカケロウカ 27 35 837 ウスハヒメカカソンボソク 116
13 413 エラフタマタラカケロウ 4 36 843 オビモンガカソンボソク 2
14 422 トヨウマタラカケロウ 5 37 873 オエユスリカルイ(アカイロ) 129
15 425 アカマタラカケロウ 215 38 875 ヒメユスリカルイ(リョクカッシュク) 415
16 442 ヒメカケロウソク 139 39 877 エリユスリカルイ(ハイリョクショク) 316
17 456 モンカケロウソク 2 40 879 ナカレユスリカルイ(ハクショク) 129
18 457 モンカケロウ 23 41 881 アフカ 4
19 615 クロカクハラカ 13 42 901 ショウシモク 1
20 647 ヤマトヒロハネミカワケラ 1 43 918 ヒラタロムシ 4
21 653 ミトリカケラモトキソク 6 44 922 マスター ロムシ 1
22 674 オオヤマカケラソク 1 45 929 ヒメトロムシカ 8
23 701 トビケラモク 1

チテンホウキカワセキハハシ
年月日 991102 テータレコード No. 21
シュルイスウ 45 センコタイスウ 2811 オタクヒ 43.97%
Biotic index 64 os
Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps
DI(Shannon-Weaver) 1.1736 DI(Simpson) 0.9036

チテンホウキカワセキハハシ
年月日 990524 テータレコード No. 22
No. コード シュルイ コタイスウ No. コード シュルイ コタイスウ
1 309 ヒメフタオカケロウソク 187 15 424 クシケマタラカケロウ 7
2 326 ウエノヒラタカケロウ 3 16 425 アカマタラカケロウ 16
3 328 エルモンヒラタカケロウ 8 17 442 ヒメカケロウソク 1
4 331 タニヒラタカケロウ 2 18 704 ヒケナカカワトビケラ 40
5 366 コカケロウソク 19 19 719 シマトビケラカ 31
6 368 フローレンスコカケロウ 33 20 721 ウルマーシマトビケラ 12
7 369 トビイロコカケロウ 1 21 809 ヘビトンホ 1
8 391 フタハコカケロウ 444 22 837 ウスハヒメカカソンボソク 21
9 392 ミシカオフタハコカケロウ 24 23 865 フヌカ 336
10 412 マタラカケロウソク 2 24 873 オオエスリカルイ(アカイロ) 11
11 413 エラフタマタラカケロウ 2 25 877 エリユスリカルイ(ハイリョクショク) 172
12 414 ヨシノマタラカケロウ 4 26 884 ナカレアフカ 9
13 418 オオクマタラカケロウ 1 27 929 ヒメトロムシカ 2
14 422 トヨウマタラカケロウ 1

チテンホウキカワセキハハシ
年月日 990524 テータレコード No. 22
シュルイスウ 27 センコタイスウ 1390 オタクヒ 2.16%
Biotic index 43 os
Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps
DI(Shannon-Weaver) 0.8762 DI(Simpson) 0.8031

チテンホウキカワセキハハシ
年月日 991102 テータレコード No. 22
No. コード シュルイ コタイスウ No. コード シュルイ コタイスウ
1 216 イトミミズカ 1 18 669 フラツメカワケラソク 7
2 264 ミスマシ 1 19 701 トビケラモク 1
3 309 ヒメフタオカケロウソク 4 20 702 ヒケナカカワトビケラカ 9
4 316 チラカケロウ 62 21 704 ヒケナカカワトビケラ 74
5 324 ヒラタカケロウソク 1 22 719 シトビケラカ 26
6 328 エルモンヒラタカケロウ 40 23 721 ウルマーシマトビケラ 131
7 338 シロタカワカケロウ 172 24 726 コカタシマトビケラ 166
8 351 ミヤマタニカワカケロウ 1 25 727 エチゴシマトビケラ 7
9 366 コカケロウソク 8 26 774 ニンキヨウトビケラ 1
10 369 トビイロコカケロウ 20 27 820 カカソンボカ 1
11 411 マタラカケロウカ 17 28 837 ウスハヒメカカソンボソク 44
12 421 クロマタラカケロウ 13 29 873 オオエスリカルイ(アカイロ) 94
13 425 アカマタラカケロウ 129 30 875 ヒメユスリカルイ(リョクカッシュク) 58
14 457 モンカケロウ 4 31 877 エリユスリカルイ(ハイリョクショク) 58
15 551 サナエトンホカ 1 32 879 ナカレユスリカルイ(ハクショク) 14
16 591 カワケラモク 3 33 919 ヒラタトロムシソク 2
17 643 アミメカワケラ 1 34 929 ヒメトロムシカ 18

チテンホウキカワセキハハシ
年月日 991102 テータレコード No. 22
シュルイスウ 34 センコタイスウ 1189 オタクヒ 37.93%
Biotic index 49 os
Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps
DI(Shannon-Weaver) 1.1829 DI(Simpson) 0.9139

5.440 3.269 0.555 0.735

4.999 2.688 0.975 1.338

チテン エカツリ マツリュウ		年 月 日	990524	テータレコード No.	35								
No	コート*	シュルイ	コタイスウ	No	コート*	シュルイ	コタイスウ						
1	147	シシミカツリ		2	13	413	エラフタマダラカケロウ	4		1	216	イトミミスカ	
2	216	イトミミスカ		64	14	414	ヨシノマツラカケロウ	10		2	309	ヒメフラカケロウ	ソク
3	309	ヒメフラカケロウ	ソク	30	15	425	アカマツラカケロウ	32		3	338	シロタニカツラカケロウ	
4	316	チラカケロウ		2	16	669	フタツメカラケロウ	2		4	367	サホコカケロウ	
5	328	エルモンヒラカケロウ		3	17	704	ヒゲナガカラカトビケラ	1		5	391	フタハコカケロウ	
6	357	ヒメヒラカケロウ		1	18	719	シマトビケラ	144		6	397	トビイロカケロウ	カ
7	358	サツキヒラカケロウ		1	19	721	ウルマシマトビケラ	128					
8	366	コカケロウ	ソク	156	20	726	コカタシマトビケラ	9					
9	367	サホコカケロウ		4	21	828	クロヒメカガシホ	ソク		2			
10	391	フタハコカケロウ		51	22	837	ウスハヒメカガシホ	ソク	30				
11	392	ミジカオフタハコカケロウ		8	23	877	エリユスリカルイ(ハイリヨクショク)	572					
12	405	ヒメトビイロカケロウ		9	24	929	ヒメトロムシカ	5					

チテン エカツリ マツリュウ
 年 月 日 990524
 シュルイスウ 24 センコタイスウ
 Biotic index 35 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps
 DI(Shannon-Weaver) 0.8314
 DI(Simpson) 0.7529

チテン エカツリ マツリュウ		年 月 日	991108	テータレコード No.	35									
No	コート*	シュルイ	コタイスウ	No	コート*	シュルイ	コタイスウ							
1	216	イトミミスカ		12	12	669	フタツメカラケロウ	ソク	33		1	216	イトミミスカ	
2	316	チラカケロウ		37	13	704	ヒゲナガカラカトビケラ		8		2	221	ヒルルイ	
3	328	エルモンヒラカケロウ		55	14	719	シマトビケラ	カ	100		3	351	ミヤタニカツラカケロウ	
4	338	シロタニカツラカケロウ		80	15	721	ウルマシマトビケラ		57		4	367	サホコカケロウ	
5	358	サツキヒラカケロウ		75	16	726	コカタシマトビケラ		160		5	421	クロマツラカケロウ	
6	366	コカケロウ	ソク	78	17	727	エチコシマトビケラ		77					
7	367	サホコカケロウ		1	18	753	ヒメトビケラ	カ	4					
8	368	フローレンスコカケロウ		4	19	828	クロヒメカガシホ	ソク	2					
9	391	フタハコカケロウ		5	20	837	ウスハヒメカガシホ	ソク	24					
10	425	アカマツラカケロウ		173	21	877	エリユスリカルイ(ハイリヨクショク)	288						
11	452	キイロカラカケロウ		4	22	929	ヒメトロムシカ		8					

チテン エカツリ マツリュウ
 年 月 日 991108
 シュルイスウ 22 センコタイスウ
 Biotic index 33 os
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps
 DI(Shannon-Weaver) 1.0780
 DI(Simpson) 0.8897

チテン サカカツリ ミュッコクリハシ		年 月 日	990524	テータレコード No.	36								
No	コート*	シュルイ	コタイスウ	No	コート*	シュルイ	コタイスウ						
1	216	イトミミスカ		4	7	424	クシケマツラカケロウ	2		2	309	ヒメフラカケロウ	ソク
2	338	シロタニカツラカケロウ		21	8	830	EDクロヒメカガシホ	1		3	338	ウスハヒメカガシホ	ソク
4	367	サホコカケロウ		1	10	873	オオユスリカルイ(アカイロ)	160		5	391	エリユスリカルイ(ハイリヨクショク)	298
6	397	トビイロカケロウ	カ	4	12	929	ヒメトロムシカ	2					

チテン サカカツリ ミュッコクリハシ 年 月 日 990524 テータレコード No. 36

シュルイスウ 12 センコタイスウ 502 オタクヒ 32.87%

Biotic index 17 β_{ms}

Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 3.387 2.210 1.333 3.069

DI(Shannon-Weaver) 0.4516 DI(Simpson) 0.5439

チテン サカカツリ ミュッコクリハシ		年 月 日	991108	テータレコード No.	36								
No	コート*	シュルイ	コタイスウ	No	コート*	シュルイ	コタイスウ						
1	216	イトミミスカ		1	6	726	コカタシマトビケラ	1		2	221	ヒルルイ	
3	351	ミヤタニカツラカケロウ		8	7	873	オオユスリカルイ(アカイロ)	16		4	367	サホコカケロウ	
5	421	クロマツラカケロウ		1	8	875	ヒメユスリカルイ(ハイリヨクショク)	36		9	877	エリユスリカルイ(ハイリヨクショク)	4

チテン サカカツリ ミュッコクリハシ 年 月 日 991108 テータレコード No. 36

シュルイスウ 9 センコタイスウ 71 オタクヒ 91.55%

Biotic index 12 α_{ms}

Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 1.412 1.886 3.491 3.211

DI(Shannon-Weaver) 0.6350 DI(Simpson) 0.6737

チテン サカガワ マツリュウ		年月日	990524	データレコード No.	37	チテン オシカワ コシジハシ		年月日	990524	データレコード No.	38	
No.	コード	シュルイ	コタイスウ	No.	コード	シュルイ	コタイスウ	No.	コード	シュルイ	コタイスウ	
1	216	イトミスカ		8	13	551	サナエシンホカ	1	221	ヒルカイ	3	
2	309	ヒメタオカケロウソク		9	14	560	オシロサナエ	1	2309	ヒメタオカケロウソク	145	
3	328	エルモンヒラタカケロウ		4	15	721	ウルマーシマトビクラ	3	326	ウエヒラタカケロウ	2	
4	338	シロタニカワカケロウ		2	16	727	エチゴシマトビクラ	2	328	エルモンヒラタカケロウ	92	
5	392	ミンカオフタロコカケロウ		1	17	829	EBクロヒメカガシノ	12	330	ミンモンヒラタカケロウ	2	
6	398	トビイロカケロウソク		3	18	837	ウスハヒメカガシノ	26	331	タニヒラタカケロウ	7	
7	400	ナミトビイロカケロウ		4	19	875	ヒメユスリカルイ(リョクカッシュク)	72	335	タニカワカケロウソク	1	
8	405	ヒメトビイロカケロウ		2	20	877	ヒメユスリカルイ(ハイリョクショク)	36	338	シロタニカワカケロウ	6	
9	412	マタラカケロウソク		3	21	919	ヒラタドロムシソク	19	366	コカケロウソク	11	
10	421	クロマタラカケロウ		2	22	923	マスター・ロムシソク	10	368	フローレンスカケロウ	13	
11	424	クシゲマタラカケロウ		1	23	929	ヒメトロムシカ	1	391	フタバコカケロウ	113	
12	425	アカマタラカケロウ		2					392	ミンカオフタロコカケロウ	12	
チテン サカガワ マツリュウ	年月日	990524	データレコード No.	37	チテン オシカワ コシジハシ	年月日	990524	データレコード No.	38	チテン オシカワ コシジハシ	年月日	
シュルイスウ	23	センコタイスウ	224	オタクヒ	45.98%	シュルイスウ	44	センコタイスウ	921	オタクヒ	14.01%	
Biotic index	35	os				Biotic index	66	os				
Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps			5.036	3.192	1.337	0.435	Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps		7.104	2.612	0.143	0.141
DI(Shannon-Weaver)	1.0033		DI(Simpson)		0.8408	DI(Shannon-Weaver)	1.2443		DI(Simpson)		0.9136	
チテン サカガワ マツリュウ		年月日	991108	データレコード No.	37	チテン オシカワ コシジハシ		年月日	991104	データレコード No.	38	
No.	コード	シュルイ	コタイスウ	No.	コード	シュルイ	コタイスウ	No.	コード	シュルイ	コタイスウ	
1	216	イトミスカ		4	16	669	フタバメカワケラソク	5	102	フランナリアカ	1	
2	264	ミズムシ		4	17	704	ヒメナカワカトビクラ	1	309	ヒメタオカケロウソク	4	
3	316	チラカケロウ		2	18	710	クタビクラカ	4	316	チラカケロウ	4	
4	335	タニカワカケロウソク		1	19	721	ウルマーシマトビクラ	5	326	ウエヒラタカケロウ	2	
5	338	シロタニカワカケロウ		90	20	726	コカシマトビクラ	48	328	エルモンヒラタカケロウ	69	
6	366	コカケロウソク		3	21	727	エチゴシマトビクラ	80	338	シロタニカワカケロウ	37	
7	367	サボコカケロウ		2	22	828	クロヒメカガシノ	4	351	ミヤマタニカワカケロウ	2	
8	391	フタバコカケロウ		2	23	837	ウスハヒメカガシノ	18	358	サツキヒラタカケロウ	1	
9	405	ヒメトビイロカケロウ		1	24	865	アフカ	2	366	コカケロウソク	54	
10	413	エラブタマタラカケロウ		5	25	870	ユスリカカ	127	367	サボコカケロウ	2	
11	425	アカマタラカケロウ		73	26	919	ヒラタドロムシソク	39	369	トビイロコカケロウ	3	
12	442	ヒメカケロウソク		1	27	923	マスター・ロムシソク	35	391	フタバコカケロウ	8	
13	452	キヨロカワカケロウ		6	28	926	オビヒメナカハナミソク	1	411	マタラカケロウカ	20	
14	459	トウヨウモンカケロウ		6	29	929	ヒメトロムシカ	1	422	トウヨウモンカケロウ	35	
15	554	コオニヤンマ		2					425	アカマタラカケロウ	100	
チテン サカガワ マツリュウ	年月日	991108	データレコード No.	37	チテン オシカワ コシジハシ	年月日	991104	データレコード No.	38	チテン オシカワ コシジハシ	年月日	
シュルイスウ	29	センコタイスウ	572	オタクヒ	33.39%	シュルイスウ	36	センコタイスウ	829	オタクヒ	39.57%	
Biotic index	39	os				Biotic index	55	os				
Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps			6.282	3.223	0.415	0.079	Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps		5.973	3.611	0.312	0.104
DI(Shannon-Weaver)	1.0360		DI(Simpson)		0.8729	DI(Shannon-Weaver)	1.0734		DI(Simpson)		0.8654	

チテンスカタカワコシジハシ			
No.	コード	シェルイ	年月日
1	216	イトミミスカ	990525 02 12 726
2	264	ミスマシ	1 13 837
3	309	ヒメタオカケロウリク	8 14 873
4	338	シロタニカワカケロウ	10 15 875
5	366	コカゲロウソク	1 16 877
6	424	クシケマタラカケロウ	6 17 879
7	425	アカマタラカケロウ	4 18 888
8	554	コオニヤンマ	1 19 896
9	704	ヒゲナガカワトビケラ	11 20 923
10	712	キブネタクトビケラ	1 21 929
11	719	シマトビケラカ	3

チテンスカタカワコシジハシ
年月日 990525 テータレコード No. 39
シェルイスウ 21 センコタイスウ 548 オタクヒ 16.97%
Biotic index 30 os
Zelinka-Marvan os, Bms, Ams, ps 6.338 3.006 0.373 0.283
DI(Shannon-Weaver) 0.7743 DI(Simpson) 0.7208

チテンスカタカワコシジハシ			
No.	コード	シェルイ	年月日
1	147	シシミカイカ	9 14 721
2	216	イトミミスカ	17 15 726
3	221	ヒルノイ	21 16 756
4	338	シロタニカワカケロウ	25 17 774
5	366	コカゲロウソク	4 18 837
6	367	サホコカゲロウ	18 19 873
7	411	マタラカケロウカ	51 20 875
8	420	チュエルバマタラカケロウ	11 21 877
9	422	トヨタマタラカケロウ	3 22 879
10	425	アカマタラカケロウ	64 23 890
11	456	モンカゲロウソク	1 24 923
12	704	ヒゲナガカワトビケラ	18 25 929
13	710	クタトビケラカ	58

チテンスカタカワコシジハシ
年月日 991116 テータレコード No. 39
シェルイスウ 25 センコタイスウ 1875 オタクヒ 58.56%
Biotic index 36 os
Zelinka-Marvan os, Bms, Ams, ps 4.568 3.250 1.102 1.079
DI(Shannon-Weaver) 1.0027 DI(Simpson) 0.8491

チテンスカタカワカスマカイトウ			
No.	コード	シェルイ	年月日
1	216	イトミミスカ	55 10 721
2	328	エルモンヒラカケロウ	1 11 726
3	366	コカゲロウソク	243 12 837
4	391	フタハコカケロウ	29 13 865
5	422	トヨタマタラカケロウ	1 14 875
6	424	クシケマタラカケロウ	3 15 877
7	452	キロカリカケロウ	1 16 879
8	704	ヒゲナガカワトビケラ	25 17 903
9	710	クタトビケラカ	1

チテンスカタカワカスマカイトウ
年月日 990525 テータレコード No. 40
シェルイスウ 17 センコタイスウ 1502 オタクヒ 16.44%
Biotic index 27 β ms
Zelinka-Marvan os, Bms, Ams, ps 5.991 3.404 0.275 0.330
DI(Shannon-Weaver) 0.6493 DI(Simpson) 0.6417

チテンスカタカワカスマカイトウ			
No.	コード	シェルイ	年月日
1	102	フランニアカ	8 13 704
2	123	サホキカイ	1 14 710
3	147	シシミカイカ	1 15 721
4	221	ヒルノイ	6 16 726
5	264	ミスマシ	1 17 727
6	338	シロタニカワカケロウ	70 18 773
7	366	コカゲロウソク	32 19 837
8	367	サホコカゲロウ	8 20 873
9	391	フタハコカケロウ	2 21 875
10	413	エラマタラカケロウ	18 22 877
11	425	アカマタラカケロウ	13 23 922
12	452	キロカリカケロウ	93

チテンスカタカワカスマカイトウ
年月日 991116 テータレコード No. 40
シェルイスウ 23 センコタイスウ 740 オタクヒ 38.92%
Biotic index 33 os
Zelinka-Marvan os, Bms, Ams, ps 5.651 3.739 0.444 0.167
DI(Shannon-Weaver) 1.1306 DI(Simpson) 0.9114

チテン スカカワリ ミヤエハシ		年月日	990525	データレコード		No.	42
No.	コード	シェルイ	コタイスウ	No.	コード	シェルイ	コタイスウ
1	216	イトミスカ	23	8	721	ウルマーシマトビケラ	50
2	221	ヒルルイ	1	9	726	コカタシマトビケラ	9
3	264	ミスマシ	5	10	837	ウスハビメカカンホソク	2
4	366	コカゲロウソク	187	11	873	オオユスリカルイ(アカイロ)	89
5	391	フタバコカゲロウ	281	12	875	ヒメユスリカルイ(リヨクカッシュク)	127
6	392	ミシカオフタバコカゲロウ	18	13	877	エリユスリカルイ(ハイリヨクショク)	373
7	719	シマトビケラカ	20	14	879	ナガレユスリカルイ(ハクショク)	44
チテン スカカワリ ミヤエハシ		年月日	990525	データレコード		No.	42
シェルイスウ	14	センコタイスウ	1229	オタクヒ	20.67%		
Biotic index	21	βms					
Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps				6.580	2.165	0.538	0.717
DI(Shannon-Weaver)	0.8416		DI(Simpson)	0.8127			

チテン アカカワリ ミヤエハシ		年月日	990525	データレコード		No.	43
No.	コード	シェルイ	コタイスウ	No.	コード	シェルイ	コタイスウ
1	130	カツニカ	1	13	721	ウルマーシマトビケラ	4
2	147	シジミカイカ	32	14	726	コカタシマトビケラ	45
3	216	イトミスカ	100	15	774	ニンキヨウトビケラ	1
4	338	シロタニカワカケロウ	11	16	837	ウスハビメカカンホソク	268
5	366	コカゲロウソク	21	17	873	オオユスリカルイ(アカイロ)	39
6	367	サホコカケロウ	3	18	875	ヒメユスリカルイ(リヨクカッシュク)	211
7	413	エラフタマタラカケロウ	31	19	877	エリユスリカルイ(ハイリヨクショク)	709
8	425	アカマタラカケロウ	15	20	884	ナガレアフカ	1
9	452	キロカワカケロウ	24	21	896	スカカカ	1
10	551	サナエトンホカ	1	22	911	ケンシホタル	1
11	701	トビケラモク	8	23	923	マスタードロムシソク	18
12	712	キワネクタビケラ	47	24	929	ヒメドロムシカ	10
チテン アカカワリ コウソクトウシタ		年月日	990525	データレコード		No.	43
シェルイスウ	24	センコタイスウ	1602	オタクヒ	29.21%		
Biotic index	32	os					
Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps				5.101	3.252	0.752	0.895
DI(Shannon-Weaver)	0.8293		DI(Simpson)	0.7512			
チテン アカカワリ コウソクトウシタ		年月日	991116	データレコード		No.	43
No.	コード	シェルイ	コタイスウ	No.	コード	シェルイ	コタイスウ
1	147	シジミカイカ	34	16	565	クロサナエ	1
2	216	イトミスカ	14	17	704	ヒケナカワリトビケラ	4
3	221	ヒルルイ	1	18	710	クタビトビケラカ	82
4	328	エルモンヒラタカケロウ	1	19	719	シマトビケラカ	9
5	338	シロタニカワカケロウ	20	20	721	ウルマーシマトビケラ	62
6	366	コカゲロウソク	10	21	726	コカタシマトビケラ	390
7	367	サホコカゲロウ	8	22	774	ニンキヨウトビケラ	4
8	398	トビイロカケロウソク	2	23	837	ウスハビメカカンホソク	88
9	411	マダラカケロウカ	4	24	873	オオユスリカルイ(アカイロ)	33
10	413	エラフタマタラカケロウ	5	25	875	ヒメユスリカルイ(リヨクカッシュク)	11
11	420	チエルノハマタラカケロウ	6	26	877	エリユスリカルイ(ハイリヨクショク)	86
12	424	クシケマタラカケロウ	1	27	922	マスタードロムシ	75
13	425	アカマタラカケロウ	47	28	923	マスタードロムシソク	77
14	551	サナエトンホカ	3	29	929	ヒメドロムシカ	4
15	556	オナガナナエ	1				
チテン アカカワリ コウソクトウシタ		年月日	991116	データレコード		No.	43
シェルイスウ	29	センコタイスウ	1083	オタクヒ	47.09%		
Biotic index	42	os					
Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps				5.493	3.479	0.602	0.426
DI(Shannon-Weaver)	0.8842		DI(Simpson)	0.8034			

チテン アカカワリ コウソクトウシタ		年月日	991116	データレコード		No.	43
シェルイスウ	29	センコタイスウ	1083	オタクヒ	47.09%		
Biotic index	42	os					
Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps				5.493	3.479	0.602	0.426
DI(Shannon-Weaver)	0.8842		DI(Simpson)	0.8034			

チテン ジロイカ*ワ ノウマンシ*ニシ			年月日	990525	データレコード* No.	44	
No	コード*	シェルイ	コタイスウ	No	コード*	シェルイ	コタイスウ
1	221	ヒル ルイ	1	10	721	ウルマーンマトビ*クラ	86
2	366	コカケ*ロウ ソ*ク	27	11	722	ナカハラシマトビ*クラ	1
3	367	サホコカケ*ロウ	9	12	726	コカ*タシマトビ*クラ	90
4	424	クシケ*マダ*ラカケ*ロウ	3	13	837	ウスハ*ヒメカ*カ*ンホ* ソ*ク	143
5	425	アカマタ*ラカケ*ロウ	11	14	875	ヒメスリカ ルイ(リヨクカッシュク)	25
6	702	ヒケ*ナカ*カワトビ*クラ カ	4	15	877	エリュスリカ ルイ(ハイリヨクショク)	594
7	704	ヒケ*ナカ*カワトビ*クラ	4	16	923	マスター*ロムシ ソ*ク	2
8	710	クタ*トビ*クラ カ	5	17	929	ヒメトロムシ カ	23
9	719	シマトビ*クラ カ	7				

チテン ジロイカ*ワ ノウマンシ*ニシ			年月日	990525	データレコード* No.	45	
No	コード*	シェルイ	コタイスウ	No	コード*	シェルイ	コタイスウ
1	122	フクリク ルイ	1	4	367	サホコカケ*ロウ	168
2	216	イトミス* カ	441	5	877	エリュスリカ ルイ(ハイリヨクショク)	76
3	221	ヒル ルイ	46				

チテン ジンカラ チュウオウシ*ヨシコウニシ 年月日 990525 データレコード* No. 45
 シュルイスウ 5 センコタイスウ 732 オタクヒ 89.48%
 Biotic index 6 α_{ms}
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 0.461 0.817 3.788 4.934
 DI(Shannon-Weaver) 0.4609 DI(Simpson) 0.5696

チテン ジロイカ*ワ ノウマンシ*ニシ			年月日	990525	データレコード* No.	44
シェルイスウ	17	センコタイスウ	1035	オタクヒ	13.14%	
Biotic index	25	β_{ms}				
Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps			5.870	3.888	0.229	0.013
DI(Shannon-Weaver)	0.6581		DI(Simpson)	0.6350		

チテン ジロイカ*ワ ノウマンシ*ニシ			年月日	991116	データレコード* No.	44	
No	コード*	シェルイ	コタイスウ	No	コード*	シェルイ	コタイスウ
1	218	イトミス* カ	77	17	726	コカ*タシマトビ*クラ	2362
2	221	ヒル ルイ	1	18	774	ニンキ*ヨウトビ*クラ	1
3	338	シロタニカ*ワカケ*ロウ	15	19	809	ヘビトンホ*	2
4	366	コカケ*ロウ ソ*ク	4	20	820	カ*カ*ンホ* カ	1
5	411	マダ*ラカケ*ロウ カ	81	21	837	ウスハ*ヒメカ*カ*ンホ* ソ*ク	73
6	420	チャエルノバ*マダ*ラカケ*ロウ	1	22	842	Ormosia spp.	2
7	421	クロマタ*ラカケ*ロウ	1	23	843	オヒ*モンカ*カ*ンホ* ソ*ク	1
8	425	アカマタ*ラカケ*ロウ	71	24	865	7*ユ カ	4
9	551	サナエトヨホ* カ	1	25	875	ヒメスリカ ルイ(リヨクカッシュク)	87
10	702	ヒケ*ナカ*カワトビ*クラ カ	2	26	877	エリュスリカ ルイ(ハイリヨクショク)	114
11	704	ヒケ*ナカ*カワトビ*クラ	57	27	884	ナガ*レアフ* カ	2
12	710	クタ*トビ*クラ カ	13	28	902	ミズ*スマシ カ	12
13	712	キフ*ネクタ*トビ*クラ	64	29	923	マスター*ロムシ ソ*ク	6
14	719	シマトビ*クラ カ	17	30	926	チビ*ヒケ*ナカ*ハナノミ ソ*ク	5
15	721	ウルマーンマトビ*クラ	665	31	929	ヒメトロムシ カ	318
16	722	ナカハラシマトビ*クラ	36	32	951	リンシ モク	45

チテン ジロイカ*ワ ノウマンシ*ニシ			年月日	991116	データレコード* No.	44
シェルイスウ	32	センコタイスウ	4141	オタクヒ	62.74%	
Biotic index	45	α_{s}				
Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps			3.973	5.016	0.792	0.219
DI(Shannon-Weaver)	0.7099		DI(Simpson)	0.6398		

チテン ジンカラ チュウオウシ*ヨシコウニシ			年月日	991116	データレコード* No.	45	
No	コード*	シェルイ	コタイスウ	No	コード*	シェルイ	コタイスウ
1	133	タニシ カ	1	10	398	トリ*イロカケ*ロウ ソ*ク	1
2	137	サカマキカ*イ カ	12	11	400	ナミトビ*イロカケ*ロウ	1
3	216	イトミス* カ	613	12	551	サカエトヨホ* カ	1
4	221	ヒル ルイ	115	13	702	ヒケ*ナカ*カワトビ*クラ カ	1
5	264	ミズ*ムシ	8	14	719	シマトビ*クラ カ	160
6	284	アメリカサリカニ アカ	1	15	726	コカ*タシマトビ*クラ	668
7	366	コカケ*ロウ ソ*ク	6	16	837	ウスハ*ヒメカ*カ*ンホ* ソ*ク	1
8	367	サホコカケ*ロウ	1	17	875	ヒメスリカ ルイ(リヨクカッシュク)	112
9	392	ミシ*カオフタハ*コカケ*ロウ	4				

チテン ジンカラ チュウオウシ*ヨシコウニシ 年月日 991116 データレコード* No. 45
 シュルイスウ 17 センコタイスウ 1706 オタクヒ 88.92%
 Biotic index 21 β_{ms}
 Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps 1.326 2.566 2.267 3.840
 DI(Shannon-Weaver) 0.6282 DI(Simpson) 0.6998

| 47 |

チテン シンカワ ミナミマチニシ		年 月 日	990525	データレコード	No.	46	
No.	コード	シュルイ	コタイスウ	No.	コード	シュルイ	コタイスウ
1	216	イトミミズ カ	714	8	721	ウルマーシマトビ ケラ	8
2	221	ヒル ルイ	196	9	815	リウシ モク	51
3	264	ミスマシ	673	10	820	カカシ ンホ カ	1
4	366	コカケロウ リク	389	11	873	オオユスリカ ルイ(アカ イロ)	91
5	367	サホロカケ ロウ	219	12	875	ヒメユスリカ ルイ(リョクカッショク)	597
6	391	アタガロカケロウ	64	13	877	エリユスリカ ルイ(ハイリョクショク)	140
7	392	ミジカオフタハロカケロウ	12				

チテン シンカワ ミナミマチニシ		年 月 日	990525	データレコード	No.	46
シュルイ	13	センコタイスウ	3155	オタクヒ	78.92%	
Biotic index	18	β_{ms}				
Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps			2.052	1.707	3.885	2.356
DI(Shannon-Weaver)	0.8781	DI(Simpson)	0.8401			

チテン シンカワ ミナミマチニシ		年 月 日	991116	データレコード	No.	46	
No.	コード	シュルイ	コタイスウ	No.	コード	シュルイ	コタイスウ
1	124	モニアラカニイ カ	1	12	726	コカタシマトビ ケラ	20
2	137	サカマキカニイ カ	1	13	820	カカシ ンホ カ	5
3	216	イトミミズ カ	124	14	837	ウスハヒメカカシ ンホ リク	1
4	221	ヒル ルイ	42	15	854	チョウハエ カ	1
5	264	ミスマシ	143	16	873	オオユスリカ ルイ(アカ イロ)	10
6	284	アメリカサリカニ アカ	2	17	875	ヒメユスリカ ルイ(リョクカッショク)	193
7	366	コカケロウ リク	33	18	877	エリユスリカ ルイ(ハイリョクショク)	51
8	367	サホロカケ ロウ	3	19	879	ナガレユスリカ ルイ(ハクショク)	10
9	551	サエトソボ カ	2	20	896	ヌカカ カ	1
10	719	シマトビ ケラ カ	1	21	923	マスター ロムシ リク	1
11	721	ウルマーシマトビ ケラ	1				

チテン シンカワ ミナミマチニシ		年 月 日	991116	データレコード	No.	46
シュルイ	21	センコタイスウ	646	オタクヒ	82.82%	
Biotic index	27	β_{ms}				
Zelinka-Marvan os,Bms,Ams,ps			1.872	2.006	3.989	2.134
DI(Shannon-Weaver)	0.8498	DI(Simpson)	0.8103			

植物分布状況調査結果一覧表（その1）

地点名	調査月	水生植物		水中植物 種名
		種名	階級	
那珂川 幾世橋下	5			
	11			
那珂川 恒明橋	5	ヨシ	2	
	11	ヨシ	2	
那珂川 昭明橋	5			
	11	クサヨシ	1	
那珂川 黒羽	5			オオカナダモ
	11			
那珂川 新那珂橋		ヨシ	2	
		ツルヨシ	1	
		キショウブ	1	
	5	ヤナギ属	1	
		クサヨシ	1	
		ガマ	1	
	8	ヨシ	3	
	11	ヨシ	2	
	2			

注) 水生植物には、河原で確認できた陸生植物を含む。

植物分布状況調査結果一覧表（その2）

地点名	調査月	水生植物		水中植物
		種名	階級	種名
那珂川 川堀	5			
	11			
那珂川 野口	5	ヨシ	1	
	8	ヨシ	1	
	11	ススキ	1	
	2			
高雄股川 中流 (高尾橋)	5	ヤナギ	1	
	11			
高雄股川 高尾股橋	5			
	11			
湯川 上流	5	ススキ	2	
	11	ススキ	3	
湯川 一軒茶屋	5	ササ	1	
	11			

注) 水生植物には、河原で確認できた陸生植物を含む。

植物分布状況調査結果一覧表（その3）

地点名	調査月	水生植物		水中植物
		種名	階級	種名
湯川	5			
	11			
湯川橋	5	ヤナギ属	1	
	11	ヨシ	1	
余笹川 中流 (余笹橋)	5			
	11			
余笹川 川田橋	5			
	11	ヨシ ツルヨシ	1 1	
黒川 中流 (大塩橋)	5			
	11	ツルヨシ	1	
黒川 新田橋	5			
	11			
松葉川 上高橋	5	ヨシ	1	ミクリ属
	11			
松場川 末流	5			
	11	ヨシ ツルヨシ	3 1	

注) 水生植物には、河原で確認できた陸生植物を含む。

植物分布状況調査結果一覧表（その4）

地点名	調査月	水生植物		水中植物
		種名	階級	種名
筍川 温泉街上流	5	ツルヨシ	1	
	11	クサヨシ ススキ	1 1	
筍川 夕の原	5	ツルヨシ	1	
	11			
筍川 堰場橋	5	ツルヨシ	1	
	11	ツルヨシ ススキ	1 1	
筍川 岩井橋	5	ヨシ	1	
	11	ツルヨシ ススキ	1 1	
筍川 筍川橋	5	ツルヨシ クサヨシ キショウブ	1 1 1	
	11	ヨシ	1	
百村川 百村中橋	5			コカナダモ、イトモ類、 ミズハコベ
	11	クサヨシ オランダガラシ タデ科	3 1 1	ミズハコベ、 オランダガラシ、イトモ類、 コカナダモ、
蛇尾川 中流 (蛇尾橋)	5	オランダガラシ	1	バイカモ
	11	ヨシ ツルヨシ	1 1	バイカモ

注) 水生植物には、河原で確認できた陸生植物を含む。

植物分布状況調査（その5）

地点名	調査月	水生植物		水中植物
		種名	階級	
蛇尾川	5	ヨシ	2	
宇田川橋	11	ツルヨシ	3	
		ヨシ	2	
武茂川	5	ツルヨシ	1	
		クサヨシ	1	
太郎橋	11			
武茂川	5	ツルヨシ	1	
		クサヨシ	1	
更生橋	11	クサヨシ	1	
荒川橋	5	ツルヨシ	1	
荒川橋	11	ツルヨシ	1	
荒川	5	ツルヨシ	2	コカナダモ、イトモ類
連城橋	11	クサヨシ	3	コカナダモ、イトモ類
		ススキ	1	
荒川	5	ヨシ	2	
		ヤナギ	1	
向田橋	11	クサヨシ	3	
内川	5	ヨシ	2	
		ツルヨシ	1	
田中橋	11	ツルヨシ	1	
		クサヨシ	1	

注) 水生植物には、河原で確認できた陸生植物を含む。

植物分布状況調査結果一覧表（その6）

地点名	調査月	水生植物		水中植物
		種名	階級	種名
内川 旭橋	5	ツルヨシ	1	
	11	クサヨシ	1	
江川流 (鹿子畠橋)	5			
	11			
江川流	5	ヨシ	1	
	11	クサヨシ	2	
逆川 十石橋	5			
	11			
逆川 末流	5	ヨシ	1	
	11	ヤナギ	1	
	5			
	11	ツルヨシ	1	
押越川 地橋	5			
	11			
姿川 こしじ橋	5	ツルヨシ	1	
	11	ツルヨシ タデ科	1	

注) 水生植物には、河原で確認できた陸生植物を含む。

植物分布状況調査結果一覧表（その7）

地点名	調査月	水生植物		水中植物
		種名	階級	
姿川	5	ヨシ	1	
	11	ツルヨシ	1	
姿川	5	ツルヨシ	2	
	11	ヨシ	1	
宮前橋		ツルヨシ	2	
赤川	5	イネ科	1	
		クサヨシ	1	
高速道下	5	ヨシ	2	
		ミゾソバ	2	
	11	クサヨシ	1	
		ジュズ	1	
鎧川	5			オオカナダモ
	11			
能満寺西	5			オオカナダモ
	11			
新川	5			コカナダモ
	11			
中央女子校西	5			コカナダモ
	11			
新川	5			コカナダモ、イトモ類
	11			
南町西	5			イトモ類、センニンモ
	11			

注) 水生植物には、河原で確認できた陸生植物を含む。

第6章 その他の調査

要監視項目水質調査

その1

河川水質調査結果		(1)平成11年7月4日 那珂川水系					単位:mg/L
項目	河川名	余 笹 川	幕 川	荒 川	内 川	江 川	指針値
		①川田橋	②幕川橋	③向田橋	④旭橋	⑤末流	
採水時刻		12:08	11:25	10:35	9:31	10:38	
天 気		快晴	快晴	快晴	快晴	快晴	
気 温 (°C)		30.0	30.5	33.3	30.3	33.3	
水 温 (°C)		23.7	23	24	23.7	25.0	
外 観		褐色	無色透明	微白色	白褐色	微褐色	
透視度(cm)		>30	>30	>30	>30	>30	
採水場所		左 岸	右 岸	左 岸	左 岸	右 岸	
クロロホルム		<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 06
トランス-1,2-ジクロロエチレン		<0. 004	<0. 004	<0. 004	<0. 004	<0. 004	<0. 04
1,2-ジクロロプロパン		<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 06
p-ジクロロベンゼン		<0. 03	<0. 03	<0. 03	<0. 03	<0. 03	<0. 3
イソキサチオノン		<0. 0008	<0. 0008	<0. 0008	<0. 0008	<0. 0008	<0. 008
ダイアジノン		<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 005
フェニトロチオノン		<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	<0. 003
イソプロチオラン		<0. 004	<0. 004	<0. 004	<0. 004	<0. 004	<0. 04
オキシン鋼		<0. 004	<0. 004	<0. 004	<0. 004	<0. 004	<0. 04
クロロタロニル		<0. 005	<0. 005	<0. 005	<0. 005	<0. 005	<0. 05
プロピザミド		<0. 0008	<0. 0008	<0. 0008	<0. 0008	<0. 0008	<0. 008
EPN		<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 006
ジクロルボス		<0. 0008	<0. 0008	<0. 0008	<0. 0008	<0. 0008	<0. 008
フェノカルブ		<0. 003	<0. 003	<0. 003	<0. 003	<0. 003	<0. 03
イプロベンホス		<0. 0008	<0. 0008	<0. 0008	<0. 0008	<0. 0008	<0. 008
クロルニトロフェン		<0. 0001	<0. 0001	<0. 0001	<0. 0001	<0. 0001	0. 0001未満
トルエン		<0. 06	<0. 06	<0. 06	<0. 06	<0. 06	<0. 6
キシレン		<0. 04	<0. 04	<0. 04	<0. 04	<0. 04	<0. 4
フタル酸ジエチルヘキシル		<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 006	<0. 06
ニッケル		<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001	指針値削除
モリブデン		<0. 007	<0. 007	<0. 007	<0. 007	<0. 007	<0. 07
アンチモン		<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	指針値削除

河川水質調査結果 (1)平成11年7月4日

鬼怒川水系

単位:mg/L

河川名 項目	大谷川 ⑥開進橋	西鬼怒川 ⑦西鬼怒川橋	江川 ⑧末流	田川 ⑨栄橋	五行川 ⑩桂橋	指針値
採水時刻	9:40	13:50	10:41	10:10	10:35	
天 気	快晴	快晴	快晴	快晴	快晴	
気温(°C)	30.0	35.0	35.0	35.0	34.0	
水温(°C)	23.7	25.0	21.0	25.5	27.0	
外 銀	褐色	無色透明	無色透明	微褐色	無色透明	
透視度(cm)	>30	>30	>30	>30	>30	
採水場所	左岸	右岸	右岸	右岸	右岸	
クロロホルム	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
トランス-1,2-ジクロロエレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
1,2-ジクロロプロパン	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
p-ジクロロベンゼン	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.3
イソキサチオノン	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
ダイアジノン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.005
フェニトロチオン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.003
イソプロチオラン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
オキシン鋼	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
クロロタロニル	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.05
プロピザミド	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
EPN	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.006
ジクロルボス	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
フェノカルブ	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.03
イプロベンホス	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
クロルニトロフェン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.0001未満
トルエン	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.6
キシレン	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.4
フタル酸ジエチルヘキシル	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
ニッケル	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	<0.001	指針値削除
モリブデン	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.07
アンチモン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	指針値削除

河川名 項目	渡良瀬川水系					単位:mg/L
	袋川 ⑪袋川水門	永野川 ⑫落合橋	思川 ⑬乙女大橋	黒川 ⑭御成橋	姿川 ⑮宮前橋	
採水時刻	11:40	12:55	13:30	15:20	15:00	
天 气	快晴	快晴	快晴	快晴	快晴	
気温(°C)	35.5	34.0	36.5	35.0	34.0	
水 温(°C)	25	26	27.5	26.5	27.5	
外 観	微茶褐色	微茶褐色	微茶褐色	微茶褐色	微茶褐色	
透視度(cm)	>30	>30	>30	>30	>30	
採水場所	右岸	右岸	左岸	右岸	左岸	
クロロホルム	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
トランス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
1,2-ジクロロブロバン	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
2-ジクロロベンゼン	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.3
イソキサチオノン	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
ダイアジノン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.005
フェニトロチオノン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.003
イソプロチオラン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
オキシン鋼	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
クロロタロニル	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.05
プロピザミド	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
EPN	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.006
ジクロルボス	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
フェノカルブ	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.03
イプロベンホス	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
クロルニトロフェン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.0001未満
トルエン	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.6
キシレン	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.4
フタル酸ジエチルヘキシル	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
ニッケル	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	指針値削除
モリブデン	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.07
アンチモン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	指針値削除

河川水質調査結果 (2)平成11年11月8日 那珂川水系 単位:mg/L

河川名 項目	余 笹 川 ①川田橋	簗 川 ②簗川橋	荒 川 ③向田橋	内 川 ④旭橋	江 川 ⑤末流	指針値
採 水 時 刻	11:00	10:35	13:15	10:15	13:25	
天 気	晴	晴	晴	晴	晴	
気 温 (°C)	19.0	20.5	20.5	19.0	20.5	
水 温 (°C)	14.5	16.5	16.5	15.8	15.0	
外 観	褐色	無色透明	微白色	白褐色	微褐色	
透 視 度(cm)	>30	>30	>30	>30	>30	
採 水 場 所	左 岸	右 岸	左 岸	左 岸	右 岸	
クロロホルム	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
トランス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
1,2-ジクロロプロパン	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
α-ジクロロベンゼン	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.3
イソキサチオノン	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
ダイアジノン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.005
フェニトロチオノン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.003
イソブロチオラン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
オキシン鋼	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
クロロタロニル	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.05
プロビザミド	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
EPN	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.006
ジクロルボス	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
フェノカルブ	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.03
イプロベンホス	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
クロルニトロフェン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.0001未満
トルエン	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.6
キシレン	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.4
フタル酸ジエチルヘキシル	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
ニッケル	0.011	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	指針値削除
モリブデン	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.07
アンチモン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	指針値削除

河川水質調査結果

(2)平成11年11月8日

鬼怒川水系

単位:mg/L

河川名 項目	大谷川 ⑥開進橋	西鬼怒川 ⑦西鬼怒川橋	江川 ⑧末流	田川 ⑨梁橋	五行川 ⑩桂橋	指針値
採水時刻	14:20	10:00	11:15	10:20	11:50	
天 気	曇	雲	晴	晴	晴	
気温(°C)	16.0	15.7	18.0	16.5	18.0	
水温(°C)	13.0	13.5	16.5	16.0	16.5	
外 銀	褐色	無色透明	無色透明	微褐色	無色透明	
透視度(cm)	>30	>30	>30	>30	>30	
採水場所	左岸	右岸	右岸	右岸	右岸	
クロロホルム	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
トラン-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
1,2-ジクロロプロパン	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
ヨウジクロロベンゼン	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.3
イソキサチオノン	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
ダイアジノン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.005
フェニトロチオノン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.003
イソブロチオラン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
オキシン鋼	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
クロロタロニル	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.05
プロピザミド	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
EPN	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.006
ジクロルボス	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
フェノカルブ	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.03
イプロベンホス	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
クロルニトロフェン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.0001未満
トルエン	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.6
キシレン	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.4
フタル酸ジエチルヘキシル	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
ニッケル	<0.001	<0.001	0.009	0.007	0.004	指針値削除
モリブデン	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.07
アンチモン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	指針値削除

河川水質調査結果

(2)平成11年11月8日

凌良瀬川水系

単位:mg/L

項目\河川名	袋川	永野川	思川	黒川	姿川	指針値
項目	①袋川水門	②落合橋	③乙女大橋	④御成橋	⑤宮前橋	
採水時刻	11:40	12:55	13:30	15:20	15:00	
天 气	晴	晴	晴	晴	晴	
気温(℃)	35.5	-34.0	36.5	35.0	34.0	
水 温(℃)	25	26	27.5	26.5	27.5	
外 観	微褐色	微褐色	微褐色	微褐色	微褐色	
透視度(cm)	>30	>30	>30	>30	>30	
採水場所	右岸	右岸	左岸	右岸	左岸	
クロロホルム	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
トラン-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
1,2-ジクロロブロベン	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
o-ジクロロベンゼン	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.3
イソキサチオノン	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
ダイアジノン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.005
フェニトロチオノン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.003
イソプロチオラン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
オキシン鋼	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
クロロタロニル	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.05
プロビザミド	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
EPN	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.006
ジクロルボス	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
フェノカルブ	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.03
イプロベンホス	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
クロルニトロフェン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.0001未満
トルエン	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.6
キシレン	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.4
フル酸ジエチルヘキシル	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
ニッケル	0.01	<0.001	0.004	<0.001	0.007	*指針値削除
モリブデン	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.07
アンチモン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	指針値削除

河川水質調査結果

(1)平成11年7月4日

地下水

単位:mg/L

地点名 項目	①足利市水処理センター	②今市温泉保養センター	③萱橋小学校	④真岡市公民館	⑤畜農試験場 南那須育成牧場	指針値
採水時刻	12:00	10:00	9:40	9:36	9:59	
天 気	快晴	快晴	快晴	快晴	快晴	
気温(°C)	33.0	30.0	33.5	34.0	28.0	
水温(°C)	21.05	18.5	21	23.5	20	
外 鏡	無色透明	無色透明	微白色	白褐色	無色	
透視度(cm)	>30	>30	>30	>30	>30	
クロロホルム	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
トランス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
1,2-ジクロロプロパン	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
o-ジクロロベンゼン	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.03	<0.3
イソキサチオノン	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
ダイアジノン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.005
フェニトロチオノン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.003
イソプロチオラン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
オキシン鋼	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.04
クロロタロニル	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.05
プロピザミド	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
EPN	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.006
ジクロルボス	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
フェノカルブ	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.03
イプロベンホス	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.008
クロルニトロフェン	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	0.0001未満
トルエン	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.6
キシレン	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.4
フタル酸ジエチルヘキシル	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.06
ニッケル	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	指針値削除
モリブデン	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.07
アンチモン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	指針値削除

河 川 上 流 域 水 質 調 査

調査地点	赤川(宮島橋)	男鹿川(中三依橋)	鬼怒川(黒部ダム上流)
採水月日	10月12日	10月12日	10月12日
採水時刻	11:15	12:50	13:10
採水位置	流心	流心	流心
天候	晴	晴	曇
気温(℃)	28.0	21.0	20.5
水温(℃)	13.0	14.0	14.5
透視度(度)	>30	>30	>30
臭氣	無	無	無
外観	無色透明	無色透明	無色透明
流量(m³/S)	2.11	1.40	3.13
電気伝導度(ms/m)	11	5.4	7.3
pH	7.4	7.3	7.5
BOD(mg/l)	1.8	1.9	2.4
COD(mg/l)	2.4	2.2	3.6
SS(mg/l)	1	<1	<1
DO(mg/l)	10	10	9.7
大腸菌群数(MPN/100ml)	7.9×10²	2.4×10²	3.3×10
T-P(mg/l)	0.036	0.005	0.013
T-N(mg/l)	0.43	0.36	0.40
NH₄-N(mg/l)	<0.02	0.02	<0.02
NO₂-N(mg/l)	<0.01	<0.01	<0.01
NO₃-N(mg/l)	0.35	0.24	0.37
塩化物イオン(mg/l)	4	1	1
硫酸イオン(mg/l)	21	11	8
MBAS(mg/l)	<0.05	<0.05	<0.05
全硬度(mg/l)	22	9.0	18
酸消費量(mg/l)	25	10	23
アルカリ消費量(mg/l)	2.3	1.3	1.2

ダム貯水池調査

調査項目	西荒川ダム	東荒川ダム	深山ダム
採水月日	11年10月27日	11年10月27日	11年10月27日
採水時刻	11:08	10:27	13:55
採水位置	湖心	湖心	右岸
天候	雨	雨	雨
気温(℃)	13.4	14.4	14.8
水温(℃)	15.0	14.1	14.0
透明度(m)	0.20	0.40	0.50
水色	15	10	—
臭氣	無	無	無
電気伝導度(ms/m)	6.2	6.0	9.9
pH	7.1	7.2	6.8
DO(mg/l)	8.0	8.8	9.5
BOD(mg/l)	0.6	0.5	0.5
COD(mg/l)	2.6	1.4	1.6
SS(mg/l)	1	<1	2
大腸菌群数(MPN/100ml)	1.7×10^2	3.3×10^0	4.9×10^0
T-P(mg/l)	0.012	0.011	0.007
T-N(mg/l)	0.67	0.45	0.32
NH ₄ -N(mg/l)	0.07	<0.02	<0.02
NO ₂ -N(mg/l)	<0.01	<0.01	<0.01
NO ₃ -N(mg/l)	0.47	0.25	0.19
クロロフィルa(mg/m ³)	3	3	<2

霞ヶ浦流域水質調査

調査項目	益子町本沼地区(西)		益子町山本地区(東)	
採水月日	11年6月24日		11年6月24日	
採水時刻	10:15	13:00	10:50	13:30
採水位置	流心	流心	流心	流心
天候	晴	晴	晴	晴
気温(℃)	24.5	25.0	25.0	24.0
水温(℃)	22.0	25.0	22.0	22.9
透視度(度)	>30	>30	>30	>30
臭氣	無	無	無	無
外観	無色透明	無色透明	無色透明	無色透明
流量(m³/S)	0.0030	0.0028	0.0294	0.0259
電気伝導率(ms/m)	40	19	8.4	9.6
pH	7.0	6.9	6.7	6.6
BOD(mg/l)	2.0	2.2	1.4	1.2
COD(mg/l)	1.3	2.8	2.0	1.8
SS(mg/l)	8	12	7	7
DO(mg/l)	8.7	9.2	8.2	8.0
T-N(mg/l)	0.76	0.66	0.68	0.72
T-P(mg/l)	0.042	0.029	0.023	0.065



古紙配合率70%再生紙を使用しています